

# 法学部に在籍する学生に対する法曹志望に関するアンケート調査結果

法務省  
文部科学省

## 1.目的・趣旨

法学部(法学系課程を含む。以下「法学部」という。)に在籍する学生を対象に志望動向等に関する意識調査を実施し、調査を通じて得たデータを収集・分析することによって、法曹志望者の減少に関する要因等を把握し、今後の施策の検討に活用することを目的とする。

## 2.調査方法等

### ①対象範囲

下記大学の法学部に在籍する学生

### ②対象大学

令和2年度以降、入学者の募集を継続する法科大学院を設置する35大学

- |                                     |              |   |                                       |                                    |              |                     |               |              |               |               |               |               |               |                         |                 |                 |                |                 |               |               |               |               |               |               |               |               |                |               |               |                |                |               |                 |               |
|-------------------------------------|--------------|---|---------------------------------------|------------------------------------|--------------|---------------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|---------------|-----------------|---------------|
| 1. 北海道大学（【1年生】総合教育部（法学部）【2～4年生】法学部） | 2. 東北大学（法学部） | 3. 筑波大学（【1～2年生】社会・国際学群－社会学類<br>【3～4年生】社会・国際学群－社会学類－法学主専攻） | 4. 千葉大学（【1年生】法政経学部【2～4年生】法政経学部－法学コース） | 5. 東京大学（【1～2年生】教養学部文科一類【3～4年生】法学部） | 6. 一橋大学（法学部） | 7. 金沢大学（人間社会学域－法学類） | 8. 名古屋大学（法学部） | 9. 京都大学（法学部） | 10. 大阪大学（法学部） | 11. 神戸大学（法学部） | 12. 岡山大学（法学部） | 13. 広島大学（法学部） | 14. 九州大学（法学部） | 15. 琉球大学（人間社会学部－国際法政学科） | 16. 首都大学東京（法学部） | 17. 大阪市立大学（法学部） | 18. 学習院大学（法学部） | 19. 慶應義塾大学（法学部） | 20. 駒澤大学（法学部） | 21. 上智大学（法学部） | 22. 専修大学（法学部） | 23. 創価大学（法学部） | 24. 中央大学（法学部） | 25. 日本大学（法学部） | 26. 法政大学（法学部） | 27. 明治大学（法学部） | 28. 早稲田大学（法学部） | 29. 愛知大学（法学部） | 30. 南山大学（法学部） | 31. 同志社大学（法学部） | 32. 立命館大学（法学部） | 33. 関西大学（法学部） | 34. 関西学院大学（法学部） | 35. 福岡大学（法学部） |
|-------------------------------------|--------------|---|---------------------------------------|------------------------------------|--------------|---------------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|---------------|-----------------|---------------|

### ③調査方法

ウェブアンケート

### 3.調査実施期間

令和元年 11 月 15 日(金)～12 月 27 日(金)

### 4. 調査結果

#### <回答率>

対象者数	有効回答数	回答率
71,232 人	5,814 人	8.2%

#### <学年別内訳>

全体	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次以上
5,814 人	2,288 人	1,328 人	1,211 人	987 人
100.0%	39.4%	22.8%	20.8%	17.0%

【参考】前回調査(平成 30 年 10 月 15 日～11 月 30 日実施)について

対象範囲:下記大学の法学部に在籍する学生

対象大学:平成 31 年度以降、入学者の募集を継続する法科大学院を設置する 36 大学

1. 北海道大学 (【1年生】総合教育部(法学部) 【2～4年生】法学部)
2. 東北大学(法学部)
3. 筑波大学 (【1～2年生】社会・国際学群－社会学類  
【3～4年生】社会・国際学群－社会学類－法学主専攻)
4. 千葉大学 (【1年生】法政経学部 【2～4年生】法政経学部－法学コース)
5. 東京大学 (【1～2年生】教養学部文科一類 【3～4年生】法学部)
6. 一橋大学(法学部)
7. 金沢大学(人間社会学域－法学類)
8. 名古屋大学(法学部)
9. 京都大学(法学部)
10. 大阪大学(法学部)
11. 神戸大学(法学部)
12. 岡山大学(法学部)
13. 広島大学(法学部)
14. 九州大学(法学部)
15. 琉球大学(人間社会学部－国際法政学科)
16. 首都大学東京(法学部)
17. 大阪市立大学(法学部)
18. 学習院大学(法学部)
19. 慶應義塾大学(法学部)
20. 駒澤大学(法学部)
21. 上智大学(法学部)
22. 専修大学(法学部)
23. 創価大学(法学部)
24. 中央大学(法学部)
25. 日本大学(法学部)
26. 法政大学(法学部)
27. 明治大学(法学部)
28. 早稲田大学(法学部)
29. 愛知大学(法学部)
30. 南山大学(法学部)
31. 同志社大学(法学部)
32. 立命館大学(法学部)
33. 関西大学(法学部)
34. 関西学院大学(法学部)
35. 甲南大学(法学部)
36. 福岡大学(法学部)

対象者数:75,246 人

有効回答数:6,739 人(回答率 9.0%)

【参考】前々回(平成 29 年 10 月 10 日～11 月 10 日実施)調査について

対象範囲: 下記大学の法学部に在籍する学生

対象大学: 平成 30 年度以降、入学者の募集を継続する法科大学院を設置する大学のうち、法学部を設置している 38 大学

- |  |                                  |                  |
|--|----------------------------------|------------------|
| 1. 北海道大学 (【1 年生】総合教育部 (法学部) 【2～4 年生】法学部)                     |                                  |                  |
| 2. 東北大学 (法学部)  |                                  |                  |
| 3. 筑波大学 (【1～2 年生】社会・国際学群－社会学類<br>【3～4 年生】社会・国際学群－社会学類－法学主専攻) |                                  |                  |
| 4. 千葉大学 (【1 年生】法政経学部 【2～4 年生】法政経学部－法学コース)                    |                                  |                  |
| 5. 東京大学 (【1～2 年生】教養学部文科一類 【3～4 年生】法学部)                       |                                  |                  |
| 6. 一橋大学 (法学部)  | 7. 金沢大学 (人間社会学域－法学類)             |                  |
| 8. 名古屋大学 (法学部)   | 9. 京都大学 (法学部)                    | 10. 大阪大学 (法学部)   |
| 11. 神戸大学 (法学部)   | 12. 岡山大学 (法学部)                   | 13. 広島大学 (法学部)   |
| 14. 九州大学 (法学部)   | 15. 琉球大学 (法文学部－総合社会システム学科－法律コース) |                  |
| 16. 首都大学東京 (都市教養学部－都市教養学科－法学系)                               | 17. 大阪市立大学 (法学部)                 |                  |
| 18. 学習院大学 (法学部)  | 19. 慶應義塾大学 (法学部)                 | 20. 駒澤大学 (法学部)   |
| 21. 上智大学 (法学部)   | 22. 専修大学 (法学部)                   | 23. 創価大学 (法学部)   |
| 24. 中央大学 (法学部)   | 25. 日本大学 (法学部)                   | 26. 法政大学 (法学部)   |
| 27. 明治大学 (法学部)   | 28. 早稲田大学 (法学部)                  | 29. 愛知大学 (法学部)   |
| 30. 南山大学 (法学部)   | 31. 同志社大学 (法学部)                  | 32. 立命館大学 (法学部)  |
| 33. 関西大学 (法学部)   | 34. 近畿大学 (法学部)                   | 35. 関西学院大学 (法学部) |
| 36. 甲南大学 (法学部)   | 37. 西南学院大学 (法学部)                 | 38. 福岡大学 (法学部)   |

対象者数: 79,801 人

有効回答数: 9,658 人 (回答率 12.1%)

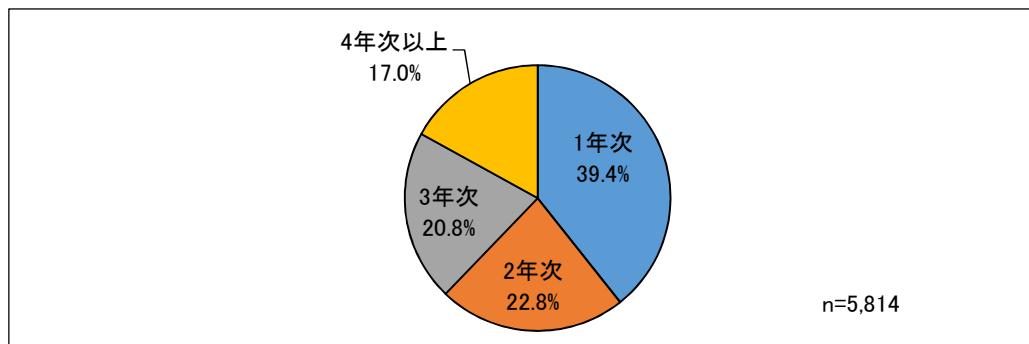
# 目次

第1 回答者の属性.....	1
1.学年 .....	1
2.年齢 .....	1
3.性別 .....	1
第2 進路選択 .....	2
1.将来の職業.....	2
2.職業選択に当たり重視すること(複数選択可).....	5
3.法曹等の志望の状況.....	7
第3 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹等の魅力等.....	9
1.法曹等を志望した時期 .....	9
(1)現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生.....	9
(2)過去に志望・選択肢の 1 つとして考えていた学生.....	10
2.法曹等としての進路(複数選択可) .....	11
(1)現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生.....	11
(2)過去に志望・選択肢の 1 つとして考えていた学生.....	11
3.法曹等志望の契機(複数選択可).....	12
(1)現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生.....	12
(2)過去に志望・選択肢の 1 つとして考えていた学生.....	14
4.法曹等の魅力(複数選択可) .....	16
(1)現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生.....	16
(2)過去に志望・選択肢の 1 つとして考えていた学生.....	18
5.法曹有資格者の活動領域の拡大.....	20
(1)法曹等の活動領域が拡大していることに対する現状認識.....	20
(2)法曹等の活動領域が拡大している分野(海外、企業、国・自治体等)で働くことに対する興味・関心の有無 .....	23
(3)法曹等の活動領域が拡大している分野のうち興味・関心がある分野(複数選択可) .....	26
6.法学部教育に期待すること(上位 3 つまで選択/現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生) .....	29
7.司法試験予備校の利用の有無(現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生／複数選択可) .....	32
8.法曹等を志望するに当たっての不安や迷い、断念の理由等 .....	33
(1)法曹等を志望するに当たっての不安や迷いについて(現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生) .....	33
(2)現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生の不安や迷い(上位 3 つまで選択) .....	34
(3)過去に法曹等を志望・選択肢の 1 つとして考えていた学生が、法曹等の志望を断念した理由(過去に志望していた際の不安や迷いを含む(上位 3 つまで選択)) .....	37
(参考)学年別内訳【表】 .....	39
(4)法曹等を選択肢の 1 つとして考えたこともない学生の法曹等を志望しない理由(上位 3 つまで選択) .....	40
(5)法曹等の仕事に魅力を感じない理由について .....	43
9.法科大学院への進学、大学在学中の予備試験の受験 (現在志望・選択肢の 1 つとして考えている学生のみ回答) .....	45
(1)法科大学院への進学予定 .....	45
(2)法科大学院の選択において重視する点(上位 3 つまで選択/法科大学院に進学する予定がある学生) .....	47
(3)大学在学中の予備試験の受験予定 .....	50
(4)法科大学院への進学予定と大学在学中の予備試験の受験予定の関係 .....	52
(5)大学在学中の予備試験の受験理由(上位 3 つまで選択/大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生) .....	53
(6)大学在学中に予備試験に合格した場合の法科大学院への進学(大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生) .....	56
(7)大学 4 年次までに予備試験に合格しなかった場合の進路(大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生) .....	58
参考資料(調査票) .....	60

## 第1 回答者の属性

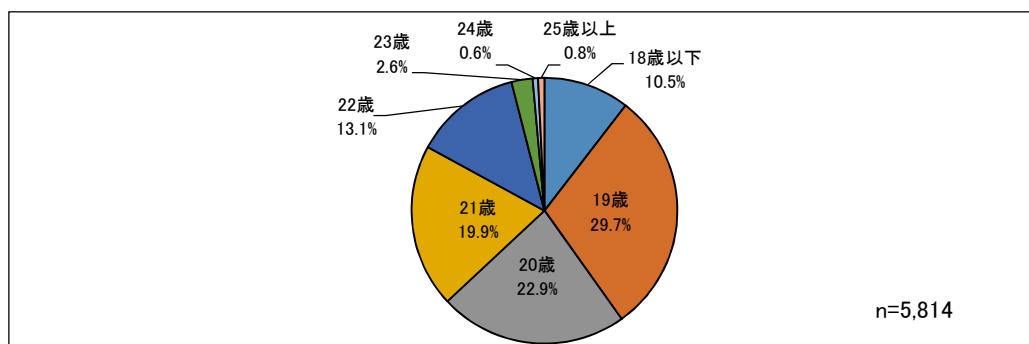
学年は「1年次」が39.4%で最も高く、年次が上がるほど低くなる傾向となっている。年齢は「19歳」が29.7%で最も高く、「20歳」が22.9%、「21歳」が19.9%の順となっている。性別は「男性」が54.7%、「女性」が43.6%で男性の割合が高い。

### 1.学年



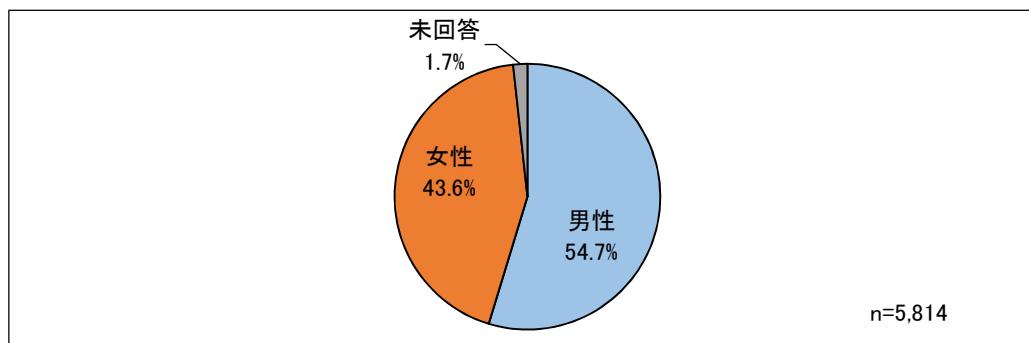
	1年次	2年次	3年次	4年次以上	回答者数
回答数(人)	2,288	1,328	1,211	987	5,814
割合(%)	39.4	22.8	20.8	17.0	100.0

### 2.年齢



	18歳以下	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳以上	回答者数
回答数(人)	608	1,726	1,332	1,156	759	151	36	46	5,814
割合(%)	10.5	29.7	22.9	19.9	13.1	2.6	0.6	0.8	100.0

### 3.性別



	男性	女性	未回答	回答者数
回答数(人)	3,180	2,533	101	5,814
割合(%)	54.7	43.6	1.7	100.0

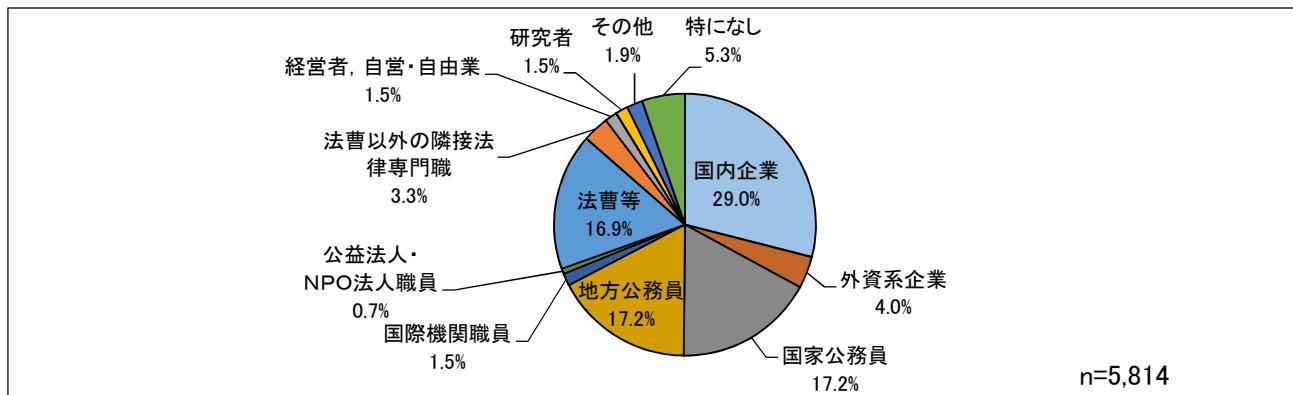
## 第 2 進路選択

### 1. 将来の職業

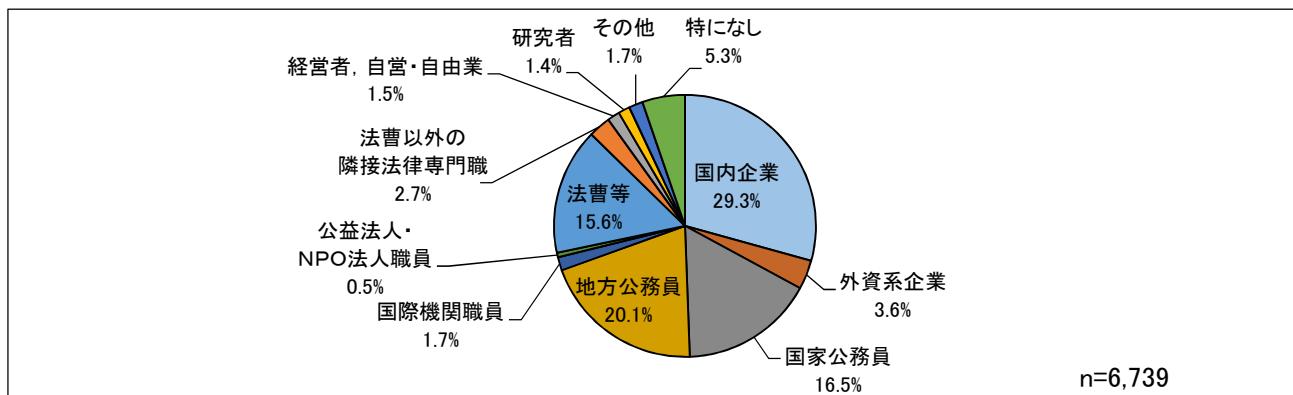
将来の職業については、「国内企業」が29.0%で最も高く、次いで「国家公務員」、「地方公務員」がともに17.2%で続いている。「法曹等※」は16.9%で4番目となっている。

\*法曹(裁判官、検察官及び弁護士)のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む。以下、同じ。

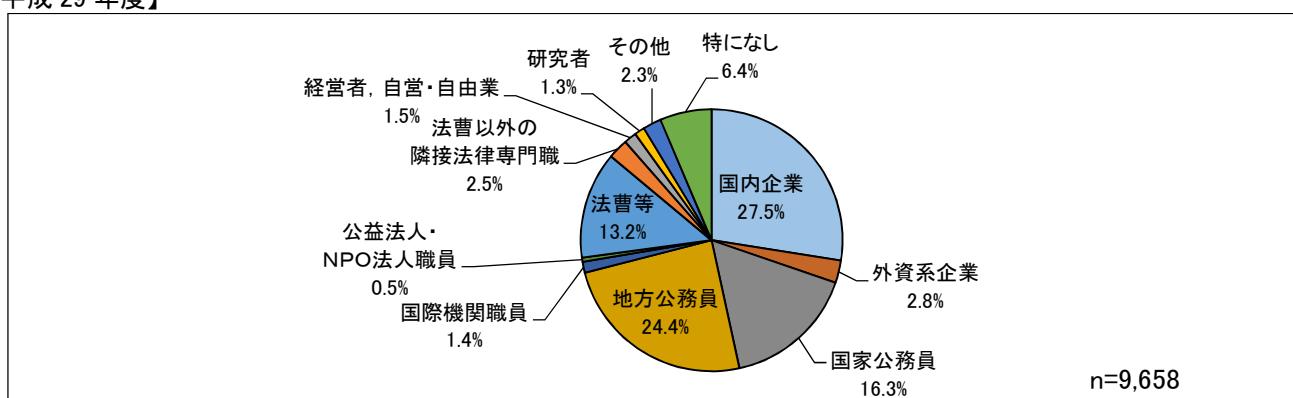
【令和元年度】



【平成 30 年度】



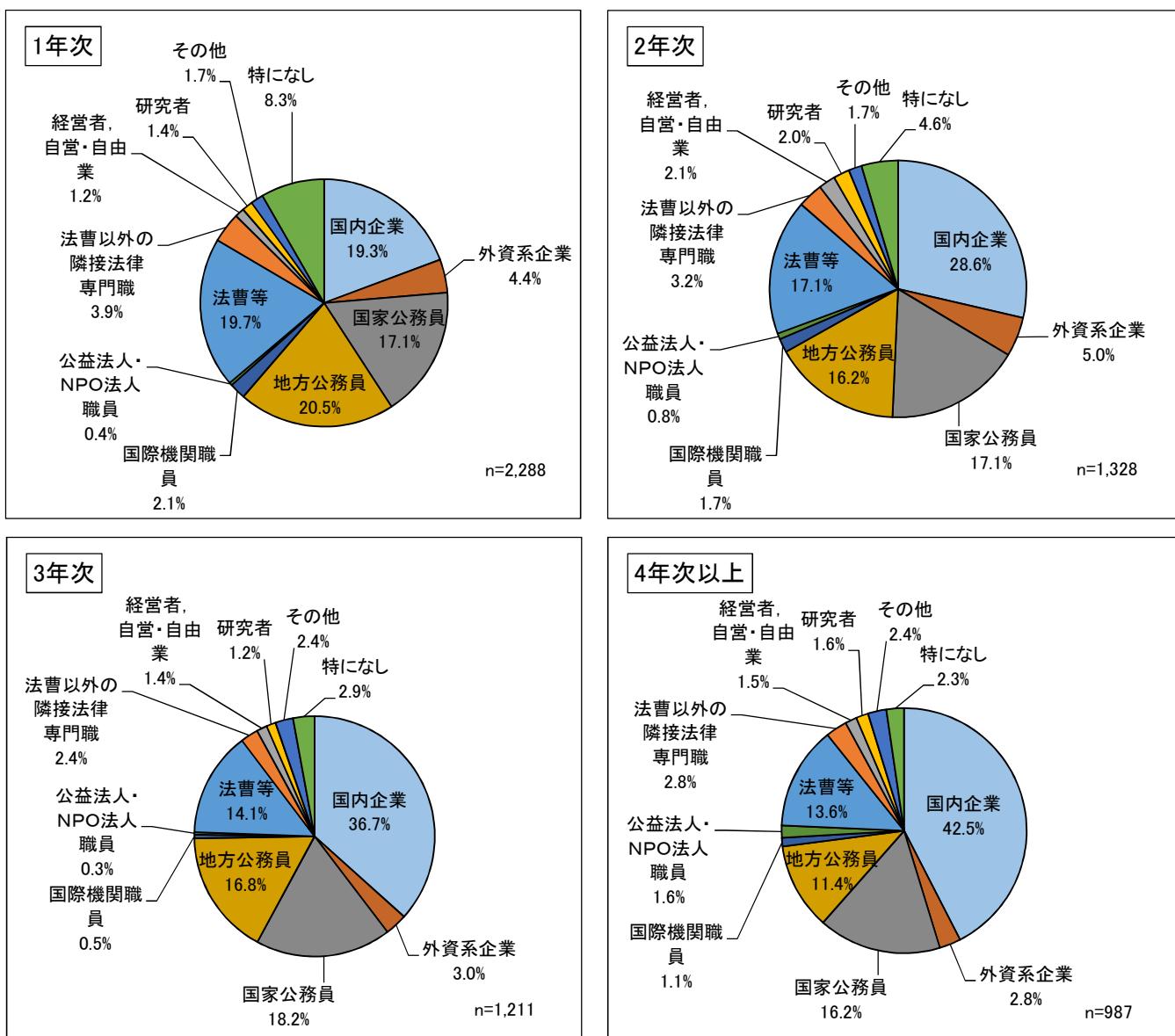
【平成 29 年度】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	国際機関職員	公益法人・NPO法人職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者・自営・自由業	研究者	その他	特になし	回答者数
令和元年度	1,685 29.0	230 4.0	1,000 17.2	1,001 17.2	88 1.5	39 0.7	982 16.9	189 3.3	88 1.5	90 1.5	113 1.9	309 5.3	5,814 100.0
平成30年度	1,974 29.3	243 3.6	1,113 16.5	1,353 20.1	112 1.7	37 0.5	1,053 15.6	184 2.7	103 1.5	96 1.4	116 1.7	355 5.3	6,739 100.0
平成29年度	2,653 27.5	269 2.8	1,578 16.3	2,358 24.4	132 1.4	49 0.5	1,273 13.2	240 2.5	149 1.5	121 1.3	219 2.3	617 6.4	9,658 100.0

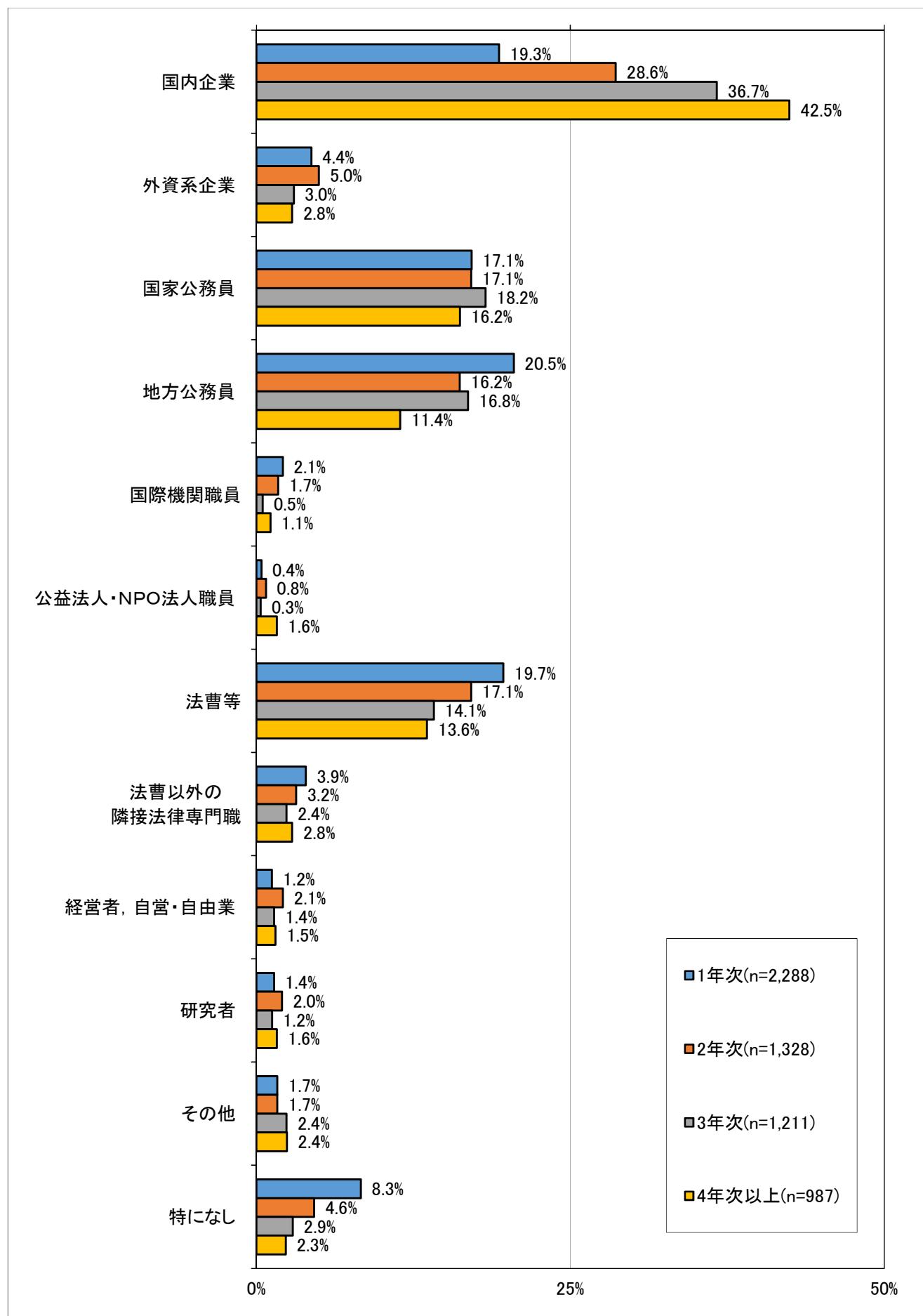
(参考)学年別内訳【円グラフ・表】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

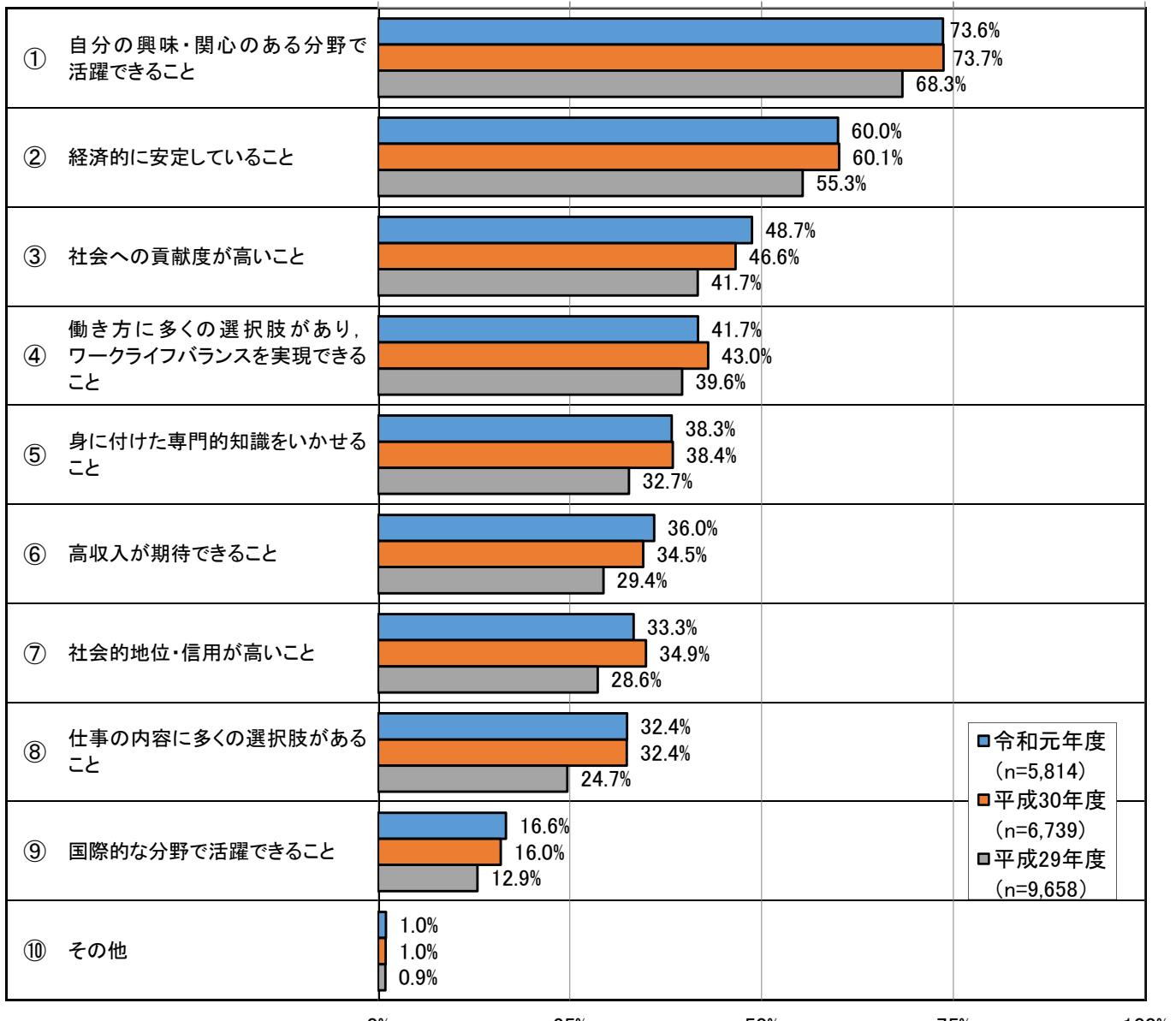
	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	国際機関職員	公益法人・NPO法人職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者・自営・自由業	研究者	その他	特になし	回答者数
1年次	442 19.3	100 4.4	392 17.1	469 20.5	48 2.1	9 0.4	450 19.7	90 3.9	28 1.2	32 1.4	38 1.7	190 8.3	2,288 100.0
2年次	380 28.6	66 5.0	227 17.1	215 16.2	23 1.7	10 0.8	227 17.1	42 3.2	28 2.1	27 2.0	22 1.7	61 4.6	1,328 100.0
3年次	444 36.7	36 3.0	221 18.2	204 16.8	6 0.5	4 0.3	171 14.1	29 2.4	17 1.4	15 1.2	29 2.4	35 2.9	1,211 100.0
4年次以上	419 42.5	28 2.8	160 16.2	113 11.4	11 1.1	16 1.6	134 13.6	28 2.8	15 1.5	16 1.6	24 2.4	23 2.3	987 100.0
全 体	1,685 29.0	230 4.0	1,000 17.2	1,001 17.2	88 1.5	39 0.7	982 16.9	189 3.3	88 1.5	90 1.5	113 1.9	309 5.3	5,814 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ】



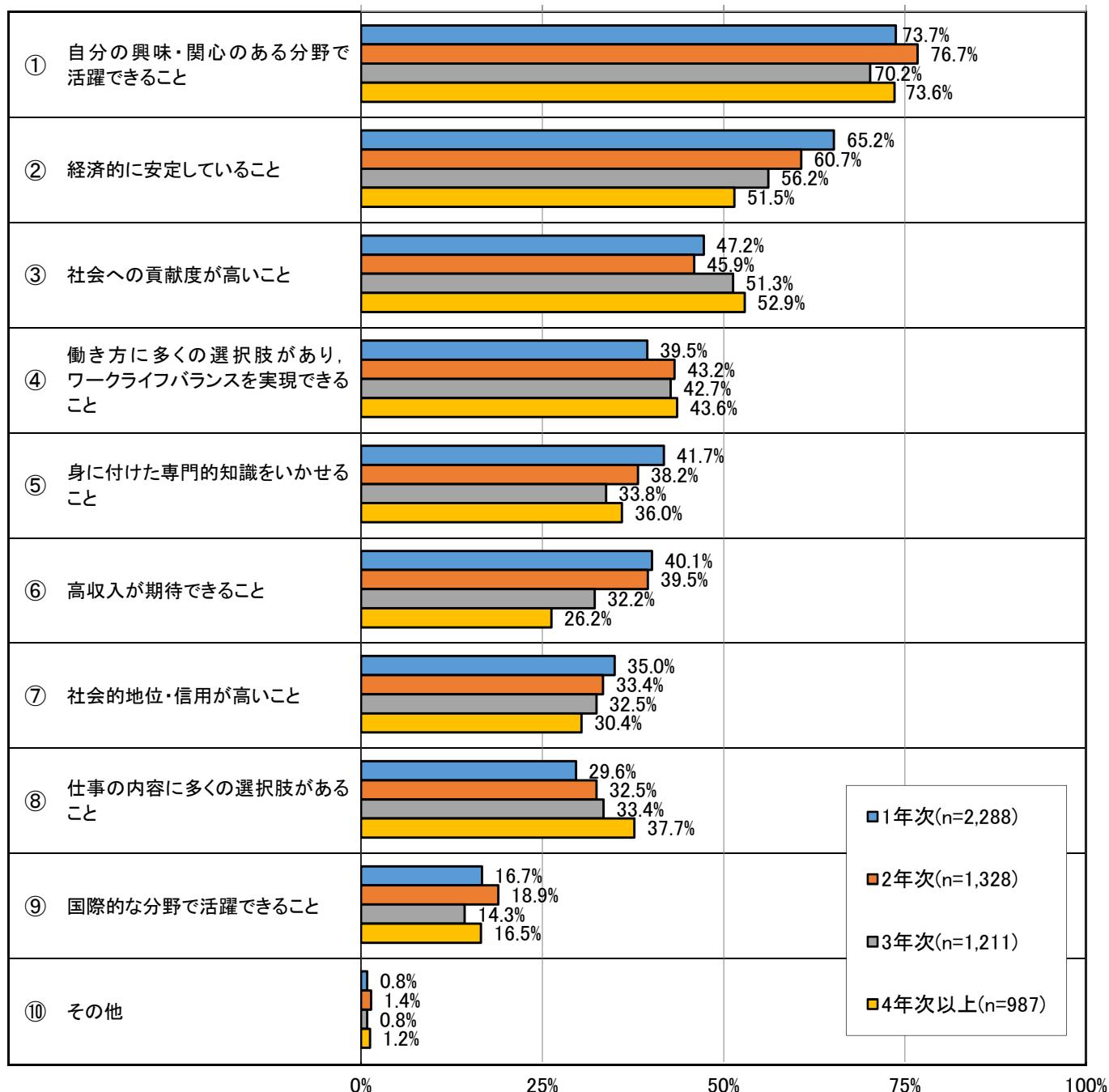
## 2.職業選択に当たり重視すること(複数選択可)

職業選択に当たり重視することは、「自分の興味・関心のある分野で活躍できること」が73.6%で最も高く、次いで「経済的に安定していること」が60.0%で続いており、この2項目が過半数となっている。



	(上段:回答数・人/下段:割合・%)										回答者数
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	経済的に安定していること	社会への貢献度が高いこと	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること	身に付けた専門的知識をいかせること	高収入が期待できること	社会的地位・信用が高いこと	仕事の内容に多くの選択肢があること	国際的な分野で活躍できること	その他	
令和元年度	4,282 73.6	3,486 60.0	2,834 48.7	2,424 41.7	2,226 38.3	2,092 36.0	1,936 33.3	1,886 32.4	968 16.6	59 1.0	5,814 100.0
平成30年度	4,968 73.7	4,050 60.1	3,141 46.6	2,899 43.0	2,589 38.4	2,328 34.5	2,353 34.9	2,184 32.4	1,078 16.0	65 1.0	6,739 100.0
平成29年度	6,600 68.3	5,345 55.3	4,023 41.7	3,827 39.6	3,157 32.7	2,837 29.4	2,765 28.6	2,381 24.7	1,249 12.9	91 0.9	9,658 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ・表】



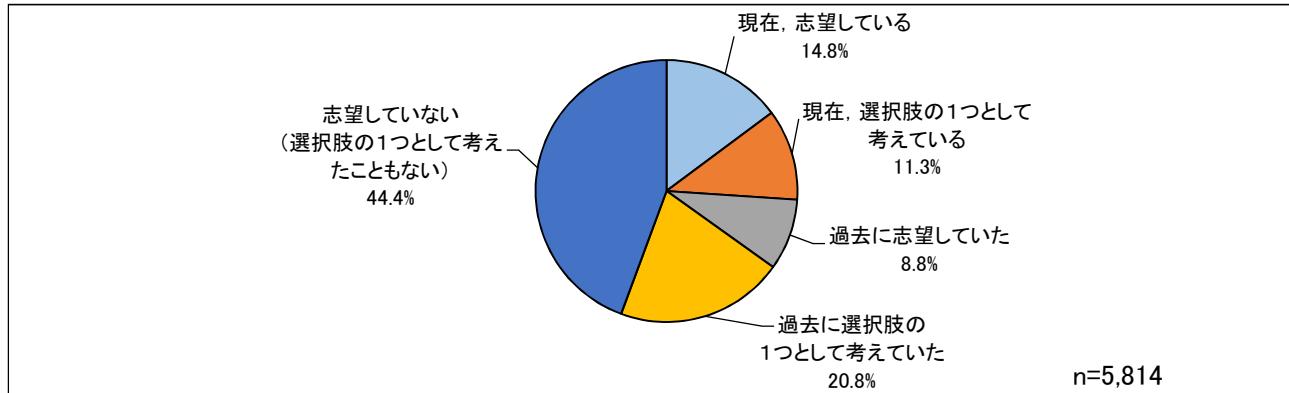
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	回答者数
	自分の興味・ 関心のある 分野で活躍 できること	経済的に安 定しているこ と	社会への貢 献度が高いこ と	働き方に多く の選択肢が あり、ワーク ライフバランス を実現でき ること	身に付けた 専門的知識 をいかせるこ と	高収入が期 待できること	社会的地位・ 信用が高いこ と	仕事の内容 に多くの選 択肢があるこ と	国際的な分 野で活躍でき ること	その他	
1年次	1,687 73.7	1,492 65.2	1,081 47.2	903 39.5	955 41.7	918 40.1	800 35.0	678 29.6	381 16.7	19 0.8	2,288 100.0
2年次	1,019 76.7	806 60.7	610 45.9	574 43.2	507 38.2	525 39.5	443 33.4	431 32.5	251 18.9	18 1.4	1,328 100.0
3年次	850 70.2	680 56.2	621 51.3	517 42.7	409 33.8	390 32.2	393 32.5	405 33.4	173 14.3	10 0.8	1,211 100.0
4年次 以上	726 73.6	508 51.5	522 52.9	430 43.6	355 36.0	259 26.2	300 30.4	372 37.7	163 16.5	12 1.2	987 100.0
全 体	4,282 73.6	3,486 60.0	2,834 48.7	2,424 41.7	2,226 38.3	2,092 36.0	1,936 33.3	1,886 32.4	968 16.6	59 1.0	5,814 100.0

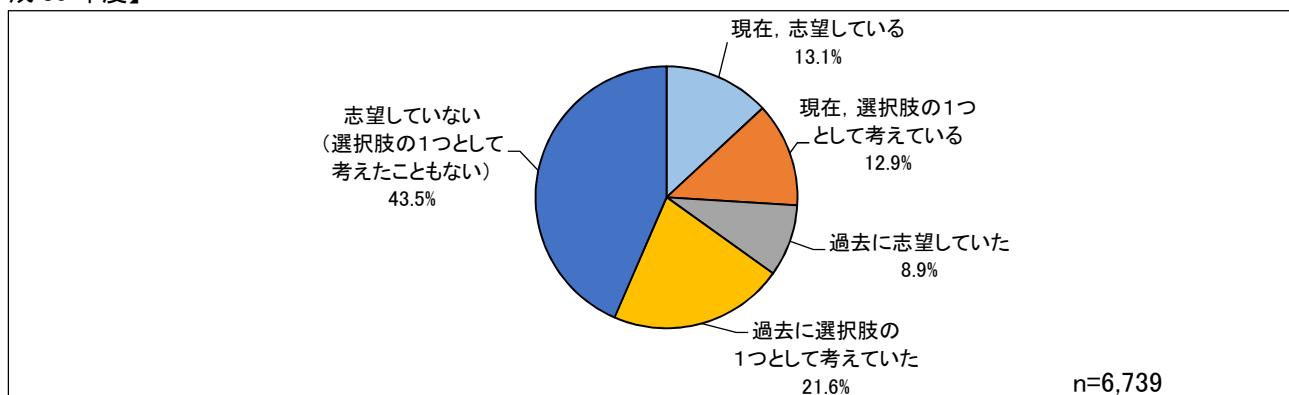
### 3.法曹等の志望の状況

法曹等の志望の状況については、「現在、志望している」が 14.8%、「現在、選択肢の 1 つとして考えている」が 11.3% であり、合計 26.1% が現在志望または選択肢の 1 つとしている。なお、「現在、志望している」の割合は平成 29 年度から毎年上昇している。これに対して「過去に志望していた」は 8.8%、「過去に選択肢の 1 つとして考えていた」が 20.8% であり合計 29.6% が過去に志望・選択肢の 1 つとしていた。また「志望していない(選択肢の 1 つとして考えたこともない)」は 44.4% と 4 割を超えてい。

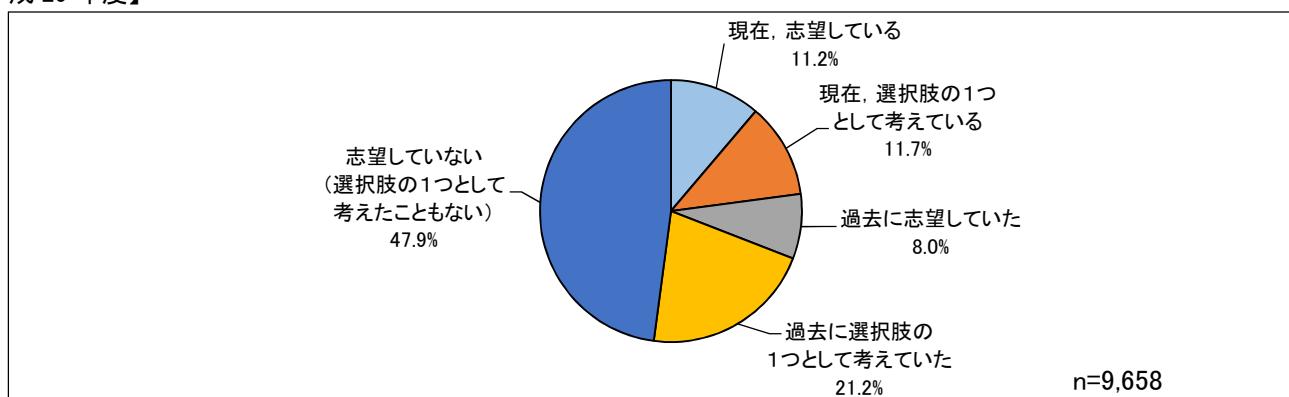
#### 【令和元年度】



#### 【平成 30 年度】



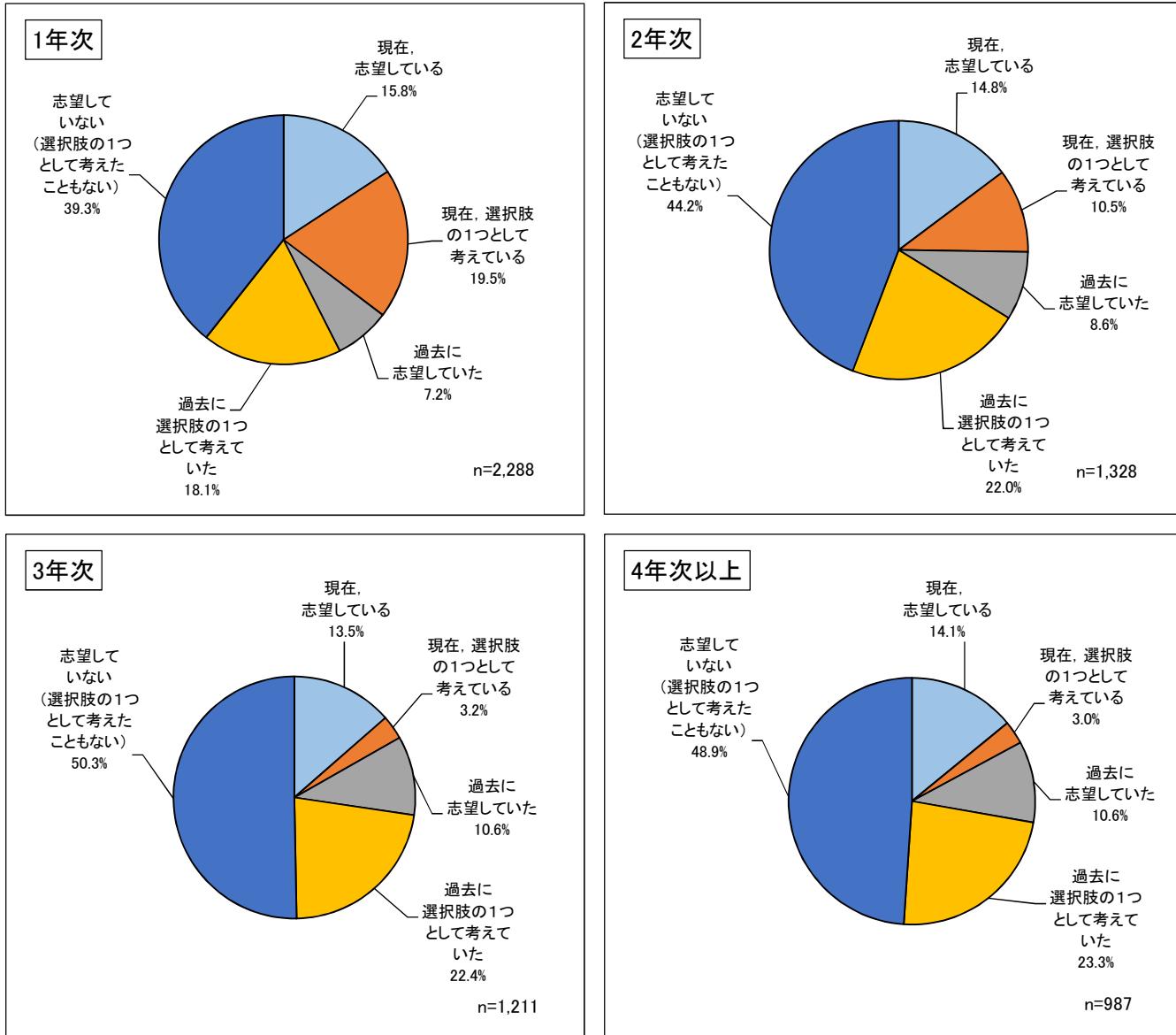
#### 【平成 29 年度】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	現在、志望している	現在、選択肢の 1 つとして考えている	過去に志望していた	過去に選択肢の 1 つとして考えていた	志望していない(選択肢の 1 つとして考えたこともない)	回答者数
令和元年度	860 14.8	655 11.3	512 8.8	1,208 20.8	2,579 44.4	5,814 100.0
平成 30 年度	882 13.1	869 12.9	600 8.9	1,456 21.6	2,932 43.5	6,739 100.0
平成 29 年度	1,081 11.2	1,131 11.7	771 8.0	2,048 21.2	4,627 47.9	9,658 100.0

(参考)学年別内訳【円グラフ・表】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	現在、志望している	現在、選択肢の1つとして考えている	過去に志望していた	過去に選択肢の1つとして考えてていた	志望していない(選択肢の1つとして考えたこともない)	回答者数
1年次	361 15.8	447 19.5	165 7.2	415 18.1	900 39.3	2,288 100.0
2年次	196 14.8	139 10.5	114 8.6	292 22.0	587 44.2	1,328 100.0
3年次	164 13.5	39 3.2	128 10.6	271 22.4	609 50.3	1,211 100.0
4年次以上	139 14.1	30 3.0	105 10.6	230 23.3	483 48.9	987 100.0
全体	860 14.8	655 11.3	512 8.8	1,208 20.8	2,579 44.4	5,814 100.0

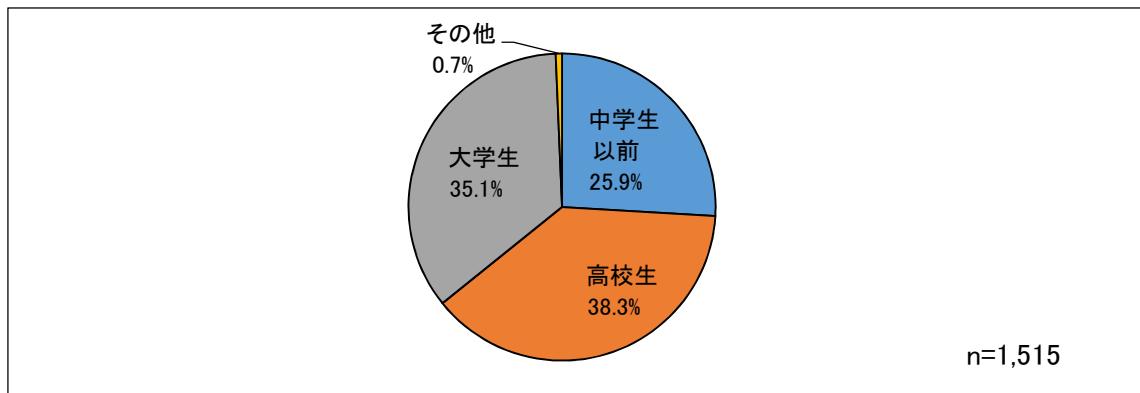
### 第3 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹等の魅力等

#### 1.法曹等を志望した時期

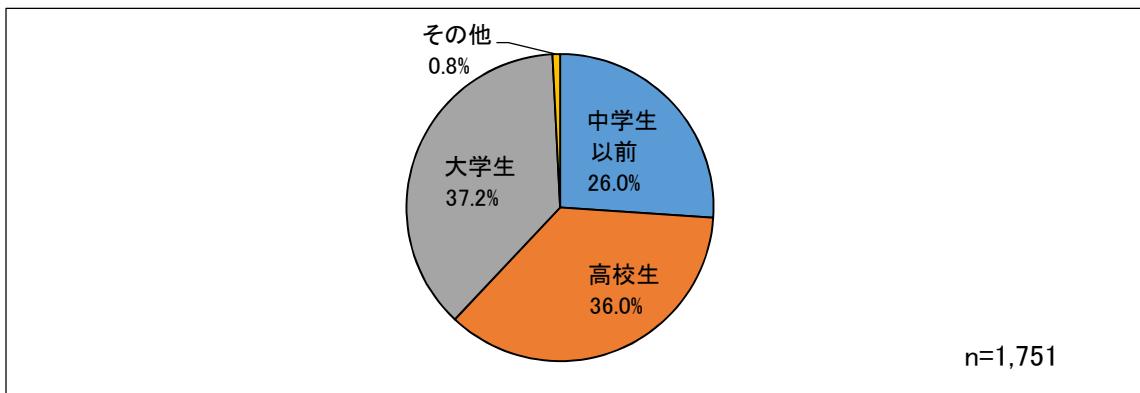
##### (1)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生が、法曹等を志望した時期は「高校生」が38.3%、次いで「大学生」が35.1%ほぼ同じ割合で高く、「中学生以前」は25.9%となっている。

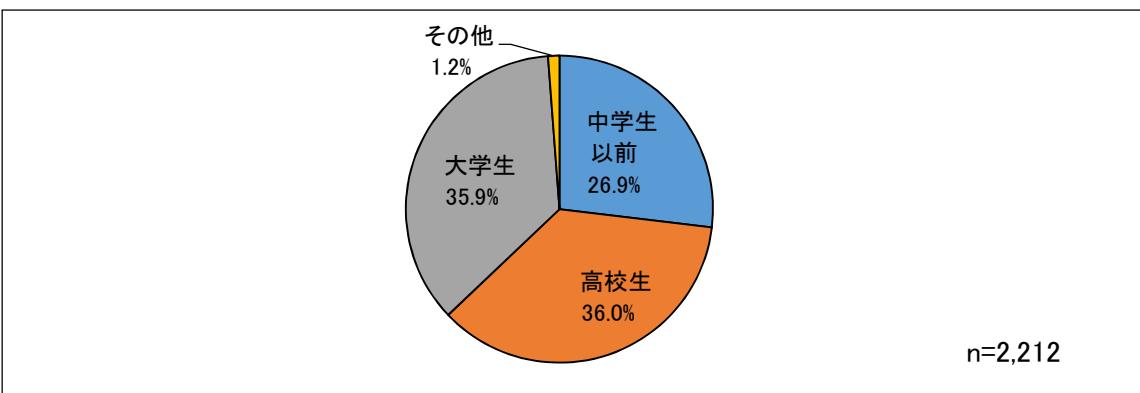
【令和元年度】



【平成30年度】



【平成29年度】



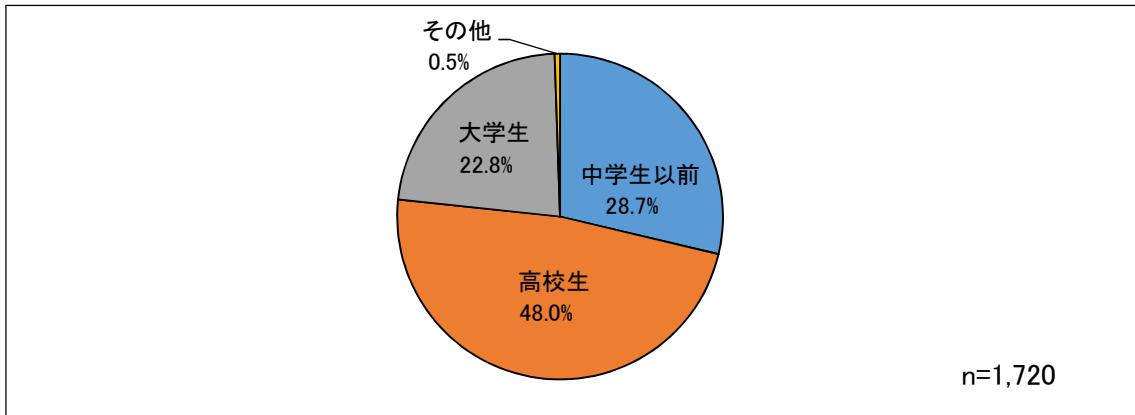
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	中学生以前	高校生	大学生	その他	回答者数
令和元年度	393 25.9	580 38.3	532 35.1	10 0.7	1,515 100.0
平成30年度	456 26.0	630 36.0	651 37.2	14 0.8	1,751 100.0
平成29年度	595 26.9	797 36.0	794 35.9	26 1.2	2,212 100.0

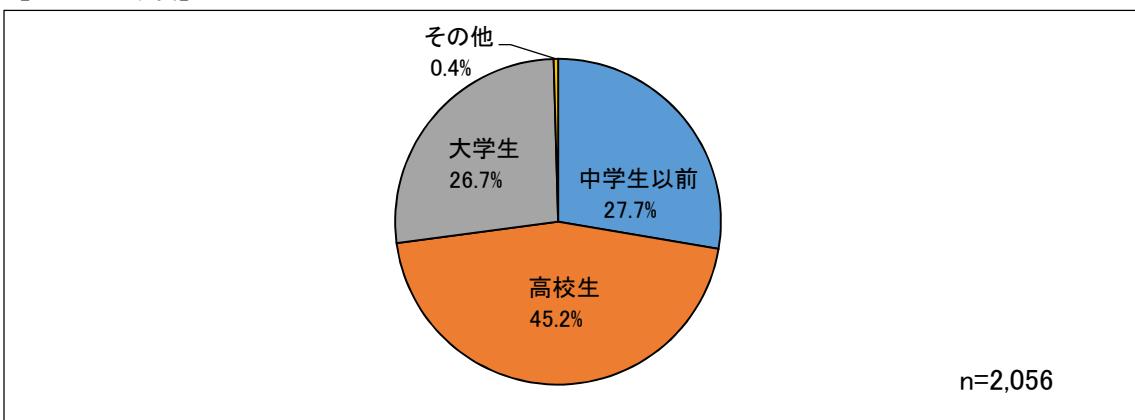
## (2)過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に法曹等を志望していたか、選択肢の1つとして考えていた学生が、法曹等を志望した時期は「高校生」が48.0%で最も高く、次いで「中学生以前」が28.7%となっている。現在志望・選択肢の1つとして考えている学生と比較すると、高校生の割合が9.7ポイント高く、「大学生」の割合が12.3ポイント低くなっている。

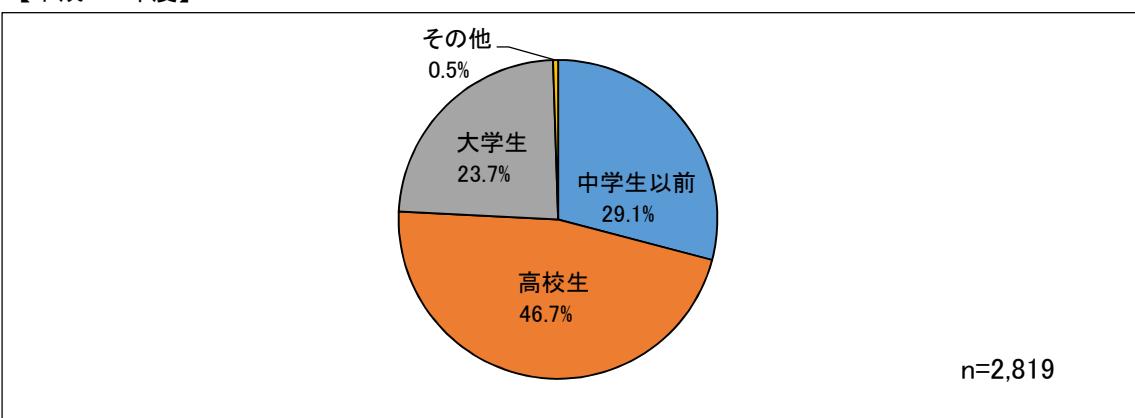
【令和元年度】



【平成30年度】



【平成29年度】



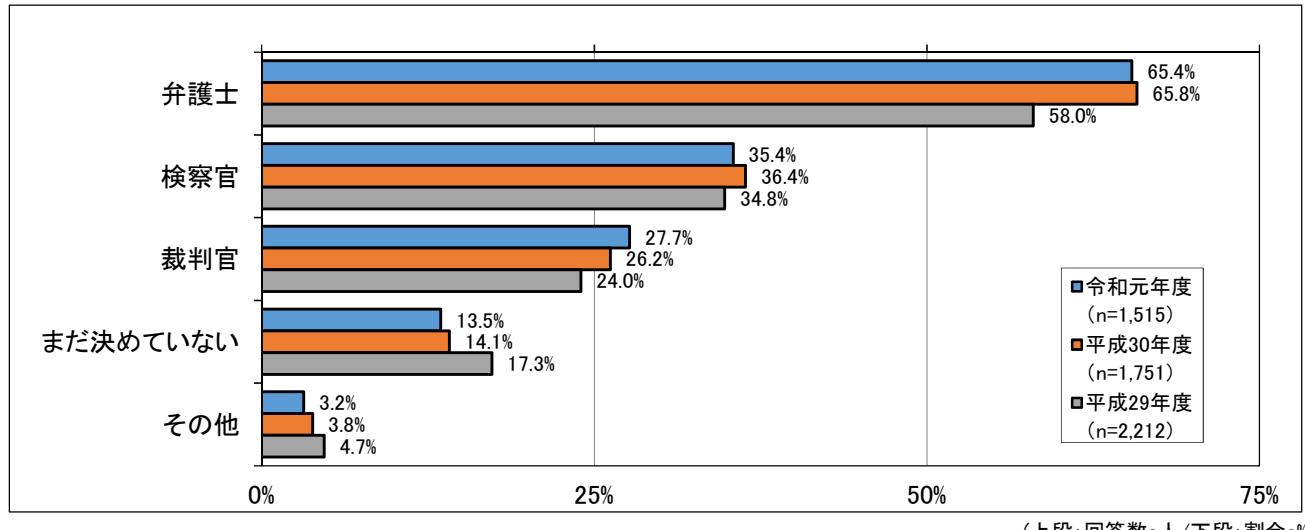
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	中学生以前	高校生	大学生	その他	回答者数
令和元年度	494 28.7	825 48.0	392 22.8	9 0.5	1,720 100.0
平成30年度	569 27.7	930 45.2	548 26.7	9 0.4	2,056 100.0
平成29年度	820 29.1	1,317 46.7	668 23.7	14 0.5	2,819 100.0

## 2.法曹等としての進路(複数選択可)

### (1)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

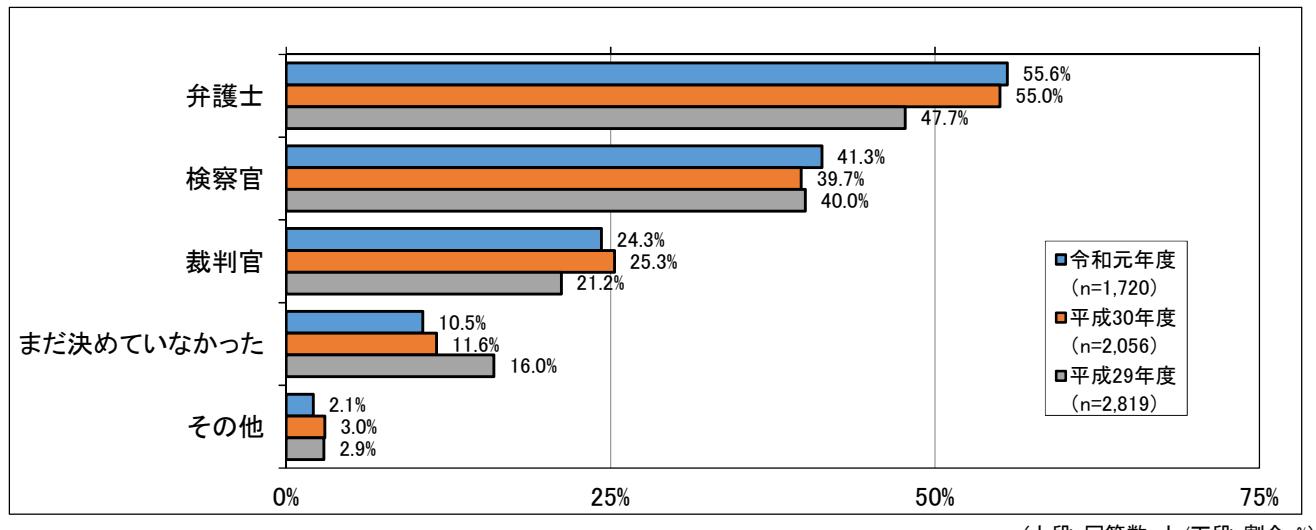
現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生が志望する進路は、「弁護士」が65.4%で最も高く、過半数となっている。次いで「検察官」が35.4%、「裁判官」は27.7%である。なお「まだ決めていない」も13.5%と1割を超えている。



	弁護士	検察官	裁判官	まだ決めていない	その他	回答者数
令和元年度	991 65.4	537 35.4	419 27.7	204 13.5	48 3.2	1,515 100.0
平成30年度	1,152 65.8	637 36.4	459 26.2	247 14.1	67 3.8	1,751 100.0
平成29年度	1,282 58.0	770 34.8	530 24.0	383 17.3	104 4.7	2,212 100.0

### (2)過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に法曹等を志望していたか、選択肢の1つとして考えていた学生が志望していた進路は、「弁護士」が55.6%で最も高く、次いで「検察官」が41.3%、「裁判官」が24.3%、「まだ決めていなかった」が10.5%となっている。

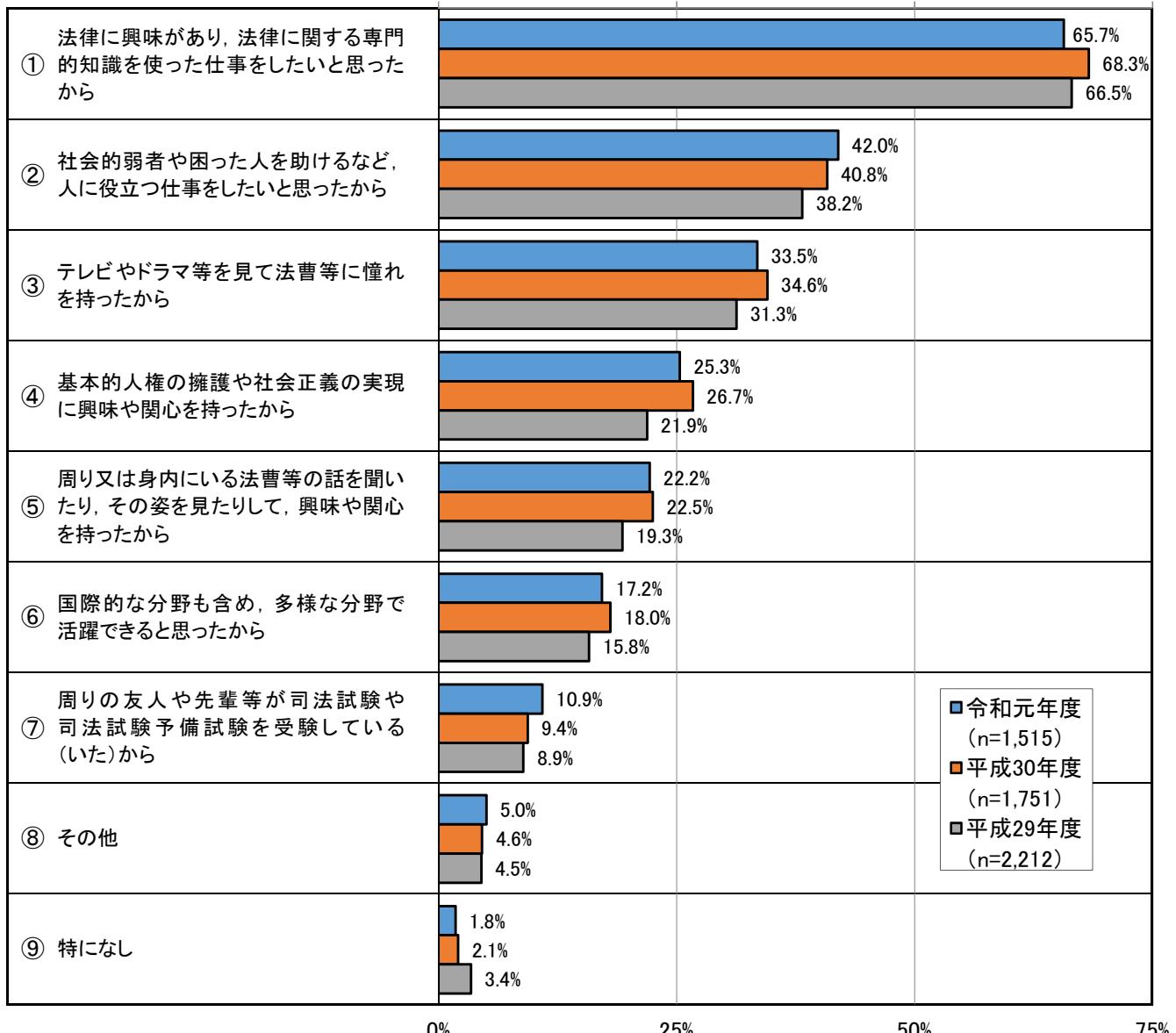


	弁護士	検察官	裁判官	まだ決めていなかった	その他	回答者数
令和元年度	956 55.6	710 41.3	418 24.3	181 10.5	36 2.1	1,720 100.0
平成30年度	1,131 55.0	816 39.7	520 25.3	238 11.6	61 3.0	2,056 100.0
平成29年度	1,344 47.7	1,129 40.0	598 21.2	450 16.0	82 2.9	2,819 100.0

### 3.法曹等志望の契機(複数選択可)

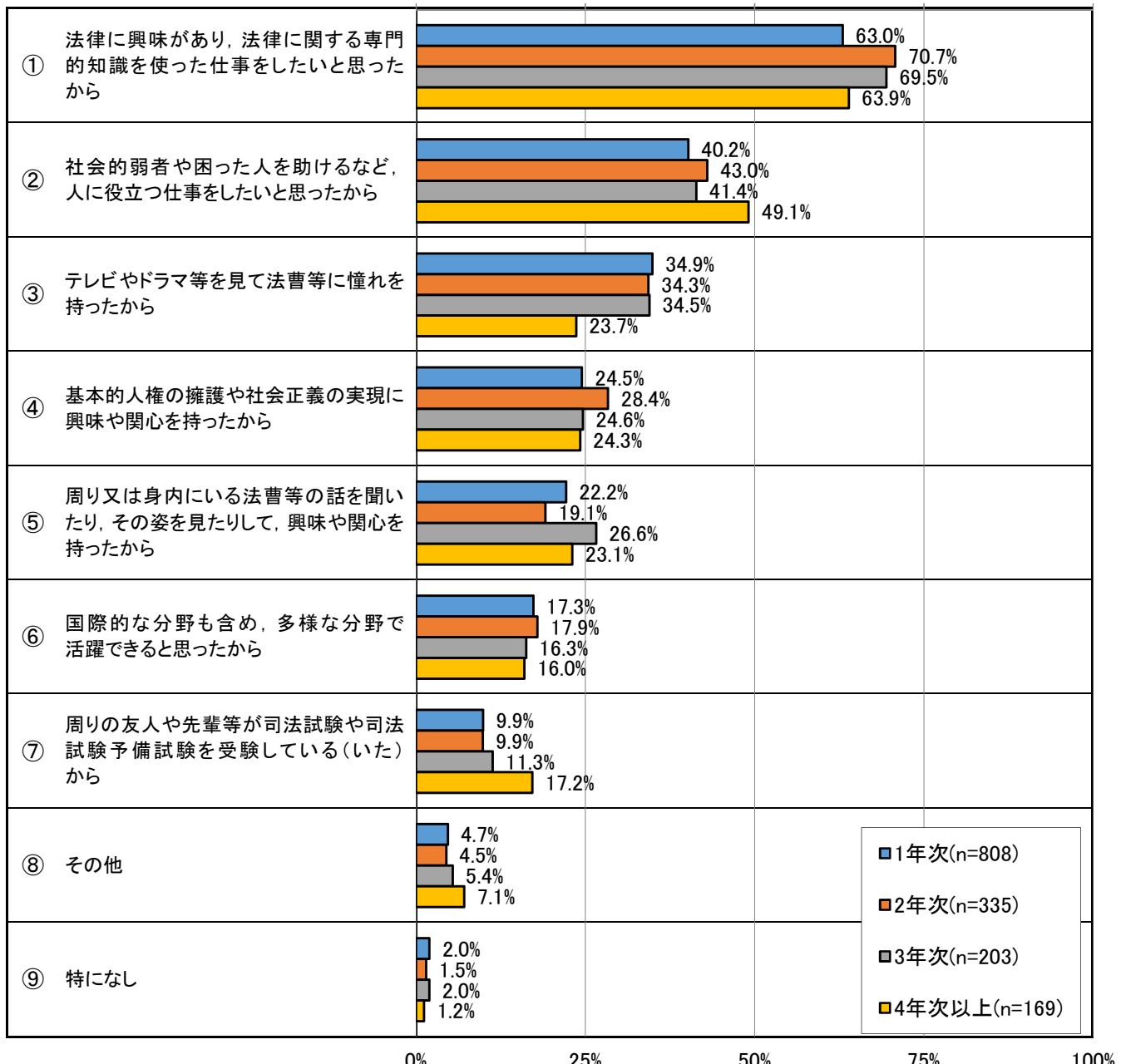
#### (1)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生の法曹等志望の契機は、「法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから」が65.7%で最も高く、唯一過半数となっている。次いで「社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」が42.0%、「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」が33.5%となっている。



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	回答者数
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	基本個人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	
令和元年度	995	636	507	384	336	260	165	76	27	1,515
	65.7	42.0	33.5	25.3	22.2	17.2	10.9	5.0	1.8	100.0
平成30年度	1,196	715	605	468	394	316	164	80	36	1,751
	68.3	40.8	34.6	26.7	22.5	18.0	9.4	4.6	2.1	100.0
平成29年度	1,471	844	692	484	426	349	197	99	76	2,212
	66.5	38.2	31.3	21.9	19.3	15.8	8.9	4.5	3.4	100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ・表】

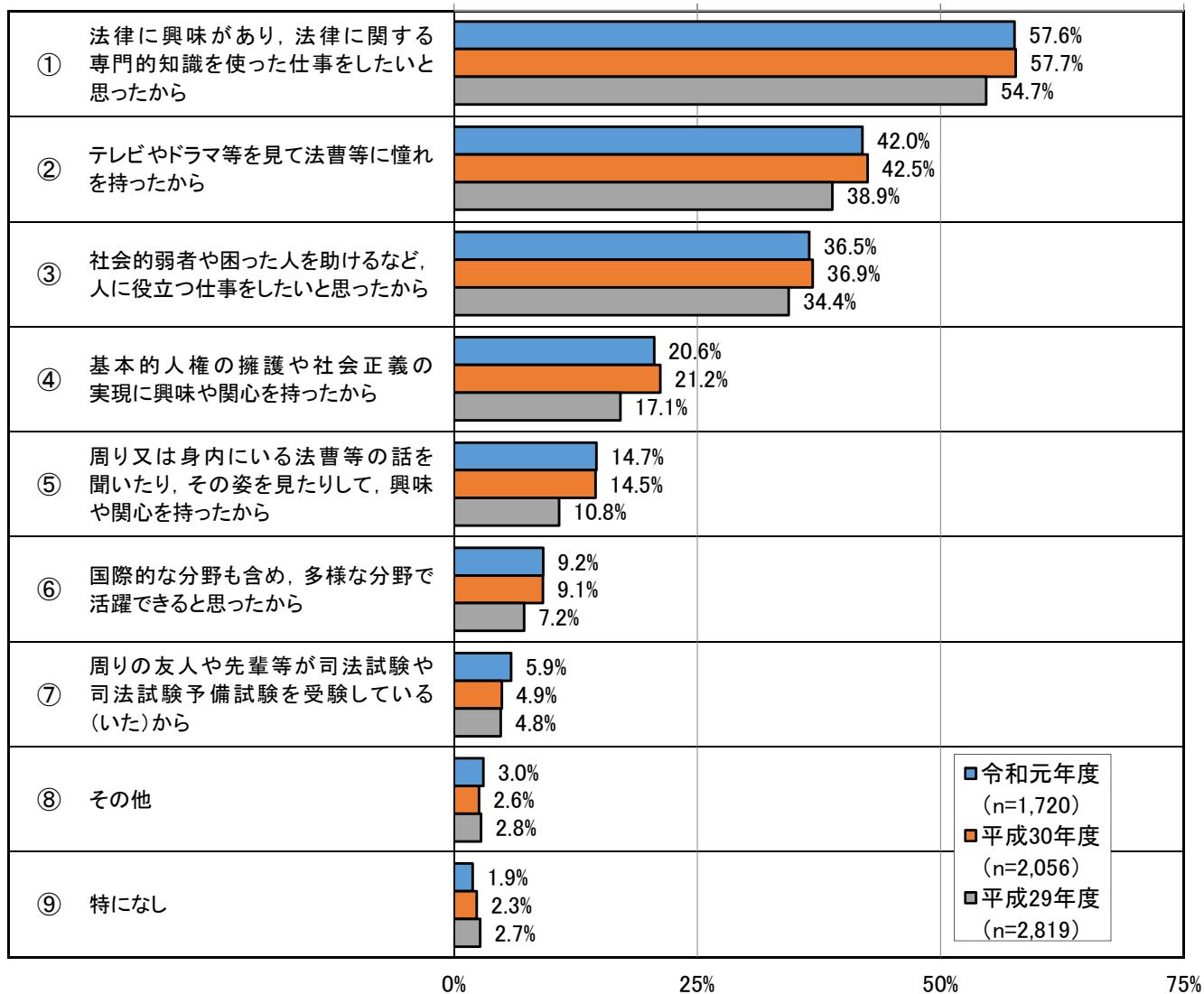


(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	回答者数
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	
1 年次	509 63.0	325 40.2	282 34.9	198 24.5	179 22.2	140 17.3	80 9.9	38 4.7	16 2.0	808 100.0
2 年次	237 70.7	144 43.0	115 34.3	95 28.4	64 19.1	60 17.9	33 9.9	15 4.5	5 1.5	335 100.0
3 年次	141 69.5	84 41.4	70 34.5	50 24.6	54 26.6	33 16.3	23 11.3	11 5.4	4 2.0	203 100.0
4 年次 以上	108 63.9	83 49.1	40 23.7	41 24.3	39 23.1	27 16.0	29 17.2	12 7.1	2 1.2	169 100.0
全 体	995 65.7	636 42.0	507 33.5	384 25.3	336 22.2	260 17.2	165 10.9	76 5.0	27 1.8	1,515 100.0

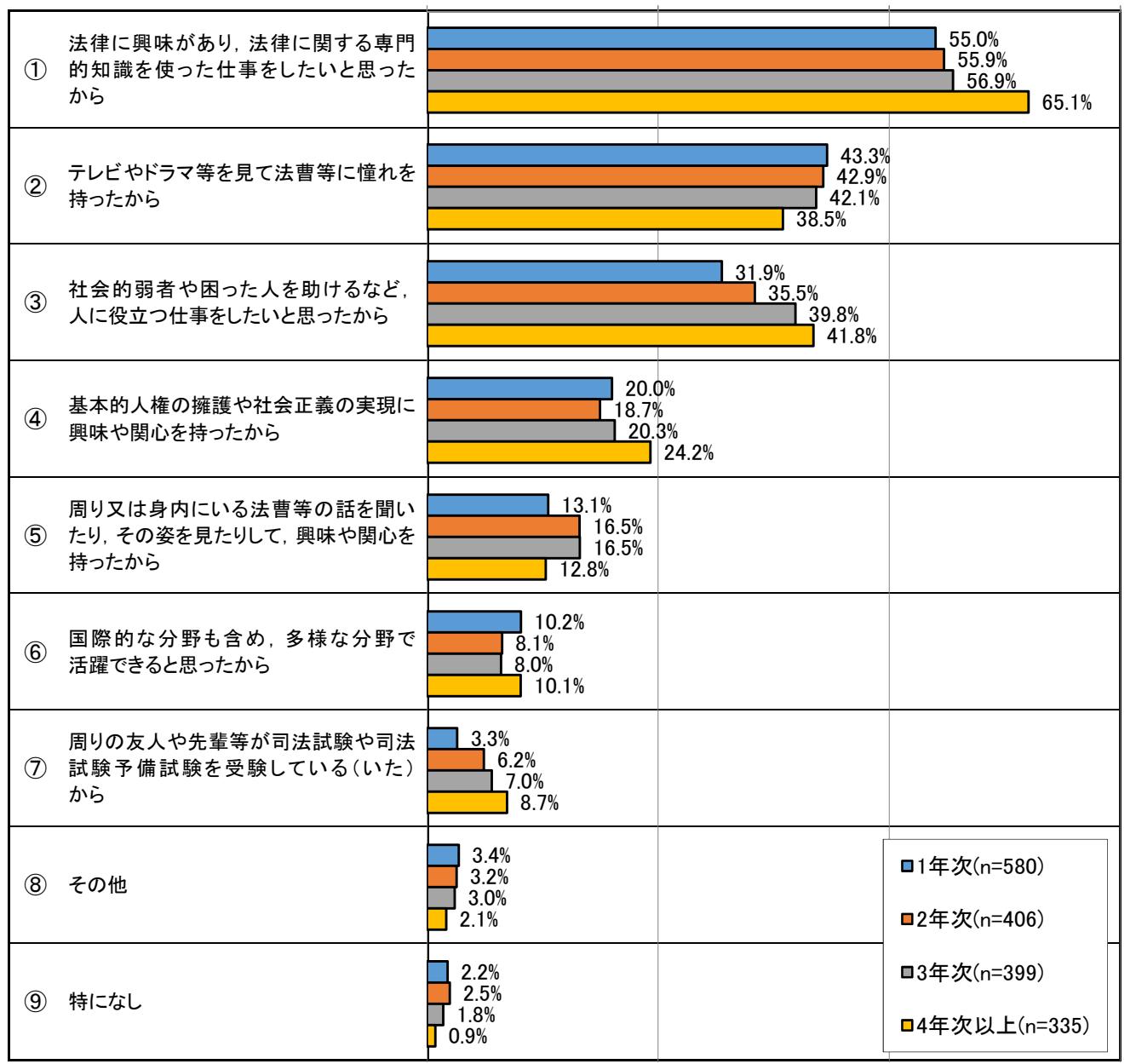
## (2)過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に法曹等を志望していたか、選択肢の1つとして考えていた学生の法曹等志望の契機は、「法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから」が57.0%で最も高く、過半数である。次いで「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」が42.0%、「社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」が36.5%となっている。



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	(上段:回答数・人/下段:割合・%)
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
令和元年度	991 57.6	722 42.0	628 36.5	354 20.6	252 14.7	158 9.2	101 5.9	52 3.0	33 1.9	1,720 100.0
平成30年度	1,187 57.7	874 42.5	758 36.9	436 21.2	299 14.5	188 9.1	101 4.9	53 2.6	48 2.3	2,056 100.0
平成29年度	1,543 54.7	1,097 38.9	970 34.4	482 17.1	305 10.8	204 7.2	135 4.8	78 2.8	76 2.7	2,819 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ・表】

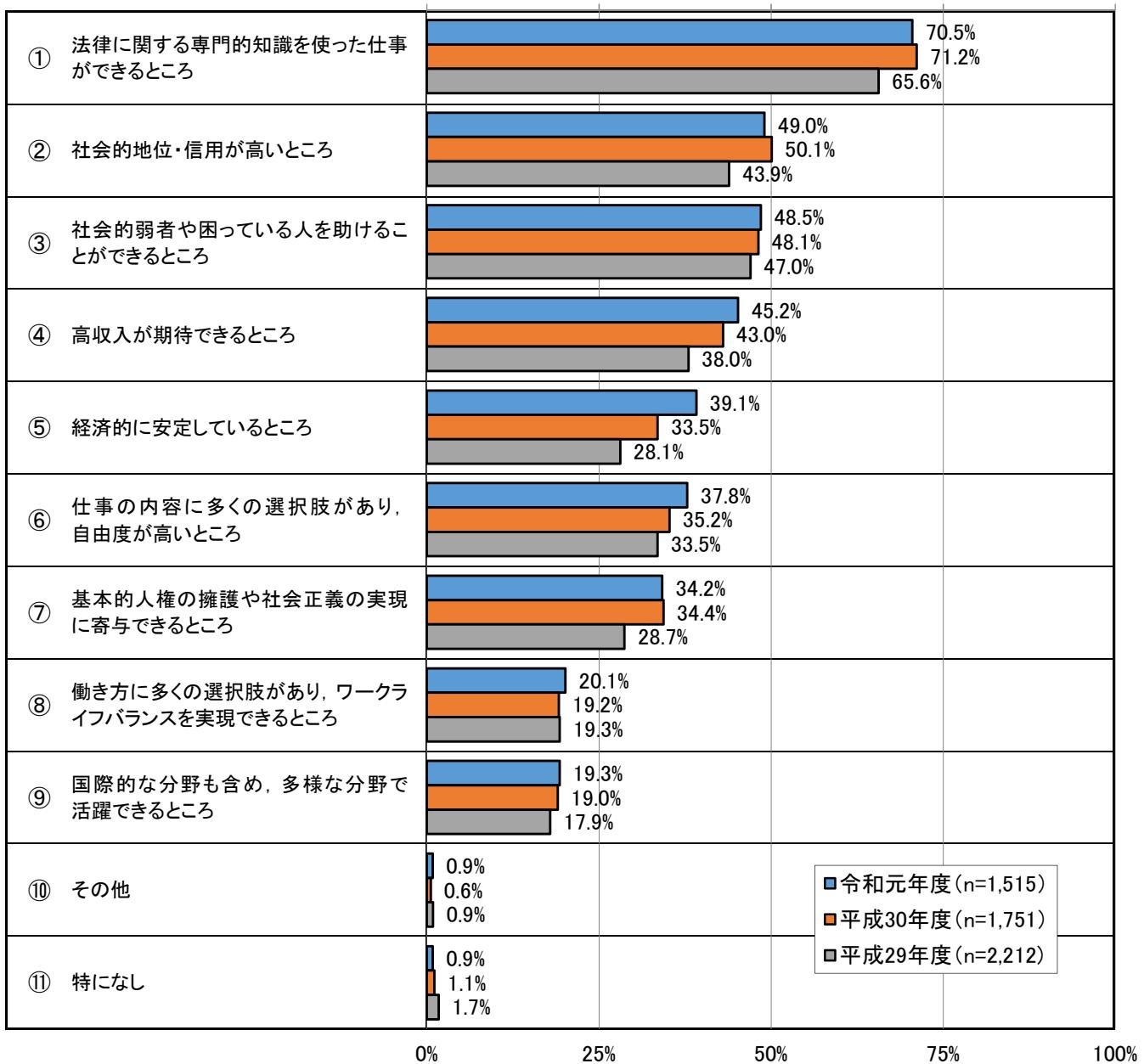


	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	(上段:回答数・人/下段:割合・%)
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
1 年次	319 55.0	251 43.3	185 31.9	116 20.0	76 13.1	59 10.2	19 3.3	20 3.4	13 2.2	580 100.0
2 年次	227 55.9	174 42.9	144 35.5	76 18.7	67 16.5	33 8.1	25 6.2	13 3.2	10 2.5	406 100.0
3 年次	227 56.9	168 42.1	159 39.8	81 20.3	66 16.5	32 8.0	28 7.0	12 3.0	7 1.8	399 100.0
4 年次 以上	218 65.1	129 38.5	140 41.8	81 24.2	43 12.8	34 10.1	29 8.7	7 2.1	3 0.9	335 100.0
全 体	991 57.6	722 42.0	628 36.5	354 20.6	252 14.7	158 9.2	101 5.9	52 3.0	33 1.9	1,720 100.0

#### 4.法曹等の魅力(複数選択可)

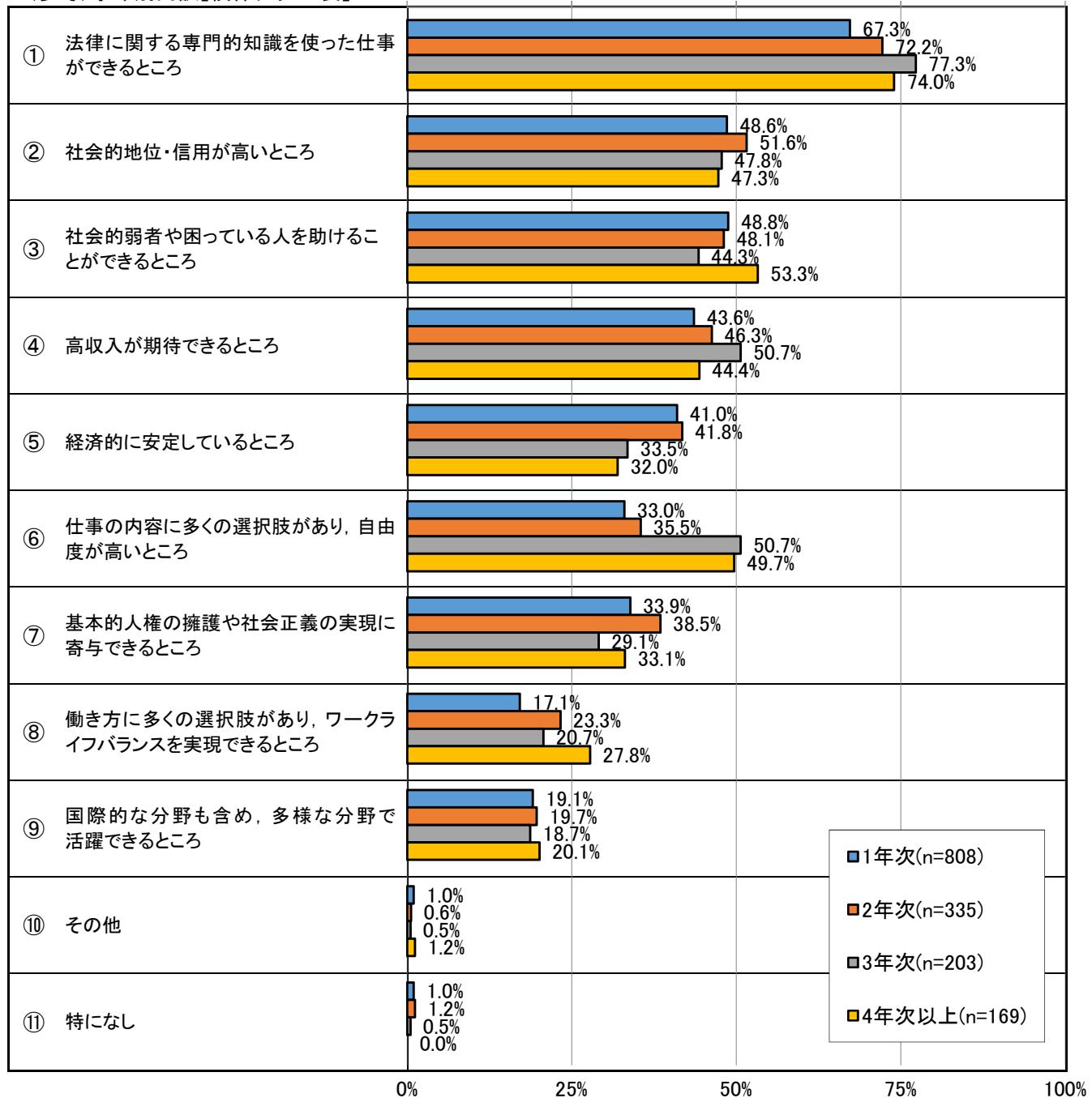
##### (1)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生では、法曹等の魅力については、「法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ」が70.5%で最も高く、次いで「社会的地位・信用が高いところ」が49.0%、「社会的弱者や困っている人を助けることができるところ」が48.5%、「高収入が期待できるところ」が45.2%となっている。



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	(上段:回答数・人/下段:割合・%)	
												回答者数	
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的地位・信用が高いところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ	その他	特になし		
令和元年度	1,068 70.5	743 49.0	735 48.5	685 45.2	593 39.1	573 37.8	518 34.2	305 20.1	292 19.3	13 0.9	13 0.9	1,515 100.0	
平成30年度	1,246 71.2	877 50.1	843 48.1	753 43.0	587 33.5	617 35.2	602 34.4	336 19.2	333 19.0	10 0.6	19 1.1	1,751 100.0	
平成29年度	1,450 65.6	972 43.9	1,039 47.0	840 38.0	622 28.1	741 33.5	635 28.7	427 19.3	397 17.9	21 0.9	38 1.7	2,212 100.0	

(参考)学年別内訳【横棒グラフ・表】



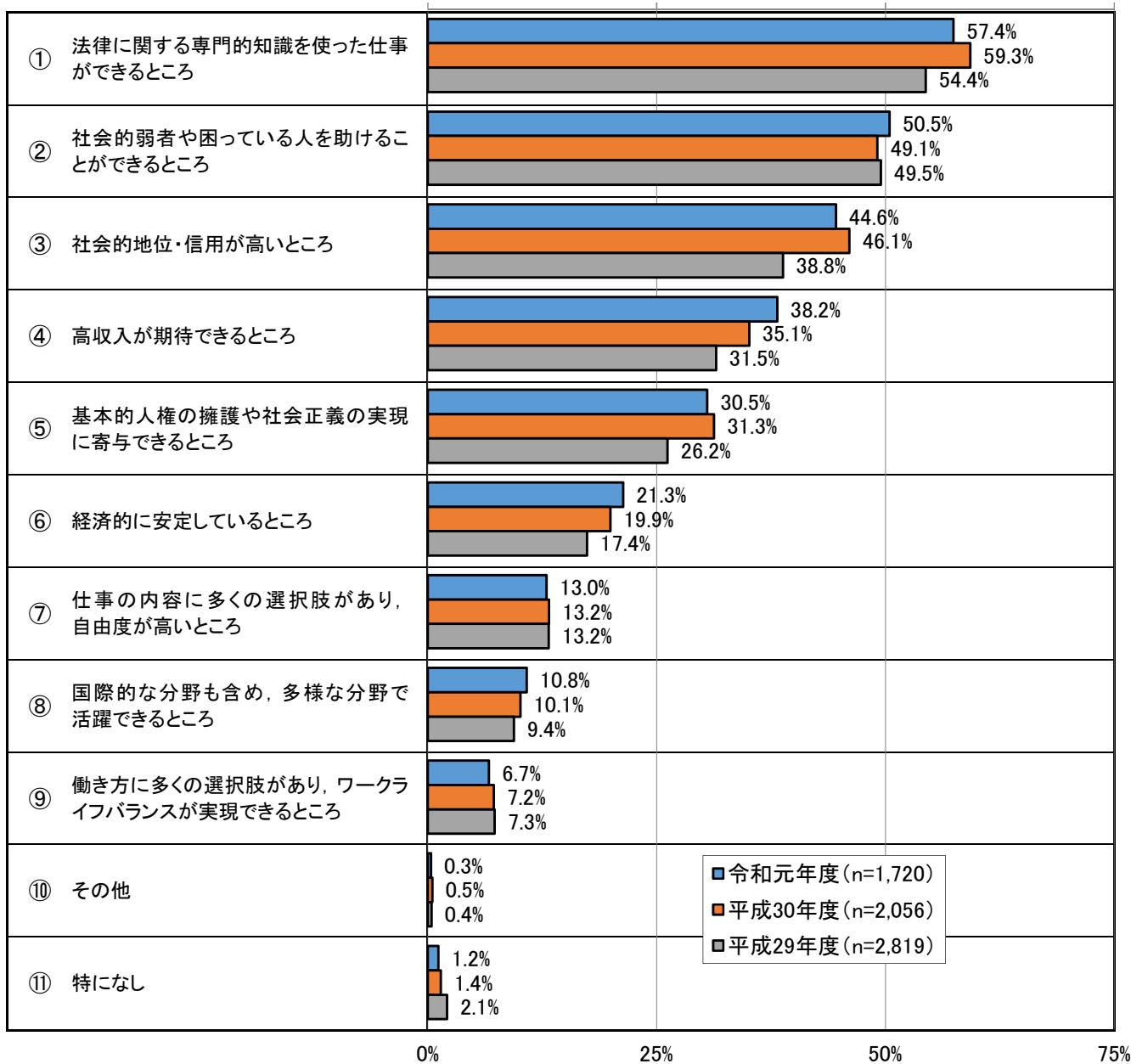
■1年次(n=808)  
■2年次(n=335)  
■3年次(n=203)  
■4年次以上(n=169)

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	回答者数
法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	544 67.3	393 48.6	394 48.8	352 43.6	331 41.0	267 33.0	274 33.9	138 17.1	154 19.1	8 1.0	8 1.0	808 100.0
社会的地位・信用が高いところ	242 72.2	173 51.6	161 48.1	155 46.3	140 41.8	119 35.5	129 38.5	78 23.3	66 19.7	2 0.6	4 1.2	335 100.0
高収入が期待できるところ	157 77.3	97 47.8	90 44.3	103 50.7	68 33.5	103 50.7	59 29.1	42 20.7	38 18.7	1 0.5	1 0.5	203 100.0
経済的に安定しているところ	125 74.0	80 47.3	90 53.3	75 44.4	54 32.0	84 49.7	56 33.1	47 27.8	34 20.1	2 1.2	0 0.0	169 100.0
仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	1,068 70.5	743 49.0	735 48.5	685 45.2	593 39.1	573 37.8	518 34.2	305 20.1	292 19.3	13 0.9	13 0.9	1,515 100.0
基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ												
働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ												
国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ												
その他												
特になし												

## (2)過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

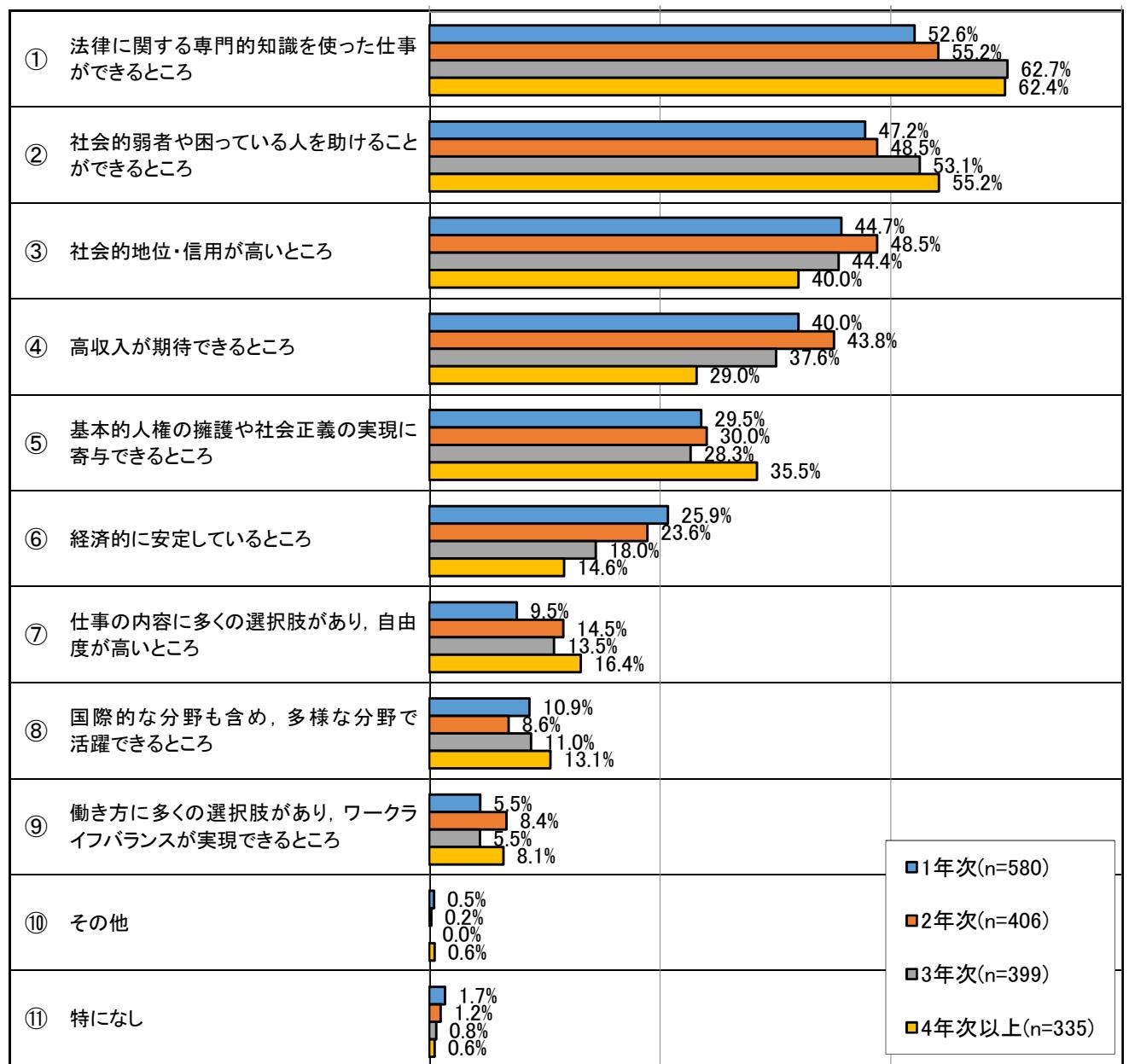
過去に法曹等を志望していたか、選択肢の1つとして考えていた学生では、法曹等の魅力については、「法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ」が57.4%で最も高く、「社会的弱者や困っている人を助けることができるところ」も50.5%で過半数となっている。これに、「社会的地位・信用が高いところ」が44.6%、「高収入が期待できるところ」が38.2%で続いている。



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	回答者数
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	経済的に安定しているところ	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスが実現できるところ	その他	特になし	
令和元年度	988 57.4	868 50.5	767 44.6	657 38.2	525 30.5	367 21.3	223 13.0	186 10.8	115 6.7	6 0.3	20 1.2	1,720 100.0
平成30年度	1,219 59.3	1,010 49.1	947 46.1	722 35.1	643 31.3	410 19.9	272 13.2	208 10.1	148 7.2	10 0.5	29 1.4	2,056 100.0
平成29年度	1,533 54.4	1,394 49.5	1,093 38.8	888 31.5	738 26.2	491 17.4	373 13.2	264 9.4	206 7.3	12 0.4	59 2.1	2,819 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ・表】



0% 25% 50% 75%

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	回答者数
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	経済的に安定しているところ	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスが実現できるところ	その他	特になし	
1 年次	305 52.6	274 47.2	259 44.7	232 40.0	171 29.5	150 25.9	55 9.5	63 10.9	32 5.5	3 0.5	10 1.7	580 100.0
2 年次	224 55.2	197 48.5	197 48.5	178 43.8	122 30.0	96 23.6	59 14.5	35 8.6	34 8.4	1 0.2	5 1.2	406 100.0
3 年次	250 62.7	212 53.1	177 44.4	150 37.6	113 28.3	72 18.0	54 13.5	44 11.0	22 5.5	0 0.0	3 0.8	399 100.0
4 年次 以上	209 62.4	185 55.2	134 40.0	97 29.0	119 35.5	49 14.6	55 16.4	44 13.1	27 8.1	2 0.6	2 0.6	335 100.0
全 体	988 57.4	868 50.5	767 44.6	657 38.2	525 30.5	367 21.3	223 13.0	186 10.8	115 6.7	6 0.3	20 1.2	1,720 100.0

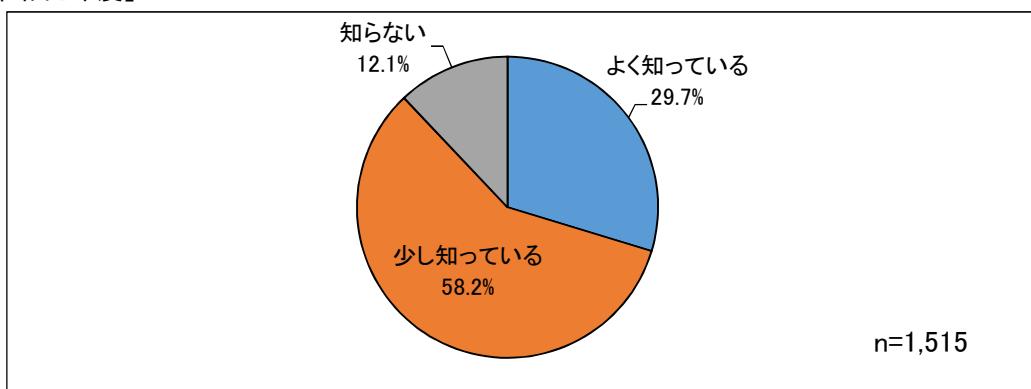
## 5.法曹有資格者の活動領域の拡大

### (1)法曹等の活動領域が拡大していることに対する現状認識

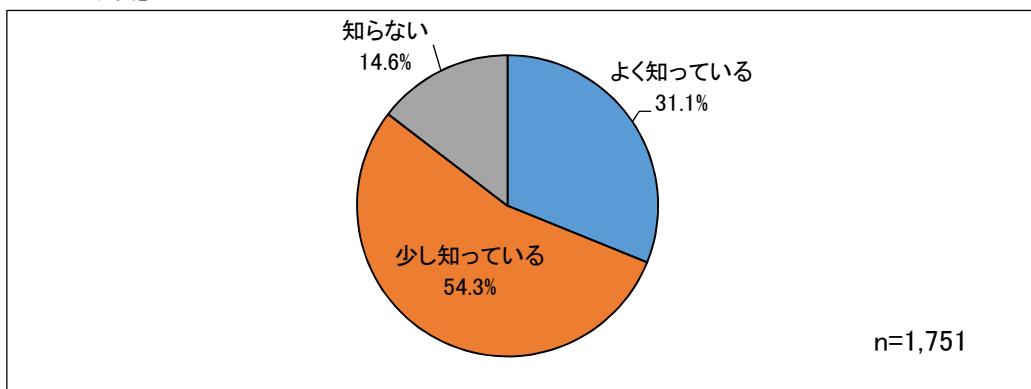
#### ア.現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生では、「少し知っている」が58.2%、「よく知っている」が29.7%で8割以上が知っている。なお、「知らない」の割合は平成29年度から毎年減少している。

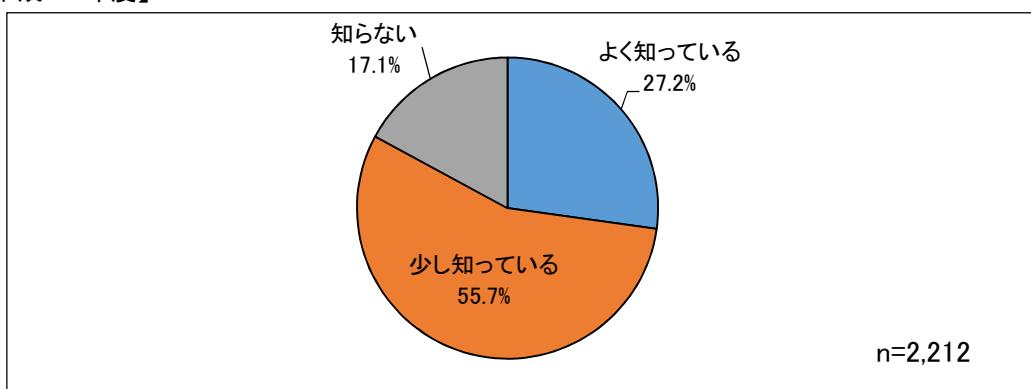
【令和元年度】



【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



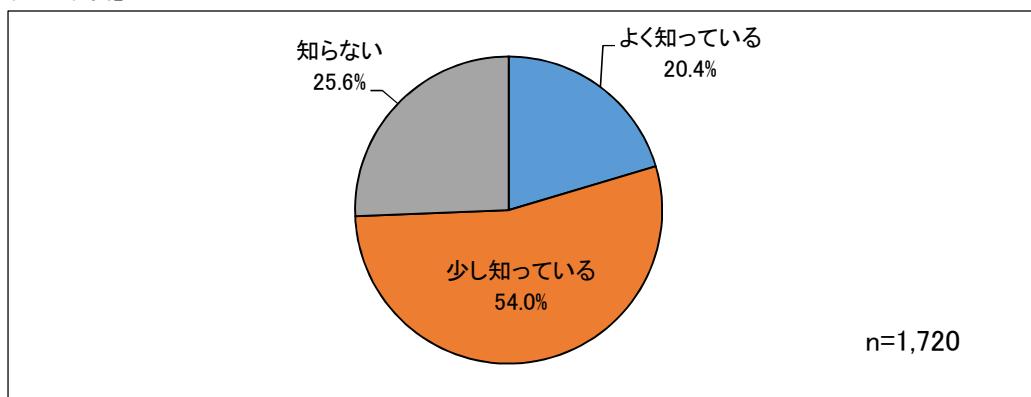
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	よく知っている	少し知っている	知らない	回答者数
令和元年度	450	882	183	1,515
	29.7	58.2	12.1	100.0
平成 30 年度	545	951	255	1,751
	31.1	54.3	14.6	100.0
平成 29 年度	602	1,232	378	2,212
	27.2	55.7	17.1	100.0

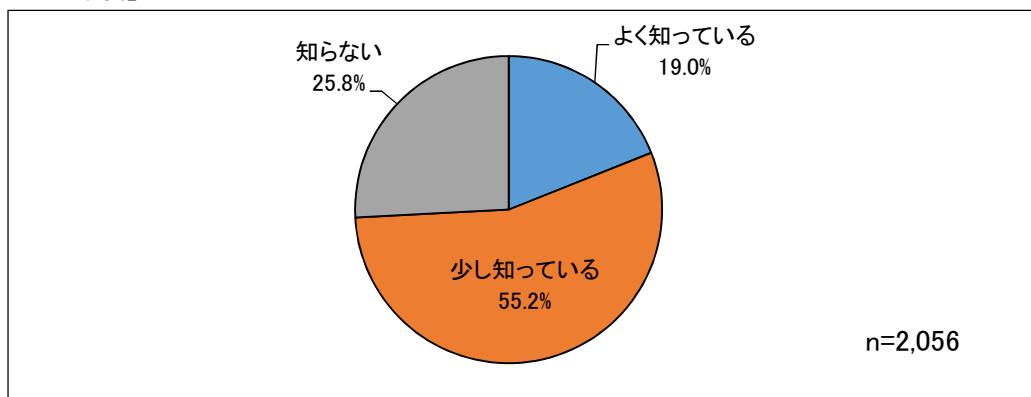
#### イ.過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に法曹等を志望していたか、選択肢の1つとして考えていた学生では、「少し知っている」が54.0%、「よく知っている」が20.4%となっている。「よく知っている」は現在志望・選択肢の1つとして考えている学生から10ポイント程度低くなっている。なお、「知らない」の割合は平成29年度から毎年減少している。

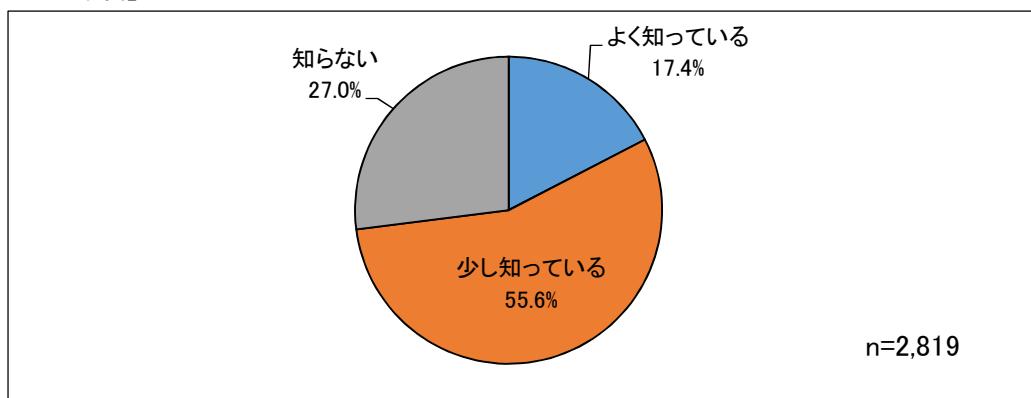
【令和元年度】



【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



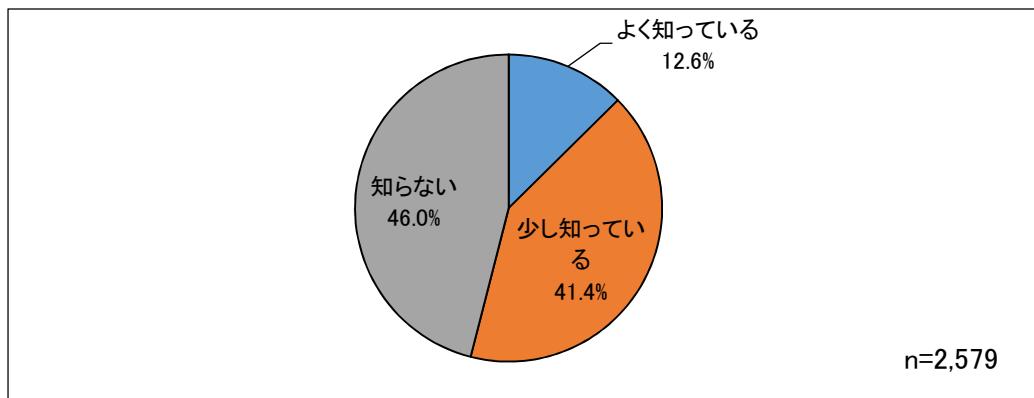
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	よく知っている	少し知っている	知らない	回答者数
令和元年度	351	928	441	1,720
	20.4	54.0	25.6	100.0
平成 30 年度	390	1,135	531	2,056
	19.0	55.2	25.8	100.0
平成 29 年度	490	1,567	762	2,819
	17.4	55.6	27.0	100.0

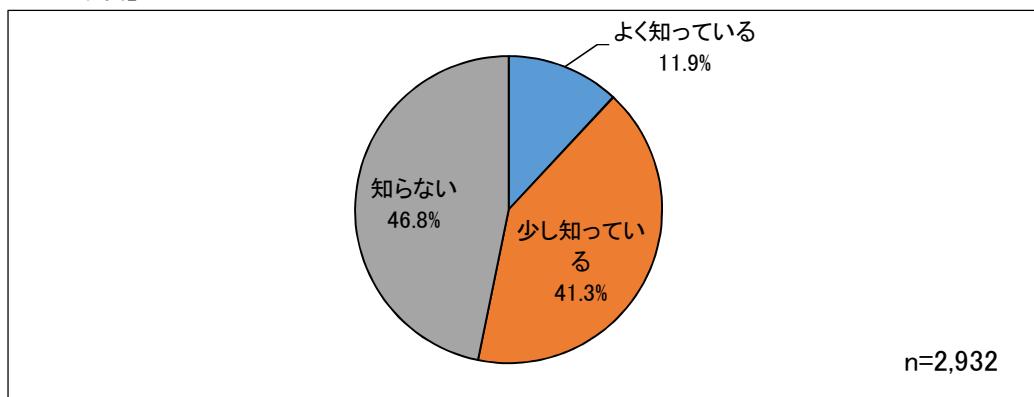
#### ウ.法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生

法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生では、「知らない」が46.0%で最も高く、次いで「少し知っている」が41.4%で、「よく知っている」が12.6%となっている。なお、「知らない」の割合は平成29年度から毎年減少している。

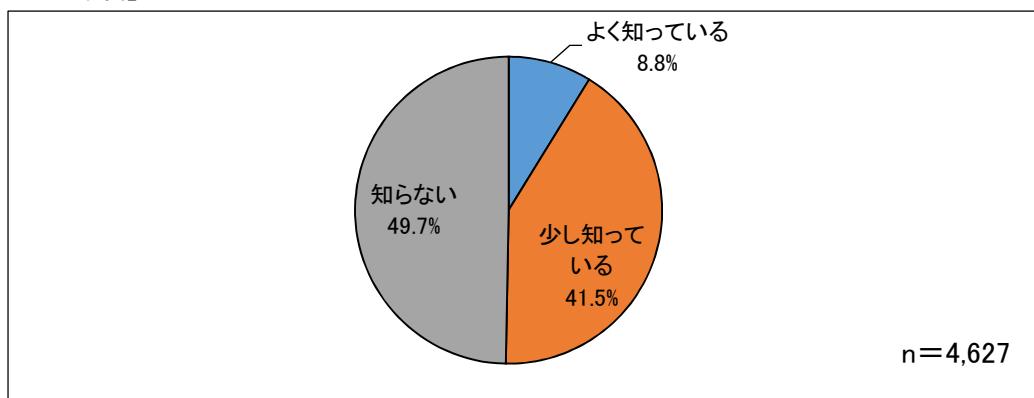
【令和元年度】



【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

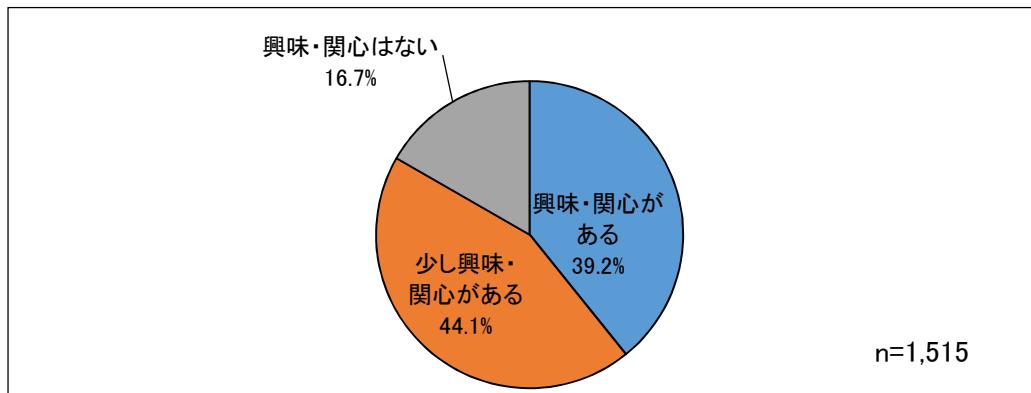
	よく知っている	少し知っている	知らない	回答者数
令和元年度	325	1,067	1,187	2,579
	12.6	41.4	46.0	100.0
平成 30 年度	350	1,210	1,372	2,932
	11.9	41.3	46.8	100.0
平成 29 年度	406	1,921	2,300	4,627
	8.8	41.5	49.7	100.0

(2)法曹等の活動領域が拡大している分野(海外、企業、国・自治体等)で働くことに対する興味・関心の有無

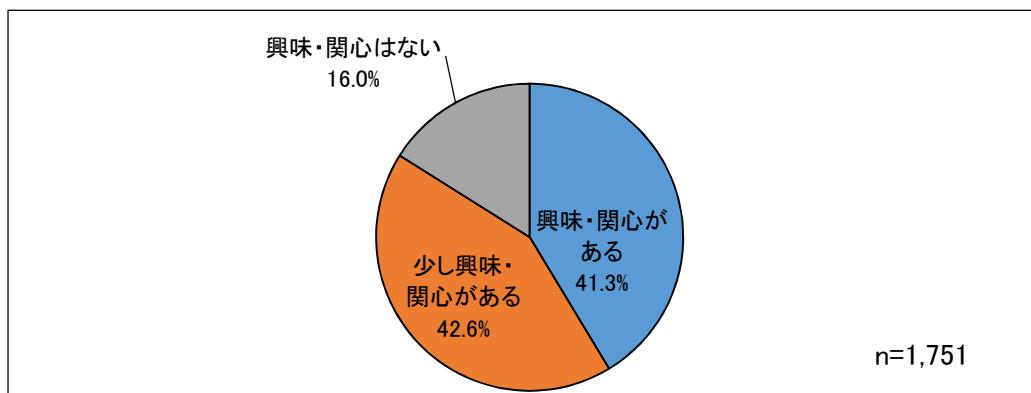
ア.現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生が、法曹等の活動領域が拡大している分野で働くことについては、「少し興味・関心がある」が44.1%、「興味・関心がある」が39.2%である。「興味・関心はない」は16.7%となっている。

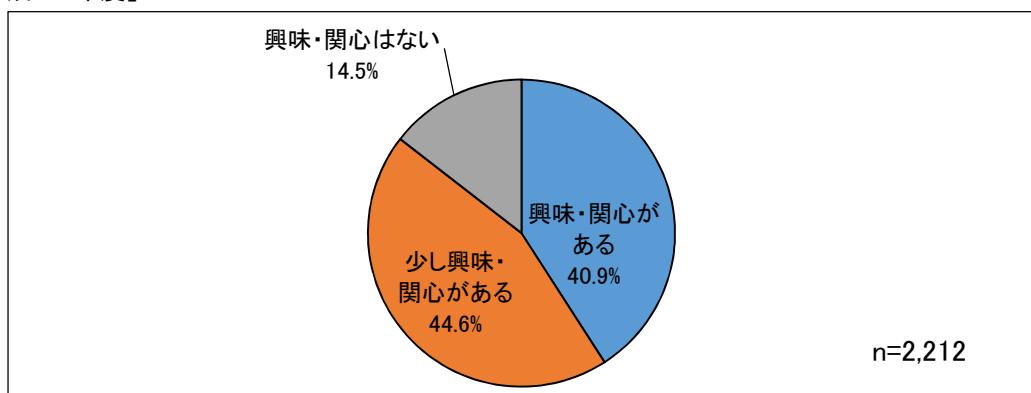
【令和元年度】



【平成30年度】



【平成29年度】



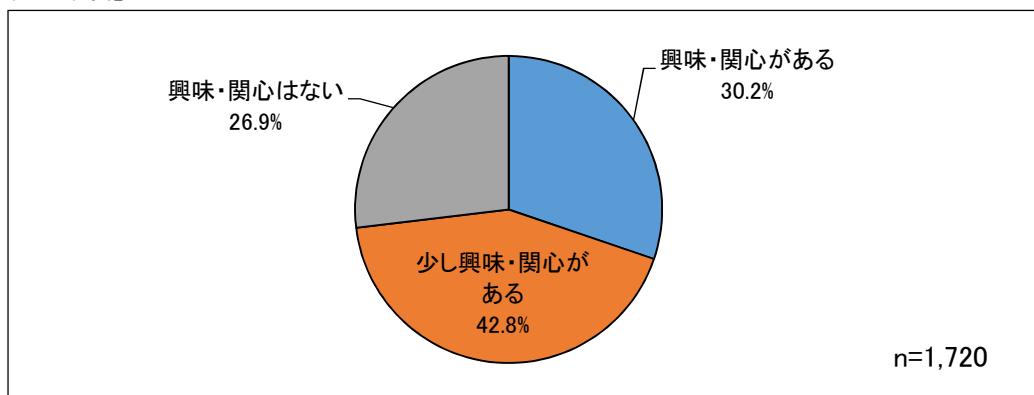
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
令和元年度	594	668	253	1,515
	39.2	44.1	16.7	100.0
平成30年度	724	746	281	1,751
	41.3	42.6	16.0	100.0
平成29年度	904	987	321	2,212
	40.9	44.6	14.5	100.0

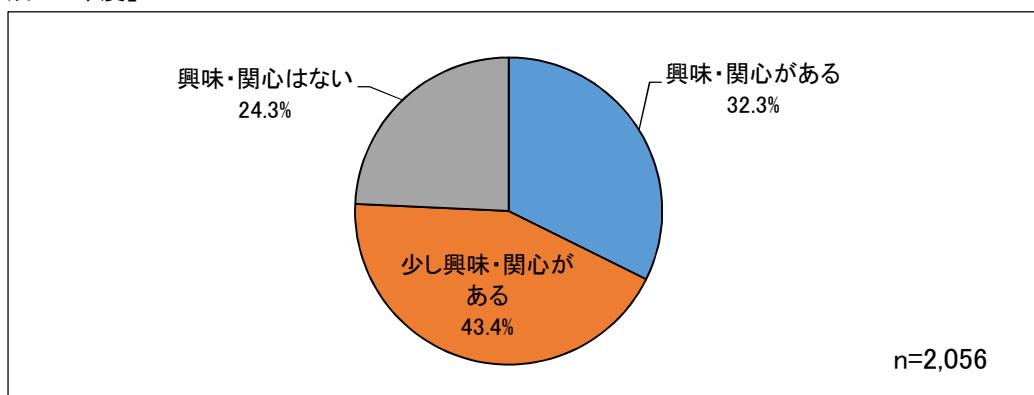
#### イ.過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に法曹等を志望していたか、選択肢の1つとして考えていた学生では、「少し興味・関心がある」が42.8%、「興味・関心がある」が30.2%である。「興味・関心はない」は26.9%となっている。

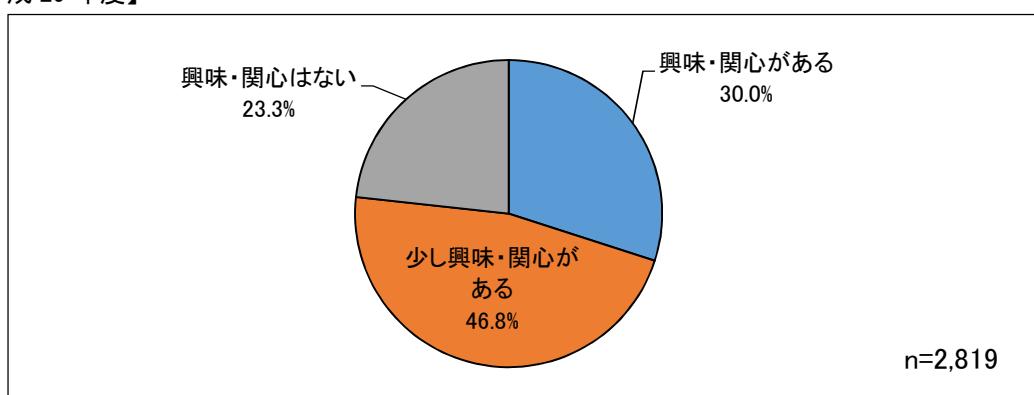
【令和元年度】



【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



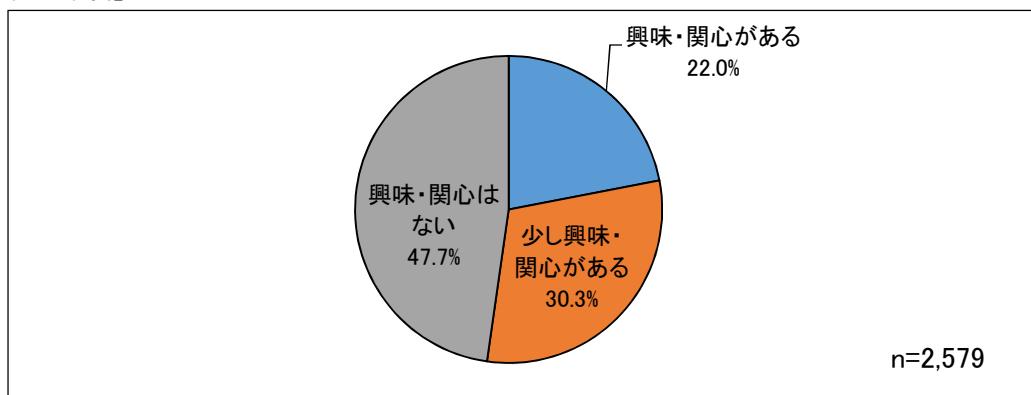
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
令和元年度	520	737	463	1,720
	30.2	42.8	26.9	100.0
平成 30 年度	665	892	499	2,056
	32.3	43.4	24.3	100.0
平成 29 年度	845	1,318	656	2,819
	30.0	46.8	23.3	100.0

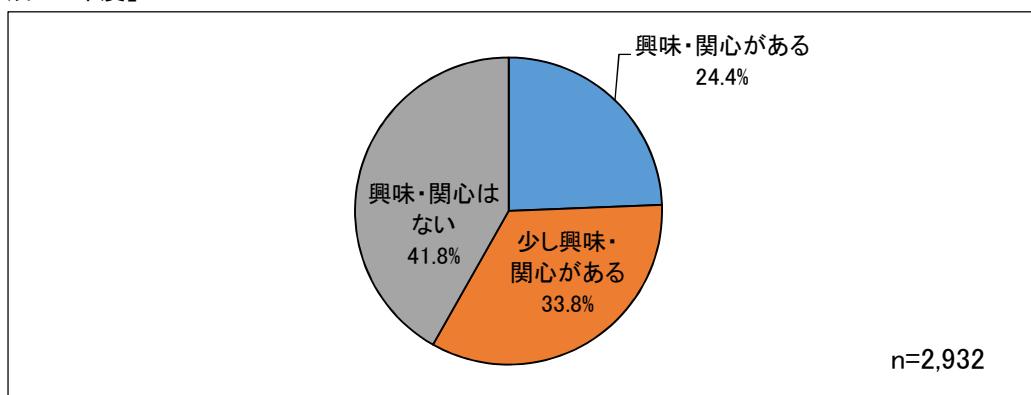
#### ウ.法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生

法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生では、「興味・関心はない」が47.7%、「少し興味・関心がある」が30.3%、「興味・関心がある」が22.0%となっている。

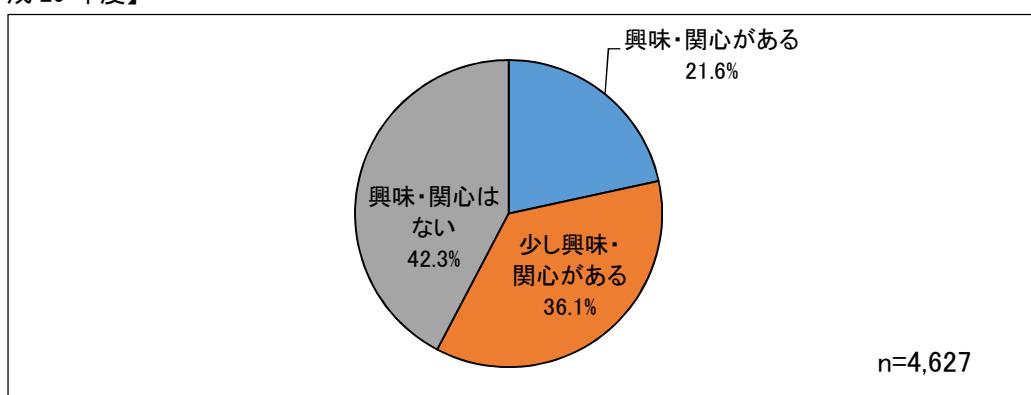
【令和元年度】



【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



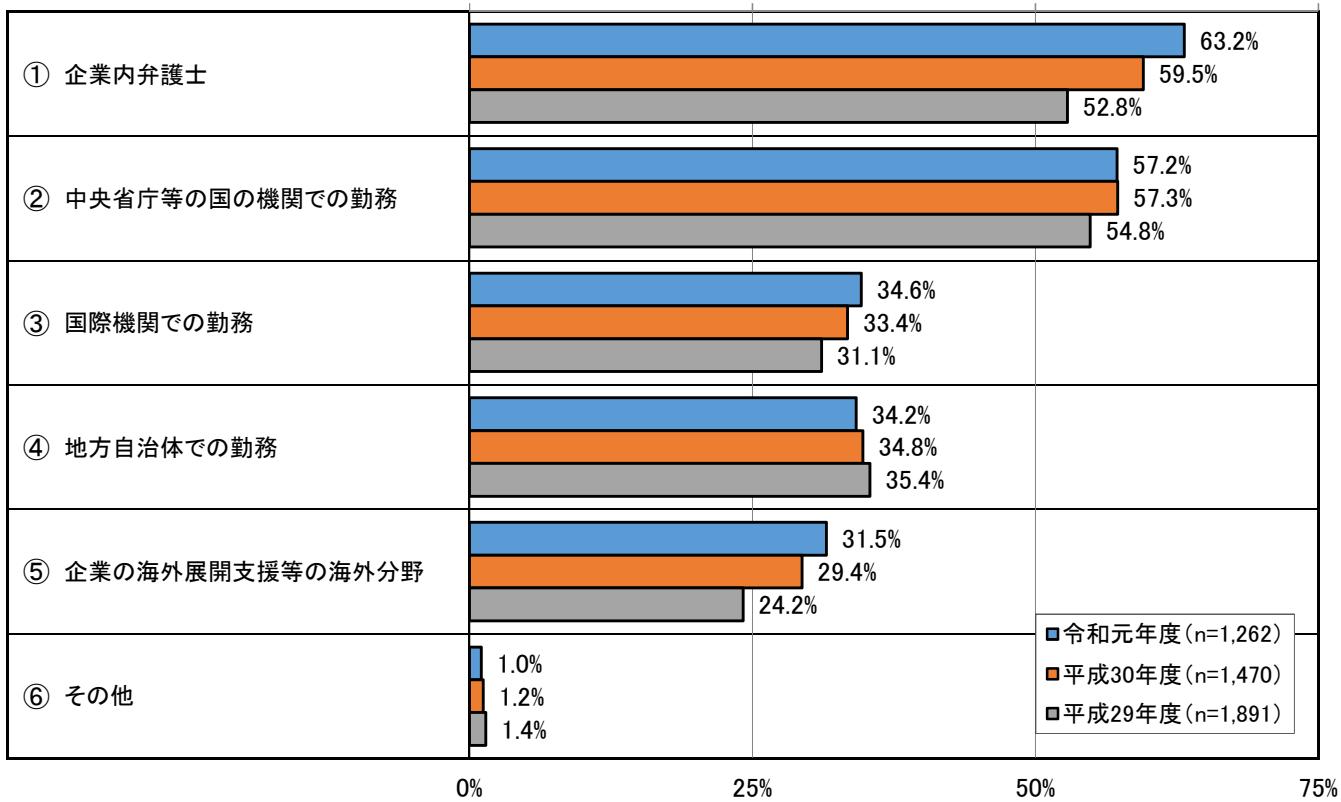
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
令和元年度	567	781	1,231	2,579
	22.0	30.3	47.7	100.0
平成 30 年度	714	992	1,226	2,932
	24.4	33.8	41.8	100.0
平成 29 年度	1,000	1,671	1,956	4,627
	21.6	36.1	42.3	100.0

### (3)法曹等の活動領域が拡大している分野のうち興味・関心がある分野(複数選択可)

#### ア.現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生が、法曹等の活動領域が拡大している分野のうち興味・関心がある分野は、「企業内弁護士」と「中央省庁等の国の機関での勤務」がそれぞれ63.2%, 57.2%と過半数で高くなっている。

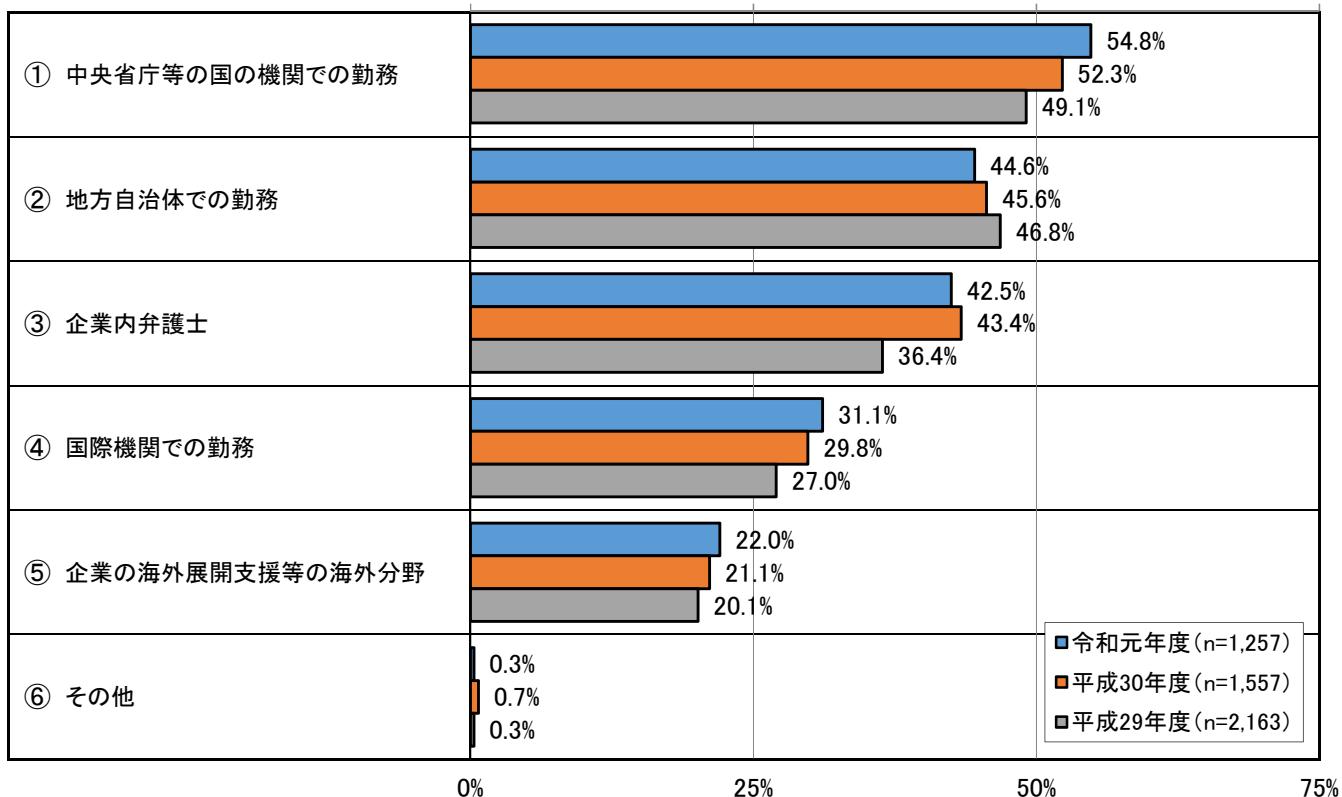


(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	回答者数
	企業内弁護士	中央省庁等の国の機関での勤務	国際機関での勤務	地方自治体での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	その他	
令和元年度	797	722	437	431	398	13	1,262
	63.2	57.2	34.6	34.2	31.5	1.0	100.0
平成30年度	875	842	491	511	432	18	1,470
	59.5	57.3	33.4	34.8	29.4	1.2	100.0
平成29年度	999	1,037	588	669	457	27	1,891
	52.8	54.8	31.1	35.4	24.2	1.4	100.0

#### イ.過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

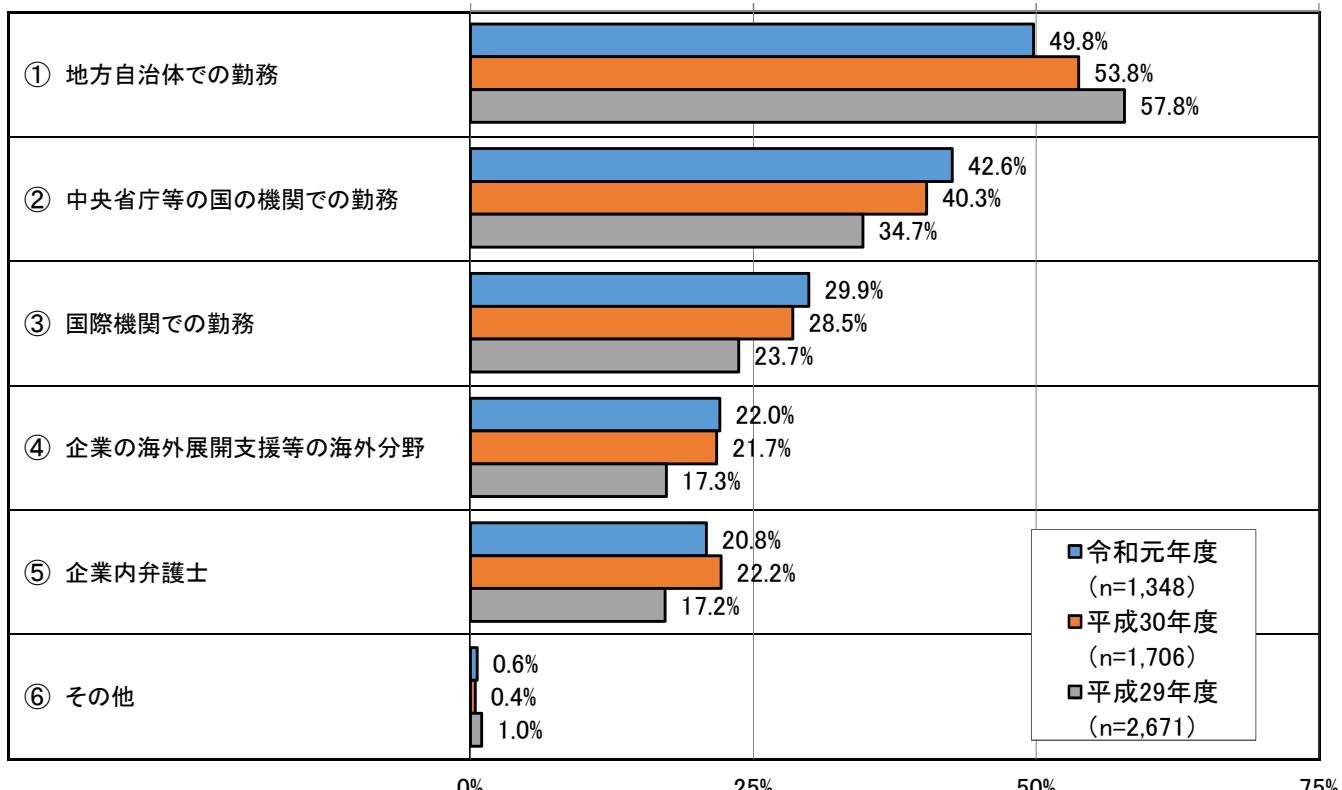
過去に法曹等を志望していたか、選択肢の1つとして考えていた学生では、「中央省庁等の国の機関での勤務」が54.8%で最も高く、過半数を占めている。次いで「地方自治体での勤務」が44.6%となっている。



	① 中央省庁等の 国の機関での 勤務	② 地方自治体で の勤務	③ 企業内弁護士	④ 国際機関での 勤務	⑤ 企業の海外展 開支援等の海 外分野	⑥ その他	(上段:回答数・人/下段:割合・%)	
							回答者数	
令和元年度	689 54.8	560 44.6	534 42.5	391 31.1	277 22.0	4 0.3	1,257	100.0
平成 30 年度	814 52.3	710 45.6	675 43.4	464 29.8	329 21.1	11 0.7	1,557	100.0
平成 29 年度	1,063 49.1	1,013 46.8	788 36.4	584 27.0	434 20.1	6 0.3	2,163	100.0

#### ウ.法曹等を選択肢の1つとして考えたことのない学生

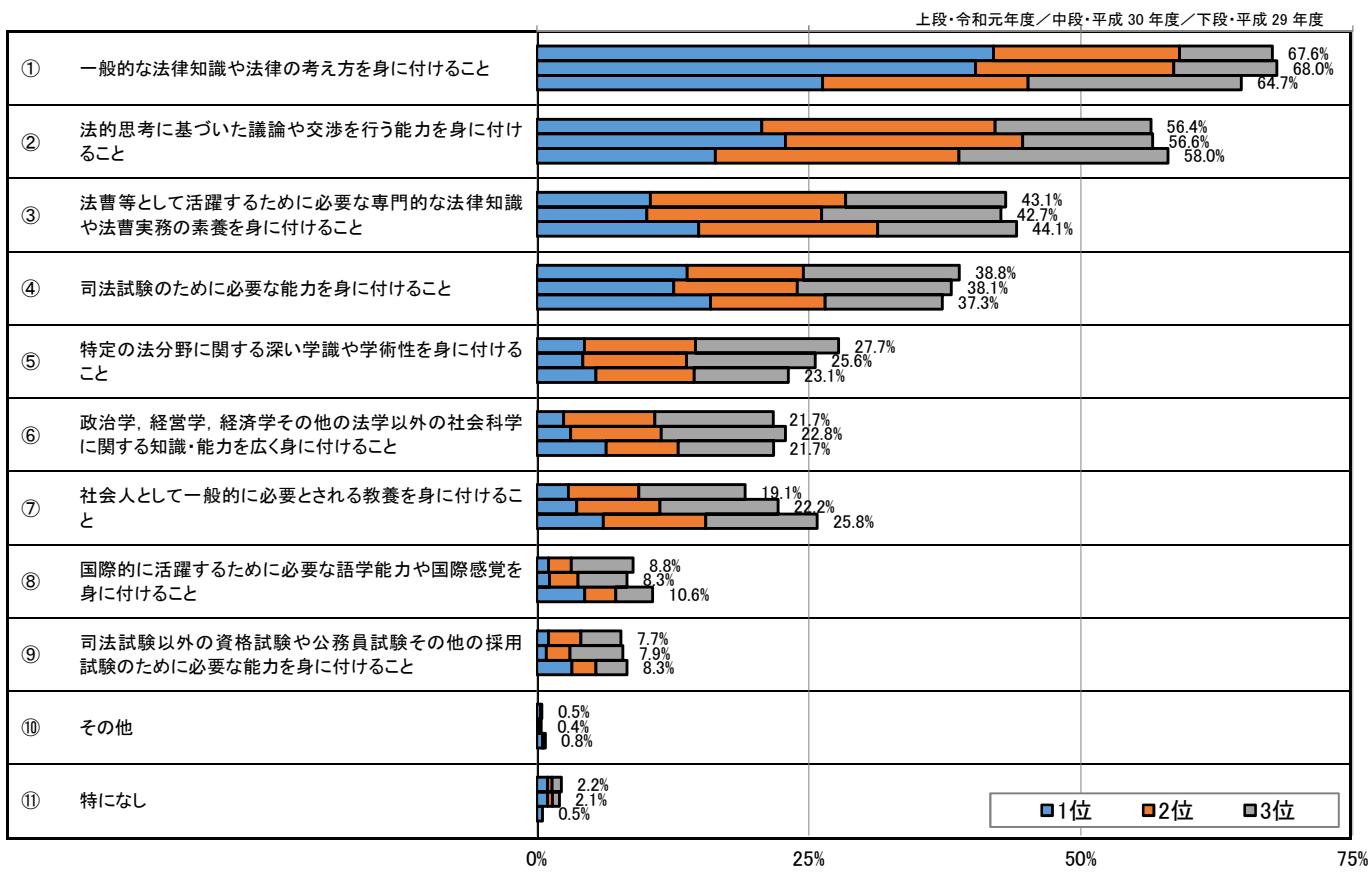
法曹等を選択肢の1つとして考えたことのない学生では、「地方自治体での勤務」が49.8%で最も高く、次いで「中央省庁等の国の機関での勤務」が42.6%となっている。



	(上段:回答数・人/下段:割合・%)						回答者数
	① 地方自治体での勤務	② 中央省庁等の国の機関での勤務	③ 国際機関での勤務	④ 企業の海外展開支援等の海外分野	⑤ 企業内弁護士	⑥ その他	
令和元年度	671 49.8	574 42.6	403 29.9	297 22.0	281 20.8	8 0.6	1,348 100.0
平成30年度	917 53.8	688 40.3	486 28.5	371 21.7	378 22.2	7 0.4	1,706 100.0
平成29年度	1,545 57.8	926 34.7	633 23.7	463 17.3	459 17.2	26 1	2,671 100.0

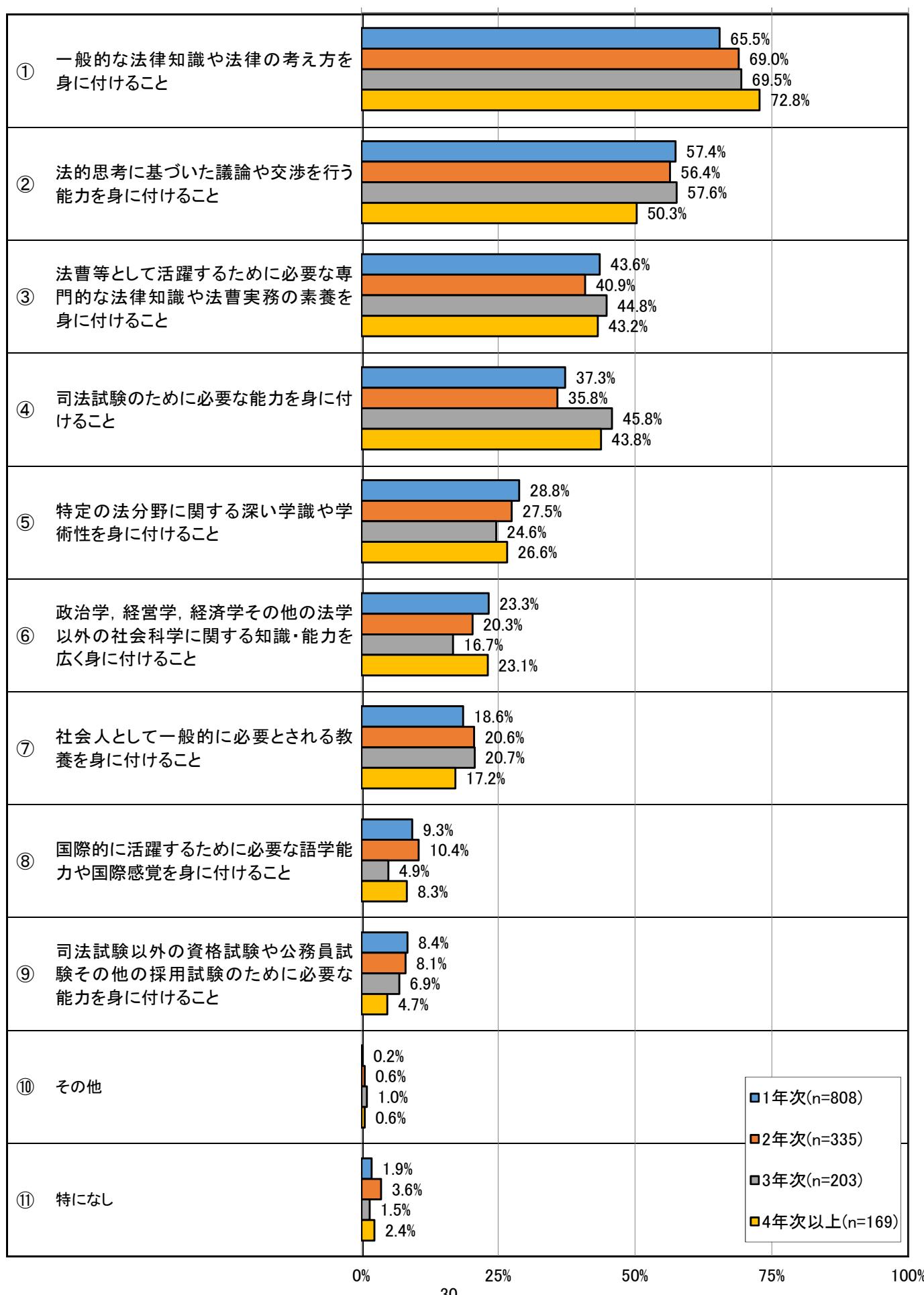
## 6.法学部教育に期待すること(上位3つまで選択/現在志望・選択肢の1つとして考えている学生)

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生が、法学部教育に期待することは「一般的な法律知識や法律の考え方を身に付けること」が67.6%で最も高く、次いで「法的思考に基づいた議論や交渉を行う能力を身に付けること」の56.4%となっている。



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-	回答者数	
1位	一般的な法律知識や法律の考え方を身に付けること	636 42.0	313 20.7	158 10.4	209 13.8	66 4.4	37 2.4	44 2.9	16 1.1	5 1.1	15 0.3	0 1.0	-	1,515 100.0
	法的思考に基づいた議論や交渉を行う能力を身に付けること	706 40.3	400 22.8	177 10.1	220 12.6	74 4.2	54 3.1	64 3.7	20 1.1	15 0.9	4 0.2	17 1.0	-	1,751 100.0
	法曹等として活躍するために必要な専門的な法律知識や法曹実務の素養を身に付けること	581 26.3	363 16.4	329 14.9	353 16.0	120 5.4	141 6.4	135 6.1	97 4.4	71 3.2	11 0.5	11 0.5	-	2,212 100.0
2位	司法試験のために必要な能力を身に付けること	259 17.1	325 21.5	272 18.0	162 10.7	155 10.2	127 8.4	98 6.5	32 2.1	45 3.0	2 0.1	6 0.4	-	1,515 100.0
	特定の法分野に関する深い学識や学術性を身に付けること	319 18.2	382 21.8	281 16.0	199 11.4	167 9.5	146 8.3	134 7.7	46 2.6	38 2.2	1 0.1	8 0.5	-	1,751 100.0
	政治学、経営学、経済学その他の法学以外の社会科学に関する知識・能力を広く身に付けること	418 18.9	495 22.4	364 16.5	233 10.5	200 9.0	146 6.6	208 9.4	63 2.8	49 2.2	2 0.1	0 0.0	-	2,212 100.0
3位	社会人として一般的に必要とされる教養を身に付けること	129 8.5	217 14.3	223 14.7	217 14.3	199 13.1	165 10.9	148 9.8	86 5.7	56 3.7	0 0.0	13 0.9	-	1,515 100.0
	国際的に活躍するために必要な語学能力や国際感覚を身に付けること	166 9.5	209 11.9	289 16.5	248 14.2	207 11.8	200 11.4	190 10.9	79 4.5	85 4.9	2 0.1	11 0.6	-	1,751 100.0
	司法試験以外の資格試験や公務員試験その他の採用試験のために必要な能力を身に付けること	433 19.6	425 19.2	282 12.7	238 10.8	191 8.6	194 8.8	227 10.3	75 3.4	63 2.8	4 0.2	0 0.0	-	2,212 100.0
合計	令和元年度	1,024 67.6	855 56.4	653 43.1	588 38.8	420 27.7	329 21.7	290 19.1	134 8.8	117 7.7	7 0.5	34 2.2	-	1,515 100.0
	平成30年度	1,191 68.0	991 56.6	747 42.7	667 38.1	448 25.6	400 22.8	388 22.2	145 8.3	138 7.9	7 0.4	36 2.1	-	1,751 100.0
	平成29年度	1,432 64.7	1,283 58.0	975 44.1	824 37.3	511 23.1	481 21.7	570 25.8	235 10.6	183 8.3	17 0.8	11 0.5	-	2,212 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】

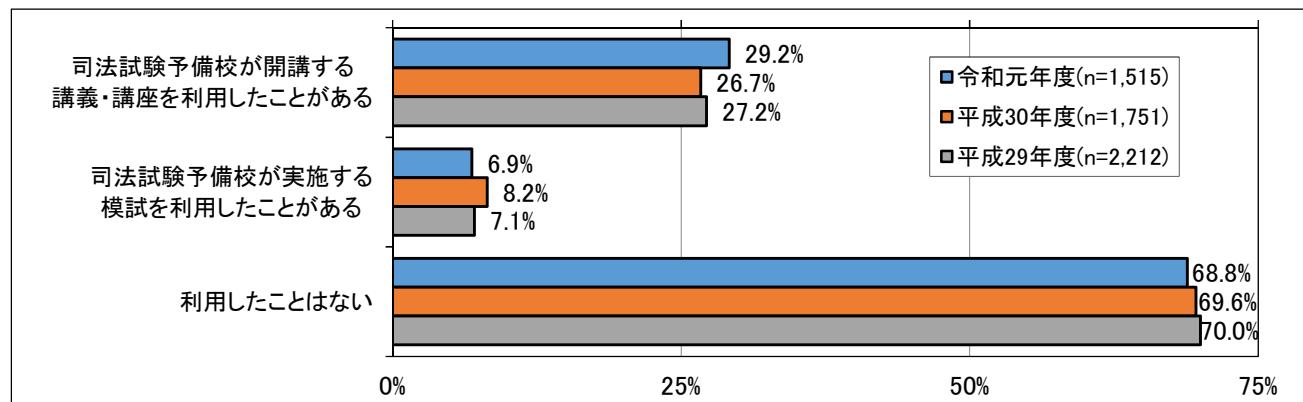


(参考)学年別内訳【表】

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-	回答者数
		一般的な法律知識や法律の考え方を身に付けること	法的思考に基づいた議論や交渉を行う能力を身に付けること	法曹等として活躍するために必要な専門的な法律知識や法曹実務の素養を身に付けること	司法試験のために必要な能力を身に付けること	特定の法分野に関する深い学識や学術性を身に付けること	政治学、経営学、経済学その他の法学以外の社会科学に関する知識・能力を広く身に付けること	社会人として一般的に必要とされる教養を身に付けること	国際的に活躍するために必要な語学能力や国際感覚を身に付けること	司法試験以外の資格試験や公務員試験その他の採用試験のために必要な能力を身に付けること	その他	特になし	選択なし	
		636 42.0	313 20.7	158 10.4	209 13.8	66 4.4	37 2.4	44 2.9	16 1.1	16 1.1	5 0.3	15 1.0	0 -	1,515 100.0
1位	全体	330 40.8	176 21.8	89 11.0	97 12.0	40 5.0	23 2.8	25 3.1	10 1.2	8 1.0	1 0.1	9 1.1	0 -	808 100.0
	1年次	136 40.6	77 23.0	32 9.6	45 13.4	12 3.6	8 2.4	10 3.0	5 1.5	4 1.2	2 0.6	4 1.2	0 -	335 100.0
	2年次	91 44.8	32 15.8	20 9.9	38 18.7	8 3.9	4 2.0	3 1.5	1 0.5	4 2.0	1 0.5	1 0.5	0 -	203 100.0
	3年次	79 46.7	28 16.6	17 10.1	29 17.2	6 3.6	2 1.2	6 3.6	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	0 -	169 100.0
	4年次以上	259 17.1	325 21.5	272 18.0	162 10.7	155 10.2	127 8.4	98 6.5	32 2.1	45 3.0	2 0.1	6 0.4	32 2.1	1,515 100.0
2位	全体	131 16.2	166 20.5	150 18.6	82 10.1	85 10.5	74 9.2	54 6.7	20 2.5	26 3.2	1 0.1	1 0.1	18 2.2	808 100.0
	1年次	66 19.7	65 19.4	54 16.1	36 10.7	39 11.6	23 6.9	23 6.9	7 2.1	13 3.9	0 0.0	3 0.9	6 1.8	335 100.0
	2年次	35 17.2	62 30.5	34 16.7	24 11.8	17 8.4	11 5.4	12 5.9	1 0.5	2 1.0	1 0.5	0 0.0	4 2.0	203 100.0
	3年次	27 16.0	32 18.9	34 20.1	20 11.8	14 8.3	19 11.2	9 5.3	4 2.4	4 2.4	0 0.0	2 1.2	4 2.4	169 100.0
	4年次以上	129 8.5	217 14.3	223 14.7	217 14.3	199 13.1	165 10.9	148 9.8	86 5.7	56 3.7	0 0.0	13 0.9	62 4.1	1,515 100.0
3位	全体	68 8.4	122 15.1	113 14.0	122 15.1	108 13.4	91 11.3	71 8.8	45 5.6	34 4.2	0 0.0	5 0.6	29 3.6	808 100.0
	1年次	29 8.7	47 14.0	51 15.2	39 11.6	41 12.2	37 11.0	36 10.7	23 6.9	10 3.0	0 0.0	5 1.5	17 5.1	335 100.0
	2年次	15 7.4	23 11.3	37 18.2	31 15.3	25 12.3	19 9.4	27 13.3	8 3.9	8 3.9	0 0.0	2 1.0	8 3.9	203 100.0
	3年次	17 10.1	25 14.8	22 13.0	25 14.8	25 10.7	18 8.3	14 5.9	10 2.4	4 2.4	0 0.0	1 0.6	8 4.7	169 100.0
	4年次以上	1,024 67.6	855 56.4	653 43.1	588 38.8	420 27.7	329 21.7	290 19.1	134 8.8	117 7.7	7 0.5	34 2.2	94 -	1,515 100.0
合計	全体	529 65.5	464 57.4	352 43.6	301 37.3	233 28.8	188 23.3	150 18.6	75 9.3	68 8.4	2 0.2	15 1.9	47 -	808 100.0
	1年次	231 69.0	189 56.4	137 40.9	120 35.8	92 27.5	68 20.3	69 20.6	35 10.4	27 8.1	2 0.6	12 3.6	23 -	335 100.0
	2年次	141 69.5	117 57.6	91 44.8	93 45.8	50 24.6	34 16.7	42 20.7	10 4.9	14 6.9	2 1.0	3 1.5	12 -	203 100.0
	3年次	123 72.8	85 50.3	73 43.2	74 43.8	45 26.6	39 23.1	29 17.2	14 8.3	8 4.7	1 0.6	4 2.4	12 -	169 100.0
	4年次以上	1,024 72.8	855 50.3	653 43.2	588 43.8	420 26.6	329 23.1	290 17.2	134 8.3	117 4.7	7 0.6	34 2.4	94 -	1,515 100.0

## 7.司法試験予備校の利用の有無(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生／複数選択可)

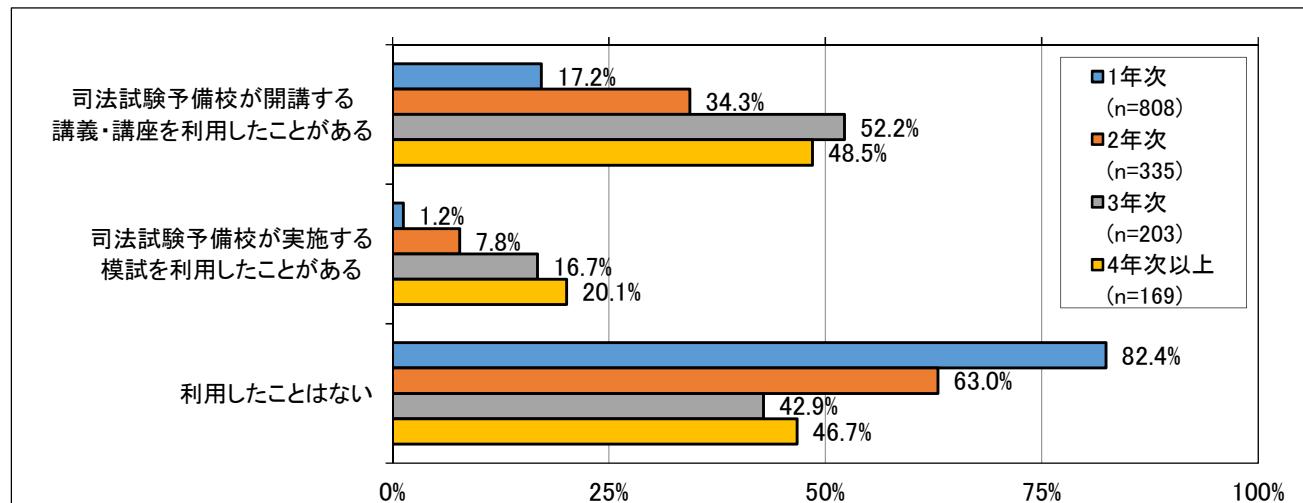
現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生の司法試験予備校の利用の有無は、「利用したことはない」が68.8%で最も高い。利用したことがある場合では、「司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある」が29.2%となっている。



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
令和元年度	442 29.2	104 6.9	1,043 68.8	1,515 100.0
平成30年度	467 26.7	144 8.2	1,219 69.6	1,751 100.0
平成29年度	602 27.2	157 7.1	1,548 70.0	2,212 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

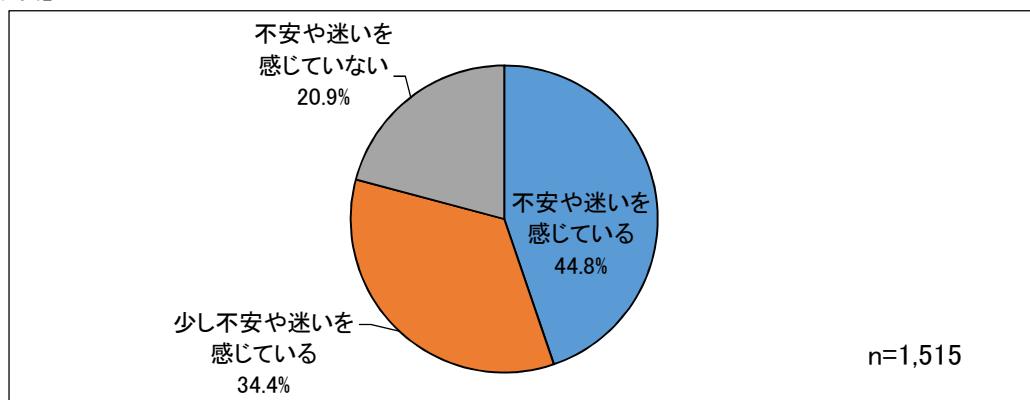
	司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
1年次	139 17.2	10 1.2	666 82.4	808 100.0
2年次	115 34.3	26 7.8	211 63.0	335 100.0
3年次	106 52.2	34 16.7	87 42.9	203 100.0
4年次以上	82 48.5	34 20.1	79 46.7	169 100.0
全 体	442 29.2	104 6.9	1,043 68.8	1,515 100.0

## 8.法曹等を志望するに当たっての不安や迷い、断念の理由等

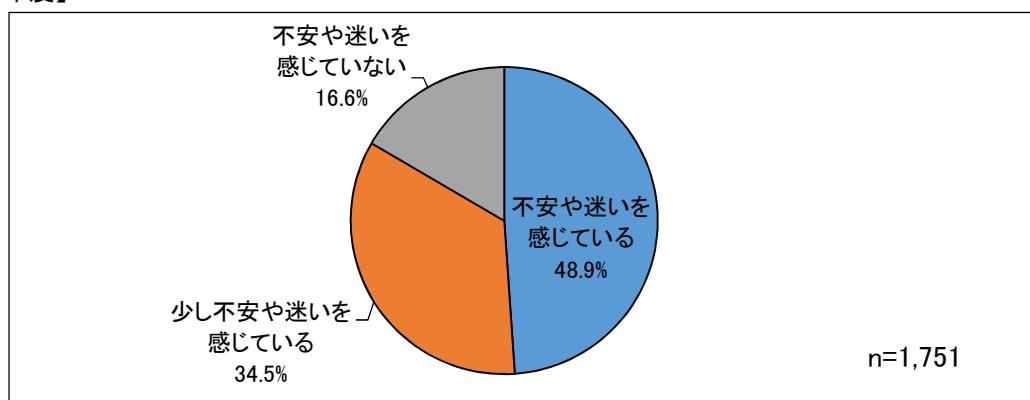
### (1)法曹等を志望するに当たっての不安や迷いについて(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生)

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生が法曹等を志望するに当たっての不安や迷いについては、「不安や迷いを感じている」は44.8%であり、これに「少し不安や迷いを感じている」の34.4%を加えると、8割近くが不安や迷いを感じている。もっとも、「不安や迷いを感じていない」については、平成30年度の16.6%から20.9%に上昇している。

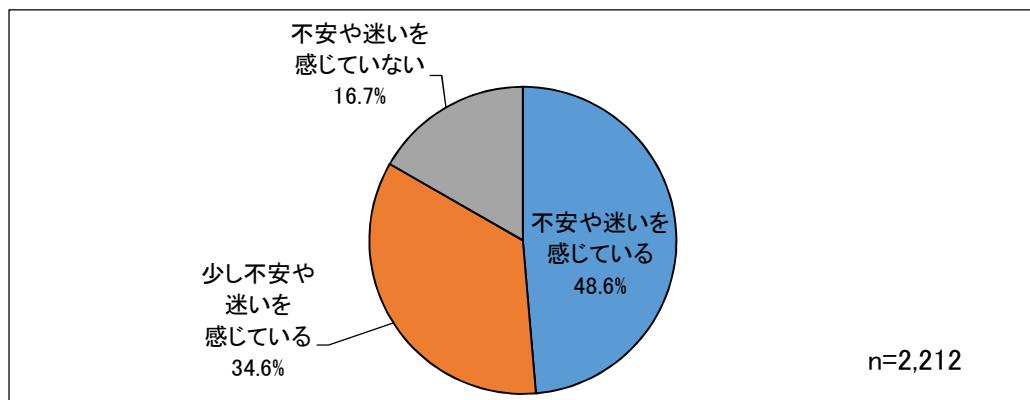
【令和元年度】



【平成 30 年度】



【平成 29 年度】

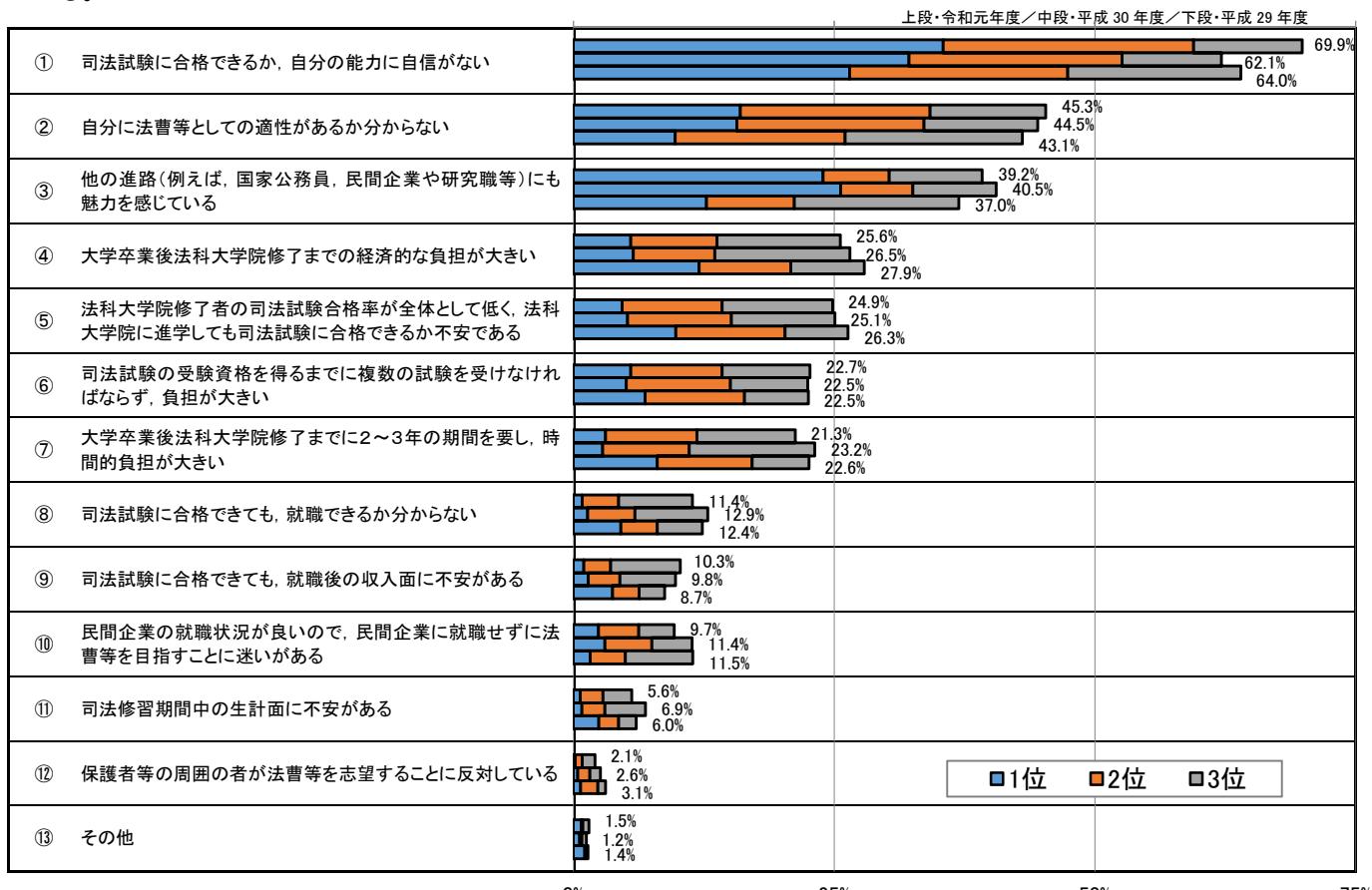


(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	不安や迷いを感じている	少し不安や迷いを感じている	不安や迷いを感じていない	回答者数
令和元年度	678 44.8	521 34.4	316 20.9	1,515 100.0
平成 30 年度	856 48.9	604 34.5	291 16.6	1,751 100.0
平成 29 年度	1,076 48.6	766 34.6	370 16.7	2,212 100.0

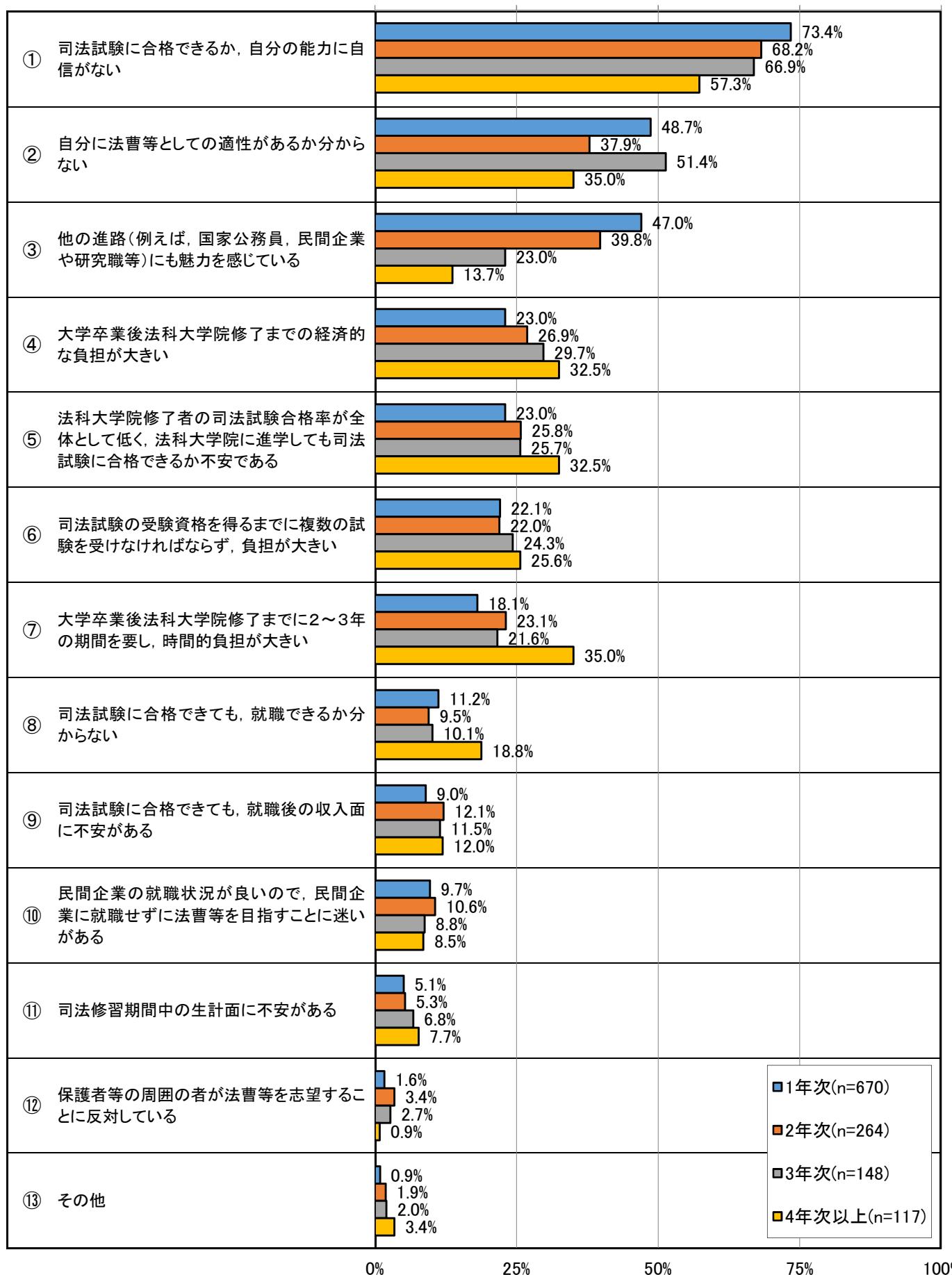
## (2)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生の不安や迷い(上位3つまで選択)

現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生の不安や迷いは、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない」が69.9%で最も高く7割近い。次いで「自分に法曹等としての適性があるか分からない」が45.3%となっている。



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	-	回答者数	
	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	自分に法曹等としての適性があるか分からない	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きい	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きい	司法試験に合格できても、就職できるか分からない	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある	司法修習期間中の生計面に不安がある	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している	その他	選択なし		
1位	令和元年度	425 35.4	192 16.0	287 23.9	66 5.5	56 4.7	66 5.5	37 3.1	10 0.8	12 1.0	29 2.4	8 0.7	2 0.2	9 0.8	0 -	1,199 100.0
	平成30年度	470 32.2	229 15.7	374 25.6	84 5.8	76 5.2	74 5.1	41 2.8	20 1.4	21 1.4	44 3.0	12 0.8	6 0.4	9 0.6	0 -	1,460 100.0
	平成29年度	488 26.5	180 9.8	235 12.8	222 12.1	181 9.8	127 6.9	148 8.0	84 4.6	69 3.7	30 1.6	45 2.4	13 0.7	20 1.1	0 -	1,842 100.0
2位	令和元年度	288 24.0	218 18.2	76 6.3	99 8.3	115 9.6	105 8.8	105 8.8	42 3.5	31 2.6	46 3.8	26 2.2	8 0.7	2 0.2	38 3.2	1,199 100.0
	平成30年度	298 20.4	262 17.9	101 6.9	114 7.8	145 9.9	146 10.0	121 8.3	66 4.5	44 3.0	66 4.5	32 2.2	17 1.2	3 0.2	45 3.1	1,460 100.0
	平成29年度	385 20.9	300 16.3	155 8.4	162 8.8	193 10.5	175 9.5	168 9.1	64 3.5	47 2.6	62 3.4	35 1.9	30 1.6	4 0.2	62 3.4	1,842 100.0
3位	令和元年度	125 10.4	133 11.1	107 8.9	142 11.8	127 10.6	101 8.4	113 9.4	85 7.1	80 6.7	41 3.4	33 2.8	15 1.3	7 0.6	90 7.5	1,199 100.0
	平成30年度	139 9.5	159 10.9	117 8.0	189 12.9	145 9.9	108 7.4	176 12.1	102 7.0	78 5.3	56 3.8	57 3.9	15 1.0	6 0.4	113 7.7	1,460 100.0
	平成29年度	306 16.6	313 17.0	291 15.8	130 7.1	111 6.0	113 6.1	100 5.4	80 4.3	45 2.4	119 6.5	31 1.7	14 0.8	2 0.1	187 10.2	1,842 100.0
合計	令和元年度	838 69.9	543 45.3	470 39.2	307 25.6	298 24.9	272 22.7	255 21.3	137 11.4	123 10.3	116 9.7	67 5.6	25 2.1	18 1.5	128 1.5	1,199 100.0
	平成30年度	907 62.1	650 44.5	592 40.5	387 26.5	366 25.1	328 22.5	338 23.2	188 12.9	143 12.4	166 11.5	101 9.8	38 8.7	18 7.7	158 1.2	1,460 100.0
	平成29年度	1,179 64.0	793 43.1	681 37.0	514 27.9	485 26.3	415 22.5	416 22.6	228 12.4	161 12.4	211 11.5	111 11.5	57 6.0	26 3.1	249 1.4	1,842 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】



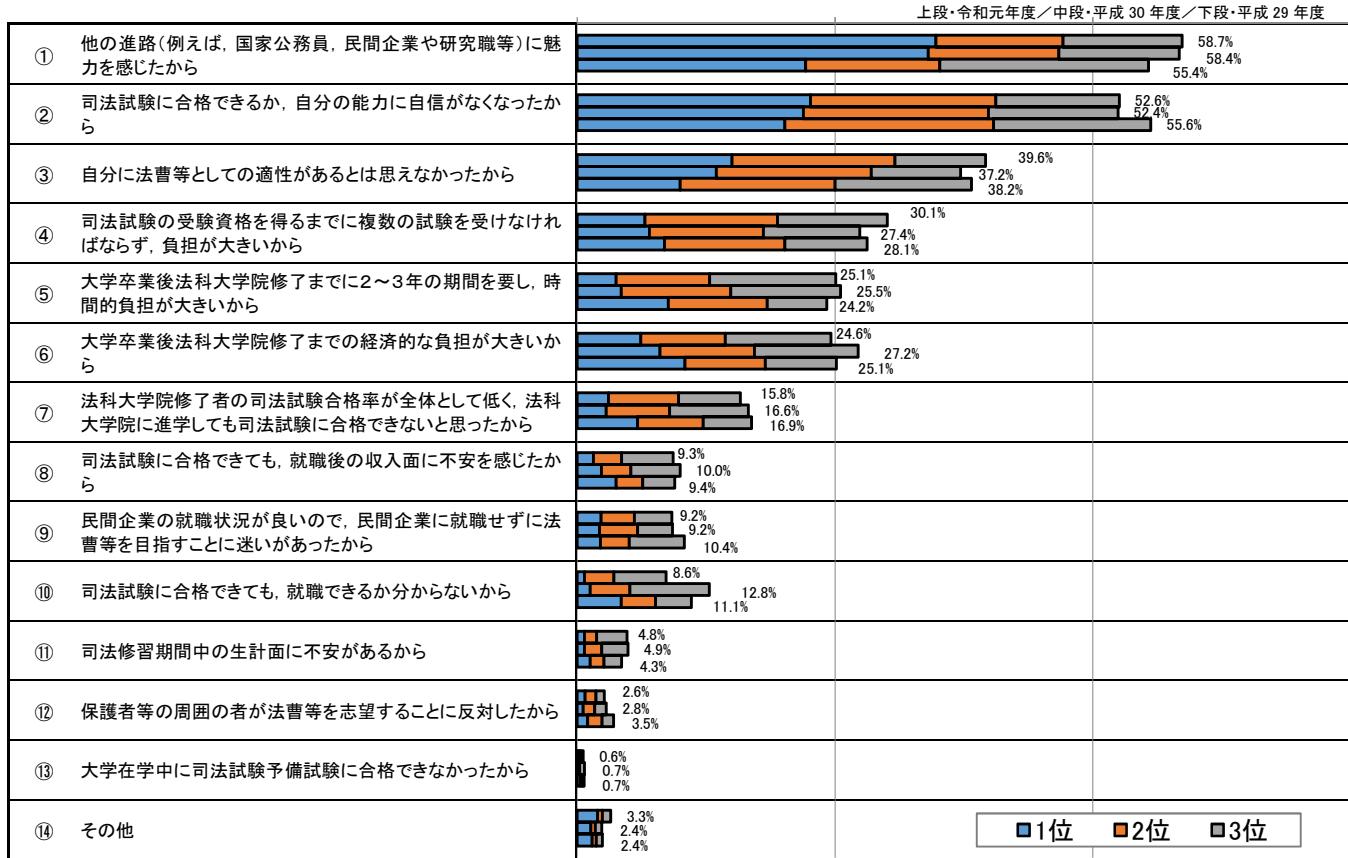
(参考)学年別内訳【表】

上段・実数／下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	-	回答者数
		司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	自分に法曹等としての適性があるか分からぬ	他の進路(例えは、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きい	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安があるか分からぬ	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことについて迷いがある	司法修習期間中の生計面に不安がある	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している	その他	選択なし	
1位	全体	425 35.4	192 16.0	287 23.9	66 5.5	56 4.7	66 5.5	37 3.1	10 0.8	12 1.0	29 2.4	8 0.7	2 0.2	9 0.8	0 -	1,199 100.0
	1年次	231 34.5	110 16.4	204 30.4	23 3.4	24 3.6	33 4.9	16 2.4	4 0.6	4 0.6	15 2.2	3 0.4	0 0.0	3 0.4	0 -	670 100.0
	2年次	93 35.2	33 12.5	56 21.2	22 8.3	12 4.5	13 4.9	12 4.5	1 0.4	5 1.9	9 3.4	2 0.8	2 0.8	4 1.5	0 -	264 100.0
	3年次	61 41.2	33 22.3	16 10.8	8 5.4	8 5.4	11 7.4	3 2.0	3 2.0	0 0.0	3 2.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0	0 -	148 100.0
	4年次以上	40 34.2	16 13.7	11 9.4	13 11.1	12 10.3	9 7.7	6 5.1	2 1.7	3 2.6	1 1.7	1 0.9	0 0.0	2 1.7	0 -	117 100.0
2位	全体	288 24.0	218 18.2	76 6.3	99 8.3	115 9.6	105 8.8	105 8.8	42 3.5	31 2.6	46 3.8	26 2.2	8 0.7	2 0.2	38 3.2	1,199 100.0
	1年次	184 27.5	134 20.0	44 6.6	48 7.2	60 9.0	52 7.8	49 7.3	24 3.6	12 1.8	29 4.3	12 1.8	4 0.6	2 0.3	16 2.4	670 100.0
	2年次	56 21.2	41 15.5	25 9.5	23 8.7	24 9.1	27 10.2	21 8.0	8 3.0	11 4.2	8 3.0	6 2.3	3 1.1	0 0.0	11 4.2	264 100.0
	3年次	30 20.3	27 18.2	7 4.7	17 11.5	15 10.1	14 9.5	15 10.1	4 2.7	4 2.7	6 4.1	4 2.7	0 0.0	0 0.0	5 3.4	148 100.0
	4年次以上	18 15.4	16 13.7	0 0.0	11 9.4	16 13.7	12 10.3	20 17.1	6 5.1	4 3.4	3 2.6	4 3.4	1 0.9	0 0.0	6 5.1	117 100.0
3位	全体	125 10.4	133 11.1	107 8.9	142 11.8	127 10.6	101 8.4	113 9.4	85 7.1	41 6.7	33 3.4	15 2.8	7 1.3	90 0.6	90 7.5	1,199 100.0
	1年次	77 11.5	82 12.2	67 10.0	83 12.4	70 10.4	63 9.4	56 8.4	47 7.0	44 6.6	21 3.1	19 2.8	7 1.0	1 0.1	33 4.9	670 100.0
	2年次	31 11.7	26 9.8	24 9.1	26 9.8	32 12.1	18 6.8	28 10.6	16 6.1	16 6.1	11 4.2	6 2.3	1 1.5	1 0.4	25 9.5	264 100.0
	3年次	8 5.4	16 10.8	11 7.4	19 12.8	15 10.1	11 7.4	14 9.5	8 5.4	13 8.8	4 2.7	4 2.7	4 2.7	3 2.0	18 12.2	148 100.0
	4年次以上	9 7.7	9 7.7	5 4.3	14 12.0	10 8.5	9 7.7	15 12.8	14 12.0	7 6.0	5 4.3	4 3.4	0 0.0	2 1.7	14 12.0	117 100.0
合計	全体	838 69.9	543 45.3	470 39.2	307 25.6	298 24.9	272 22.7	255 21.3	137 11.4	123 10.3	116 9.7	67 5.6	25 2.1	18 1.5	128 -	1,199 100.0
	1年次	492 73.4	326 48.7	315 47.0	154 23.0	154 23.0	148 22.1	121 18.1	75 11.2	60 9.0	65 9.7	34 5.1	11 1.6	6 0.9	49 -	670 100.0
	2年次	180 68.2	100 37.9	105 39.8	71 26.9	68 25.8	58 22.0	61 23.1	25 9.5	32 12.1	28 10.6	14 5.3	9 3.4	5 1.9	36 -	264 100.0
	3年次	99 66.9	76 51.4	34 23.0	44 29.7	38 25.7	36 24.3	32 21.6	15 10.1	17 11.5	13 8.8	10 6.8	4 2.7	3 2.0	23 -	148 100.0
	4年次以上	67 57.3	41 35.0	16 13.7	38 32.5	38 32.5	30 25.6	41 35.0	22 18.8	14 12.0	10 8.5	9 7.7	1 0.9	4 3.4	20 -	117 100.0

(3)過去に法曹等を志望・選択肢の1つとして考えていた学生が、法曹等の志望を断念した理由(過去に志望していた際の不安や迷いを含む(上位3つまで選択))

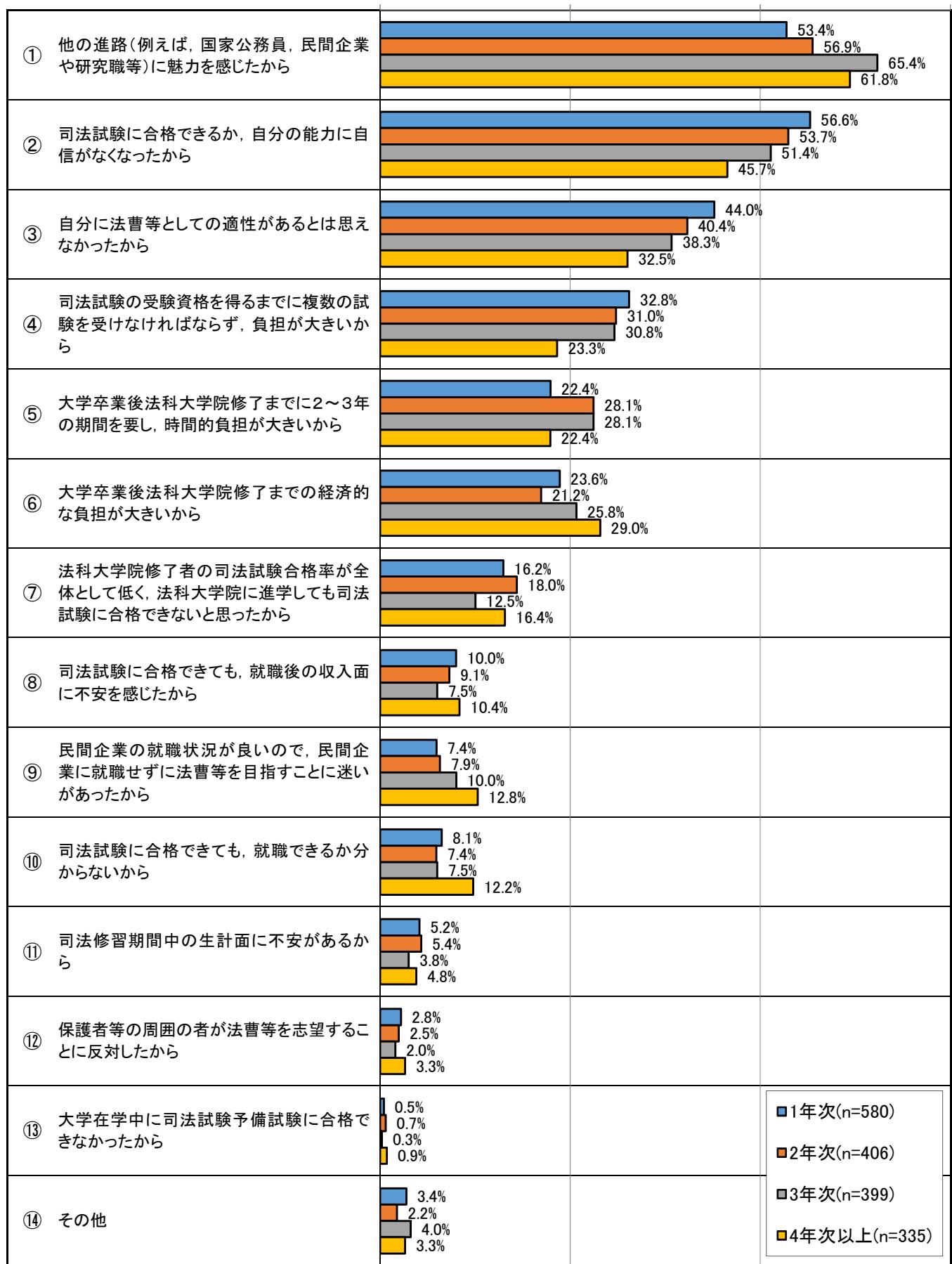
過去に法曹等を志望していたか、選択肢の1つとして考えていた学生では、「他の進路に魅力を感じたから」が58.7%、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから」が52.6%といずれも過半数を占めている。



□1位 □2位 □3位

上段・令和元年度／中段・平成30年度／下段・平成29年度															回答者数	
上段・実数／下段・割合(%)																
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-	
1位	他の進路(例えれば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	598 34.8	389 22.6	258 15.0	113 6.6	65 3.8	106 6.2	52 3.0	27 1.6	40 2.3	12 0.7	12 0.7	13 0.8	1 0.1	34 2.0	0 - 1,720 100.0
	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから	700 34.0	451 21.9	277 13.5	144 7.0	88 4.3	165 8.0	58 2.8	48 2.3	44 2.1	26 1.3	14 0.7	12 0.6	2 0.1	27 1.3	0 - 2,056 100.0
	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	624 22.1	567 20.1	281 10.0	238 8.4	249 8.8	294 10.4	165 5.9	106 3.8	63 2.2	120 4.3	35 1.2	28 1.0	8 0.3	41 1.5	0 - 2,819 100.0
2位	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから	212 12.3	309 18.0	272 15.8	221 12.8	156 9.1	141 8.2	117 6.8	47 2.7	55 3.2	49 2.8	20 1.2	18 1.0	4 0.2	8 0.5	91 5.3 1,720 100.0
	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きいから	260 12.6	369 17.9	309 15.0	227 11.0	218 10.6	188 9.1	126 6.1	59 2.9	76 3.7	79 3.8	35 1.7	23 1.1	3 0.1	9 0.4	75 3.6 2,056 100.0
	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	367 13.0	571 20.3	424 15.0	329 11.7	270 9.6	220 7.8	179 6.3	73 2.6	79 2.8	94 3.3	38 1.3	40 1.4	7 0.2	11 0.4	117 4.2 2,819 100.0
3位	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	199 11.6	206 12.0	151 8.8	183 10.6	210 12.2	176 10.2	103 6.0	86 5.0	63 3.7	87 5.1	51 3.0	14 0.8	5 0.3	14 0.8	172 10.0 1,720 100.0
	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあったから	240 11.7	258 12.5	178 8.7	192 9.3	219 10.7	207 10.1	157 7.6	98 4.8	70 3.4	158 7.7	52 2.5	23 1.1	9 0.4	13 0.6	182 8.9 2,056 100.0
	就職後の収入面に不安を感じたから	571 20.3	430 15.3	373 13.2	225 8.0	163 5.8	194 6.9	132 4.7	87 3.1	151 5.4	98 3.5	48 1.7	31 1.1	4 0.1	17 0.6	295 10.5 2,819 100.0
合計	他の進路に魅かれていたから	1,009 58.7	904 52.6	681 39.6	517 30.1	431 25.1	423 24.6	272 15.8	160 9.3	158 9.2	148 8.6	83 4.8	45 2.6	10 0.6	56 3.3	263 - 1,720 100.0
	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	1,200 58.4	1,078 52.4	764 37.2	563 27.4	525 25.5	560 27.2	341 16.6	205 10.0	190 9.2	263 12.8	101 4.9	58 2.8	14 0.7	49 2.4	257 - 2,056 100.0
	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	1,562 55.4	1,568 55.6	1,078 38.2	792 28.1	682 24.2	708 25.1	476 16.9	266 9.4	293 10.4	312 11.1	121 4.3	99 3.5	19 0.7	69 2.4	412 - 2,819 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】

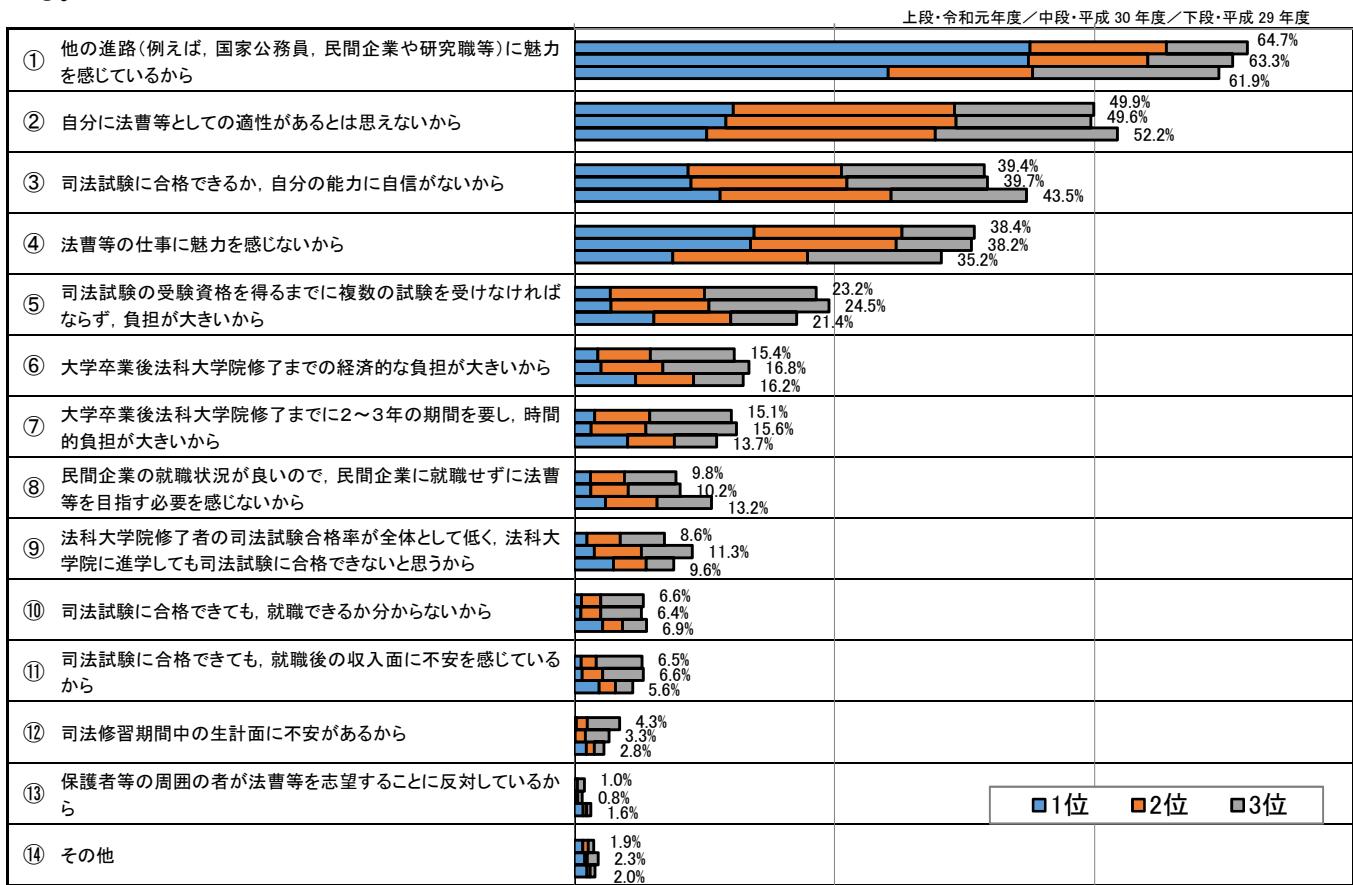


(参考)学年別内訳【表】

		上段・実数／下段・割合(%)															
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-	回答者数
		他の進路 (例え ば、国家 公務員、 民間企業 や研究職 等)に魅 力を感じ たから	司法試験 に合格で きるか、 自分の能 力に自信 がないから	自分が法 曹等とし ての適性 があると は思え なかつた から	司法試験 の受験資 格を得る までに法 科大学院修 了までに複 数の試験 を受けな ければな らず、負 担が大き いから	大学卒業 後法科大 学院修了 までに2 ~3年の 期間を要 し、時間 的負担が 大きいから	大学卒業 後法科大 学院修了 までの經 済的な負 担が大き いから	法科大學 院修了者 の司法試 験合格率 が全体と して低く、 法科大學 院に進学 しても司 法試験に 合格でき ないと思 つたから	民間企業 の就職状 況が良い ので、民 間企業に 就職せよ うに法曹等 を目指す ことに迷 いがあつ たから	司法試験 に合格で きても、 民間企業に 就職せよ うに法曹等 を目指す ことに迷 いがあつ たから	司法試験 に合格で きても、 民間企業に 就職せよ うに法曹等 を目指す ことに迷 いがあつ たから	司法修習 期間中の 生計面に 不安があ るから	保護者等 の周囲の 者が法曹 等を志望 することに 反対し たから	大学在学 中に司法 試験予備 試験に合 格できな かったか ら	その他	選択なし	
1位	全体	598	389	258	113	65	106	52	27	40	12	12	13	1	34	0	1,720
		34.8	22.6	15.0	6.6	3.8	6.2	3.0	1.6	2.3	0.7	0.7	0.8	0.1	2.0	-	100.0
	1年次	190	132	98	41	22	39	14	9	11	3	4	5	0	12	0	580
		32.8	22.8	16.9	7.1	3.8	6.7	2.4	1.6	1.9	0.5	0.7	0.9	0.0	2.1	-	100.0
	2年次	130	100	64	29	13	22	20	8	6	2	4	2	1	5	0	406
2位		32.0	24.6	15.8	7.1	3.2	5.4	4.9	2.0	1.5	0.5	1.0	0.5	0.2	1.2	-	100.0
	3年次	160	87	52	26	16	20	7	4	11	4	2	1	0	9	0	399
		40.1	21.8	13.0	6.5	4.0	5.0	1.8	1.0	2.8	1.0	0.5	0.3	0.0	2.3	-	100.0
	4年次以上	118	70	44	17	14	25	11	6	12	3	2	5	0	8	0	335
3位	全体	212	309	272	221	156	141	117	47	55	49	20	18	4	8	91	1,720
		12.3	18.0	15.8	12.8	9.1	8.2	6.8	2.7	3.2	2.8	1.2	1.0	0.2	0.5	5.3	100.0
	1年次	55	121	101	86	49	42	42	17	10	14	6	6	1	4	26	580
		9.5	20.9	17.4	14.8	8.4	7.2	7.2	2.9	1.7	2.4	1.0	1.0	0.2	0.7	4.5	100.0
	2年次	61	74	62	51	37	27	29	7	10	11	9	5	0	1	22	406
合計		15.0	18.2	15.3	12.6	9.1	6.7	7.1	1.7	2.5	2.7	2.2	1.2	0.0	0.2	5.4	100.0
	3年次	51	65	67	53	45	36	19	11	17	9	2	3	1	3	17	399
		12.8	16.3	16.8	13.3	11.3	9.0	4.8	2.8	4.3	2.3	0.5	0.8	0.3	0.8	4.3	100.0
	4年次以上	45	49	42	31	25	36	27	12	18	15	3	4	2	0	26	335
4位	全体	199	206	151	183	210	176	103	86	63	87	51	14	5	14	172	1,720
		11.6	12.0	8.8	10.6	12.2	10.2	6.0	5.0	3.7	5.1	3.0	0.8	0.3	0.8	10.0	100.0
	1年次	65	75	56	63	59	56	38	32	22	30	20	5	2	4	53	580
		11.2	12.9	9.7	10.9	10.2	9.7	6.6	5.5	3.8	5.2	3.4	0.9	0.3	0.7	9.1	100.0
	2年次	40	44	38	46	64	37	24	22	16	17	9	3	2	3	41	406
5位		9.9	10.8	9.4	11.3	15.8	9.1	5.9	5.4	3.9	4.2	2.2	0.7	0.5	0.7	10.1	100.0
	3年次	50	53	34	44	51	47	24	15	12	17	11	4	0	4	33	399
		12.5	13.3	8.5	11.0	12.8	11.8	6.0	3.8	3.0	4.3	2.8	1.0	0.0	1.0	8.3	100.0
	4年次以上	44	34	23	30	36	36	17	17	13	23	11	2	1	3	45	335
合計	全体	1,009	904	681	517	431	423	272	160	158	148	83	45	10	56	263	1,720
		58.7	52.6	39.6	30.1	25.1	24.6	15.8	9.3	9.2	8.6	4.8	2.6	0.6	3.3	-	100.0
	1年次	310	328	255	190	130	137	94	58	43	47	30	16	3	20	79	580
		53.4	56.6	44.0	32.8	22.4	23.6	16.2	10.0	7.4	8.1	5.2	2.8	0.5	3.4	-	100.0
	2年次	231	218	164	126	114	86	73	37	32	30	22	10	3	9	63	406
合計		56.9	53.7	40.4	31.0	28.1	21.2	18.0	9.1	7.9	7.4	5.4	2.5	0.7	2.2	-	100.0
	3年次	261	205	153	123	112	103	50	30	40	30	15	8	1	16	50	399
		65.4	51.4	38.3	30.8	28.1	25.8	12.5	7.5	10.0	7.5	3.8	2.0	0.3	4.0	-	100.0
	4年次以上	207	153	109	78	75	97	55	35	43	41	16	11	3	11	71	335
合計		61.8	45.7	32.5	23.3	22.4	29.0	16.4	10.4	12.8	12.2	4.8	3.3	0.9	3.3	-	100.0

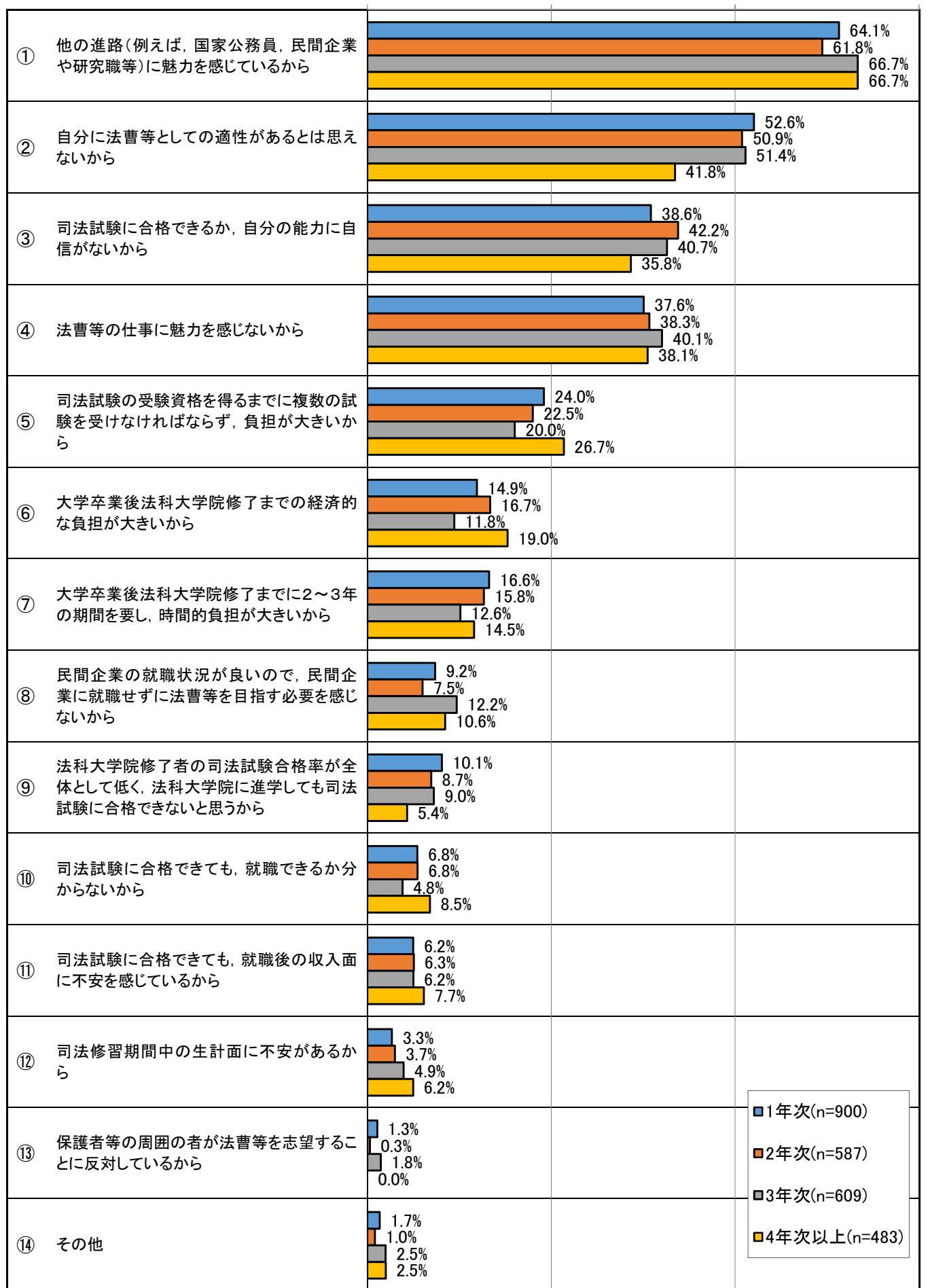
#### (4)法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生の法曹等を志望しない理由(上位3つまで選択)

法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生が法曹等を志望しない理由は、「他の進路に魅力を感じているから」が64.7%で最も高くなっている。次いで「自分に法曹等としての適性があるとは思えないから」が49.9%となっている。



		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-	回答者数	
		他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから	自分に法曹等としての適性があるとは思えないから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの期間を要し、時間的負担が大きいから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから	その他	選択なし		
1位	令和元年度	1,129 43.8	394 15.3	282 10.9	445 17.3	89 3.5	58 2.2	50 1.9	40 1.6	31 1.2	18 0.7	17 0.7	5 0.2	0 0.0	21 0.8	0 —	2,579 100.0	
	平成30年度	1,279 43.6	427 14.6	329 11.2	496 16.9	103 3.5	75 2.6	47 1.6	46 1.6	56 1.9	18 0.6	22 0.8	2 0.1	3 0.1	29 1.0	0 —	2,932 100.0	
	平成29年度	1,395 30.1	588 12.7	648 14.0	438 9.5	353 7.6	273 5.9	236 5.1	139 3.0	174 3.8	125 2.7	110 2.4	53 1.1	39 0.8	56 1.2	0 —	4,627 100.0	
2位	令和元年度	338 13.1	548 21.2	380 14.7	367 14.2	233 9.0	130 5.0	137 5.3	84 3.3	83 3.2	47 1.8	37 1.4	27 1.0	7 0.3	13 0.5	148 5.7	2,579 100.0	
	平成30年度	337 11.5	648 22.1	439 15.0	411 14.0	276 9.4	174 5.9	154 5.3	106 3.6	133 4.5	56 1.9	58 2.0	29 1.0	6 0.2	7 0.2	98 3.3	2,932 100.0	
	平成29年度	643 13.9	1,017 22.0	760 16.4	598 12.9	342 7.4	257 5.6	208 4.5	229 4.9	145 3.1	89 1.9	73 1.6	35 0.8	16 0.3	14 0.3	201 4.3	4,627 100.0	
3位	令和元年度	201 7.8	345 13.4	354 13.7	179 6.9	277 10.7	208 8.1	202 7.8	128 5.0	109 4.2	106 4.1	114 4.4	80 3.1	18 0.7	14 0.5	244 9.5	2,579 100.0	
	平成30年度	239 8.2	380 13.0	396 13.5	212 7.2	338 11.5	243 8.3	256 8.7	146 5.0	143 4.9	115 3.9	114 3.9	67 2.3	13 0.4	31 1.1	239 8.2	2,932 100.0	
	平成29年度	828 17.9	810 17.5	603 13.0	595 12.9	293 6.3	221 4.8	188 4.1	241 5.2	123 2.7	106 2.3	76 1.6	43 0.9	18 0.4	22 0.5	460 9.9	4,627 100.0	
合計	令和元年度	1,668 64.7	1,287 49.9	1,016 39.4	991 38.4	599 23.2	396 15.4	389 15.1	252 9.8	223 8.6	171 6.6	168 4.3	112 4.3	25 1.0	48 1.9	392 —	2,579 100.0	
	平成30年度	1,855 63.3	1,455 49.6	1,164 39.7	1,119 38.2	717 24.5	492 16.8	457 15.6	298 10.2	332 11.3	189 6.4	194 6.6	98 3.3	22 0.8	67 2.3	337 —	2,932 100.0	
	平成29年度	2,866 61.9	2,415 52.2	2,011 43.5	1,631 35.2	988 21.4	751 16.2	632 13.7	609 13.2	442 9.6	320 6.9	259 5.6	131 2.8	73 1.6	92 2.0	661 —	4,627 100.0	

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】



(参考)学年別内訳【表】

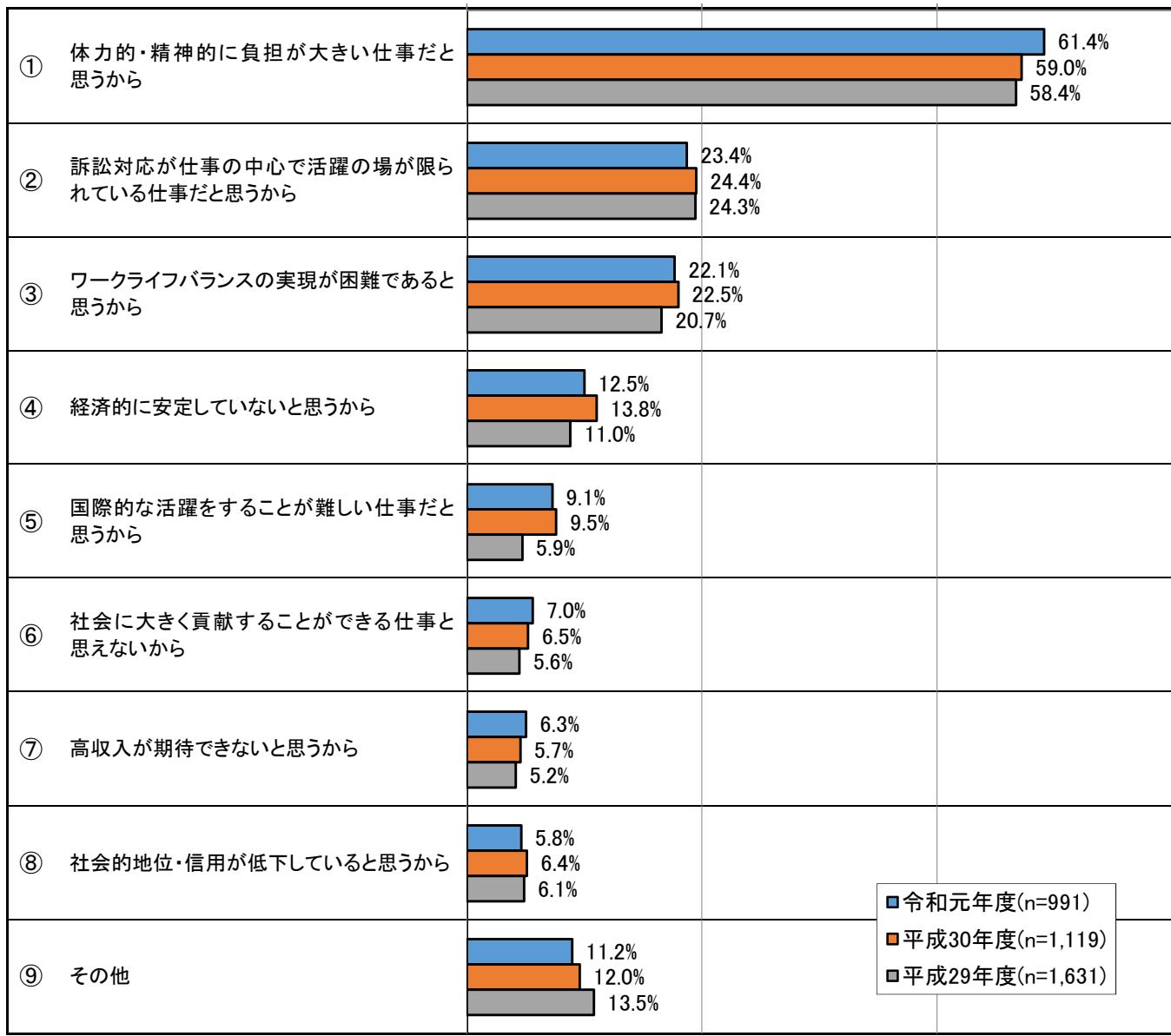
		上段・実数／下段・割合(%)														回答者数	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-	
他の進路(例え ば、国家公務員、 民間企業や研究職等) に魅力を感じてい るから		自分に法 曹等としての適性 があるとは思えな いから	司法試験に合格で きるか、自分の能 力に自信がないから	法曹等の仕事に魅 力を感じないから	司法試験の受験資 格を得るまでに複 数の試験を受けなければならず、負 担が大きいから	大学卒業後法科大 学院修了までの経 済的な負担が大き いから	大学卒業後法科大 学院修了までに2~3年の 期間を要し、時間的 な負担が大きいから	民間企業の就職状 況が良いので、民 間企業に就職せず に法曹等を目指す 必要を感じないから	法科大学院修了者の 司法試験合格率が全 体とて低く、法科大学 院に進学しても司法 試験に合格できないと思 うから	司法試験に合格で きても、就職できる か分からず、就職後 の収入面に不安を感 じているから	司法試験に合格で きても、就職後の 収入面に不安がある から	司法修習期間中の 生計面に不安があ るから	保護者等の周囲の 者が法曹等を志望 することに反対して いるから	その他	選択なし		
1位	全体	1,129 43.8	394 15.3	282 10.9	445 17.3	89 3.5	58 2.2	50 1.9	40 1.6	31 1.2	18 0.7	17 0.7	5 0.2	0 0.0	21 0.8	0 0.0	2,579 100.0
	1年次	387 43.0	158 17.6	94 10.4	155 17.2	29 3.2	15 1.7	21 2.3	9 1.0	11 1.2	4 0.4	6 0.4	1 0.1	0 0.0	10 1.1	0 0.0	900 100.0
	2年次	243 41.4	88 15.0	80 13.6	98 16.7	25 4.3	13 2.2	11 1.9	6 1.0	7 1.2	6 1.0	5 0.9	2 0.3	0 0.0	3 0.5	0 0.0	587 100.0
	3年次	271 44.5	93 15.3	68 11.2	103 16.9	17 2.8	16 2.6	8 1.3	15 2.5	9 1.5	2 0.3	2 0.3	0 0.0	0 0.0	5 0.8	0 0.0	609 100.0
	4年次以上	228 47.2	55 11.4	40 8.3	89 18.4	18 3.7	14 2.9	10 2.1	10 2.1	4 0.8	6 1.2	4 0.8	2 0.4	0 0.0	3 0.6	0 0.0	483 100.0
2位	全体	338 13.1	548 21.2	380 14.7	367 14.2	233 9.0	130 5.0	137 5.3	84 3.3	83 3.2	47 1.8	37 1.4	27 1.0	7 0.3	13 0.5	148 5.7	2,579 100.0
	1年次	116 12.9	190 21.1	131 14.6	124 13.8	89 9.9	51 5.7	51 5.7	31 3.4	39 4.3	13 1.4	10 1.1	8 0.9	2 0.2	2 0.2	43 4.8	900 100.0
	2年次	79 13.5	138 23.5	91 15.5	84 14.3	43 7.3	25 4.3	34 5.8	15 2.6	13 2.2	10 1.7	8 1.4	5 0.9	1 0.2	1 0.2	40 6.8	587 100.0
	3年次	81 13.3	135 22.2	88 14.4	96 15.8	44 7.2	24 3.9	30 4.9	24 3.9	17 2.8	15 2.5	5 0.8	6 1.0	4 0.7	7 1.1	33 5.4	609 100.0
	4年次以上	62 12.8	85 17.6	70 14.5	63 13.0	57 11.8	30 6.2	22 4.6	14 2.9	14 2.9	9 1.9	14 2.9	8 1.7	0 0.0	3 0.6	32 6.6	483 100.0
3位	全体	201 7.8	345 13.4	354 13.7	179 6.9	277 10.7	208 8.1	202 7.8	128 5.0	109 4.2	106 4.1	114 4.4	80 3.1	18 0.7	14 0.5	244 9.5	2,579 100.0
	1年次	74 8.2	125 13.9	122 13.6	59 6.6	98 10.9	68 7.6	77 8.6	43 4.8	41 4.6	44 4.9	40 4.4	21 2.3	10 1.1	3 0.3	75 8.3	900 100.0
	2年次	41 7.0	73 12.4	77 13.1	43 7.3	64 10.9	60 10.2	48 8.2	23 3.9	31 5.3	24 4.1	24 4.1	15 2.6	1 0.2	2 0.3	61 10.4	587 100.0
	3年次	54 8.9	85 14.0	92 15.1	45 7.4	61 10.0	32 5.3	39 6.4	35 5.7	29 4.8	12 2.0	31 5.1	24 3.9	7 1.1	3 0.5	60 9.9	609 100.0
	4年次以上	32 6.6	62 12.8	63 13.0	32 6.6	54 11.2	48 9.9	38 7.9	27 5.6	8 1.7	26 5.4	19 3.9	20 4.1	0 0.0	6 1.2	48 9.9	483 100.0
合計	全体	1668 64.7	1287 49.9	1,016 39.4	991 38.4	599 23.2	396 15.4	389 15.1	252 9.8	223 8.6	171 6.6	168 4.3	112 3.1	25 1.0	48 1.9	392 -	2,579 100.0
	1年次	577 64.1	473 52.6	347 38.6	338 37.6	216 24.0	134 14.9	149 16.6	83 9.2	91 10.1	61 6.8	56 6.2	30 3.3	12 1.3	15 1.7	118 -	900 100.0
	2年次	363 61.8	299 50.9	248 42.2	225 38.3	132 22.5	98 16.7	93 15.8	44 7.5	51 8.7	40 6.8	37 6.3	22 3.7	2 0.3	6 1.0	101 -	587 100.0
	3年次	406 66.7	313 51.4	248 40.7	244 40.1	122 20.0	72 11.8	77 12.6	74 12.2	55 9.0	29 4.8	38 6.2	30 4.9	11 1.8	15 2.5	93 -	609 100.0
	4年次以上	322 66.7	202 41.8	173 35.8	184 38.1	129 26.7	92 19.0	70 14.5	51 10.6	26 5.4	41 8.5	37 7.7	30 6.2	0 0.0	12 2.5	80 -	483 100.0

## (5)法曹等の仕事に魅力を感じない理由について

(「法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない」かつ法曹等を志望しない理由として「法曹等の仕事に魅力を感じないから」と回答した学生/複数選択可)

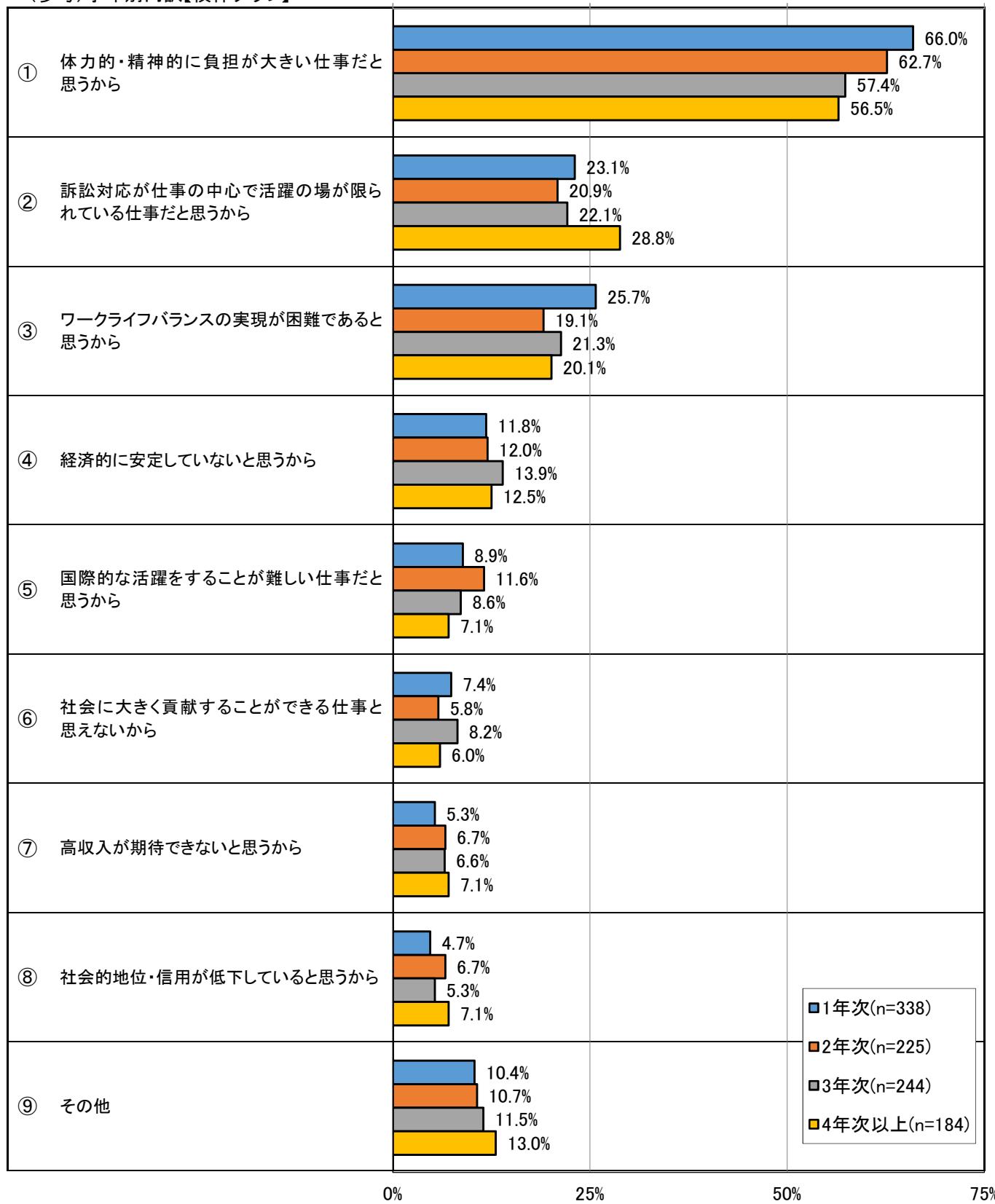
法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生が法曹等の仕事に魅力を感じない理由については、「体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから」が61.4%で最も高く、6割以上となっている。次いで「訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから」が23.4%であるが、その差は30ポイント以上と大きくなっている。

また、「その他」を選んだ111人の内、42人が興味関心がない旨を自由回答欄に回答している。



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	回答者数
体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	608 61.4	232 23.4	219 22.1	124 12.5	90 9.1	69 7.0	62 6.3	57 5.8	111 11.2	991 100.0
訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	660 59.0	273 24.4	252 22.5	154 13.8	106 9.5	73 6.5	64 5.7	72 6.4	134 12.0	1,119 100.0
ワークライフバランスの実現が困難であると思うから	952 58.4	397 24.3	338 20.7	180 11.0	97 5.9	91 5.6	85 5.2	99 6.1	221 13.5	1,631 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ】

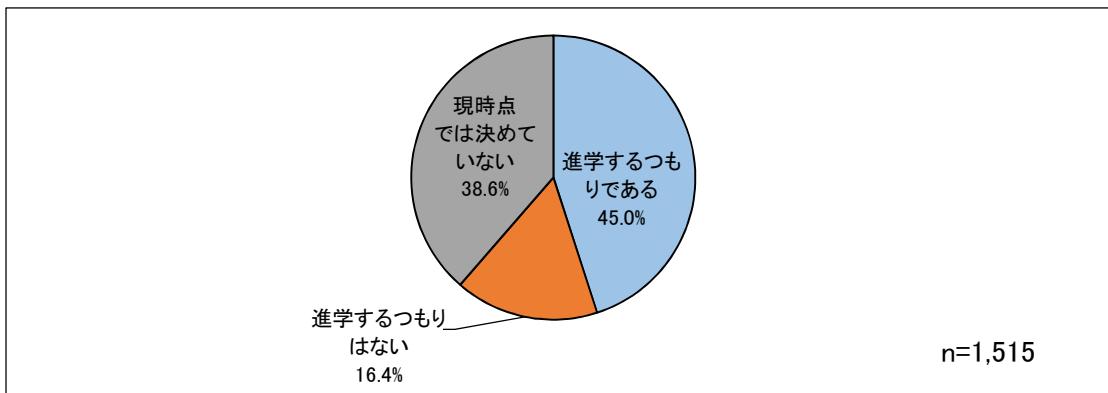


## 9.法科大学院への進学、大学在学中の予備試験の受験 (現在志望・選択肢の1つとして考えている学生のみ回答)

### (1)法科大学院への進学予定

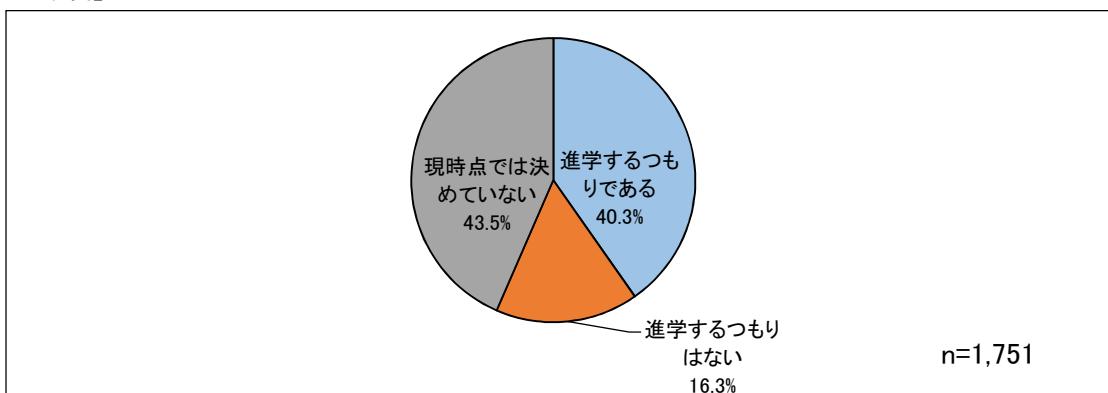
現在法曹等を志望しているか、選択肢の1つとして考えている学生の法科大学院への進学予定については、「進学するつもりである」が45.0%と4割以上で最も高く、次いで「現時点では決めていない」が38.6%となっている。「進学するつもりはない」は16.4%と2割以下となっている。なお、「進学するつもりである」の割合は平成29年度から毎年上昇している。

【令和元年度】



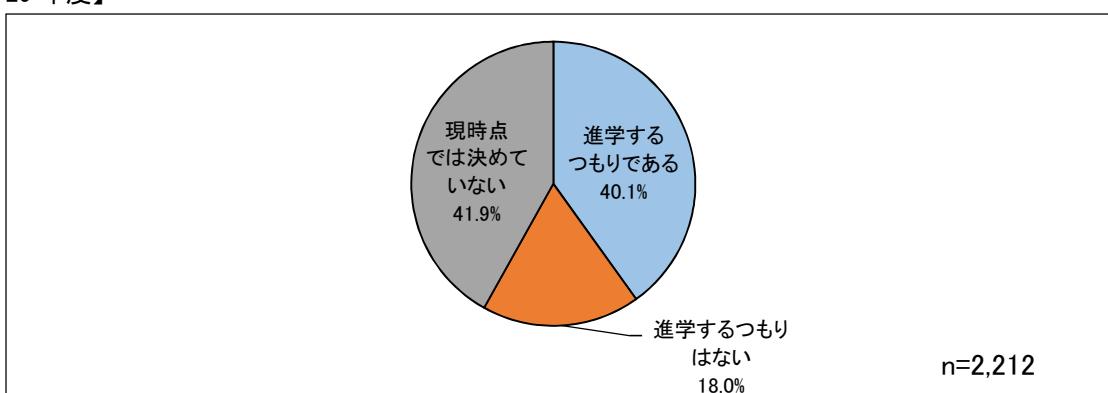
n=1,515

【平成30年度】



n=1,751

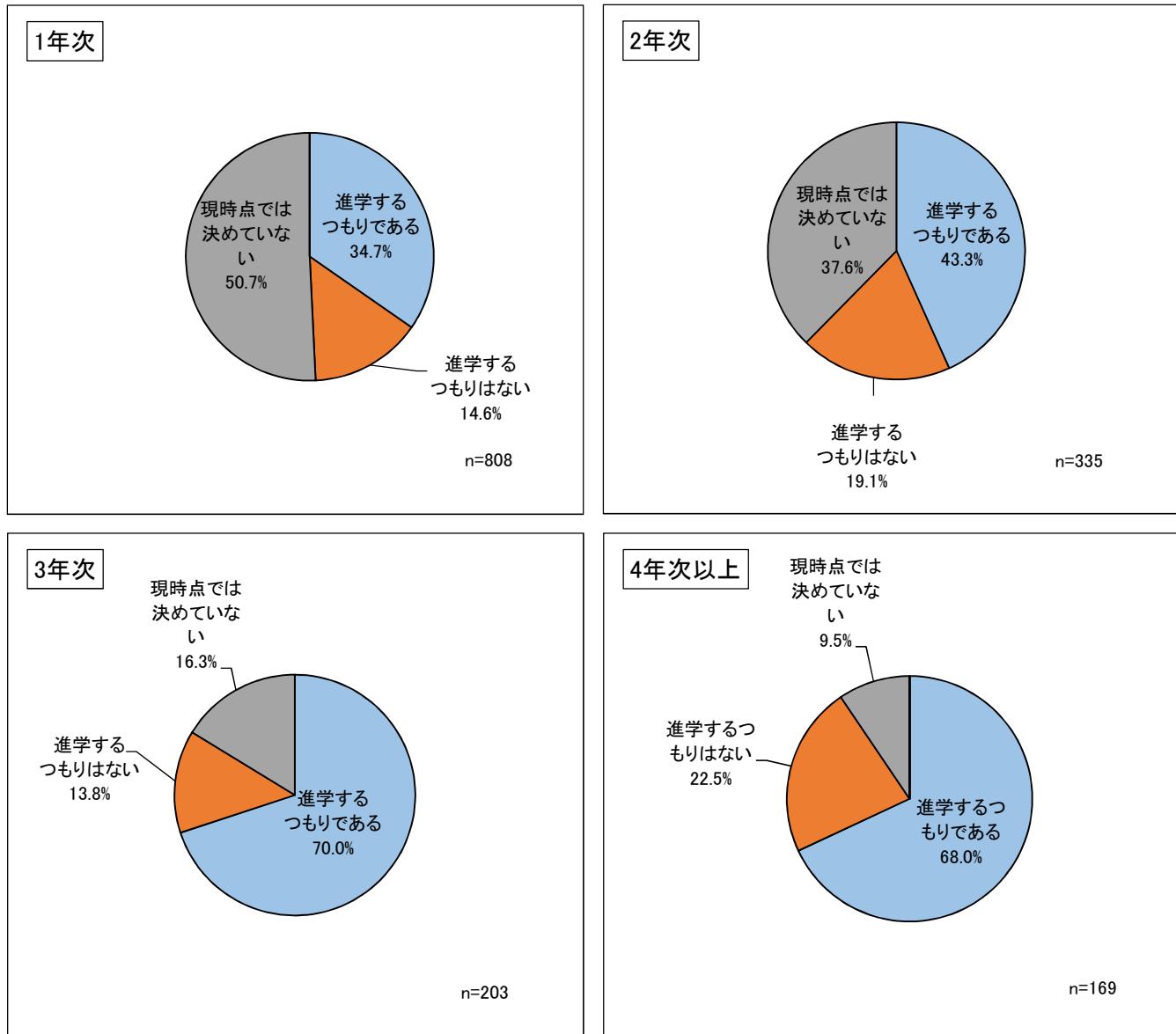
【平成29年度】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	進学する つもりである	進学する つもりはない	現時点では 決めていない	回答者数
令和元年度	682	248	585	1,515
	45.0	16.4	38.6	100.0
平成30年度	705	285	761	1,751
	40.3	16.3	43.5	100.0
平成29年度	887	398	927	2,212
	40.1	18.0	41.9	100.0

(参考)学年別内訳【円グラフ・表】



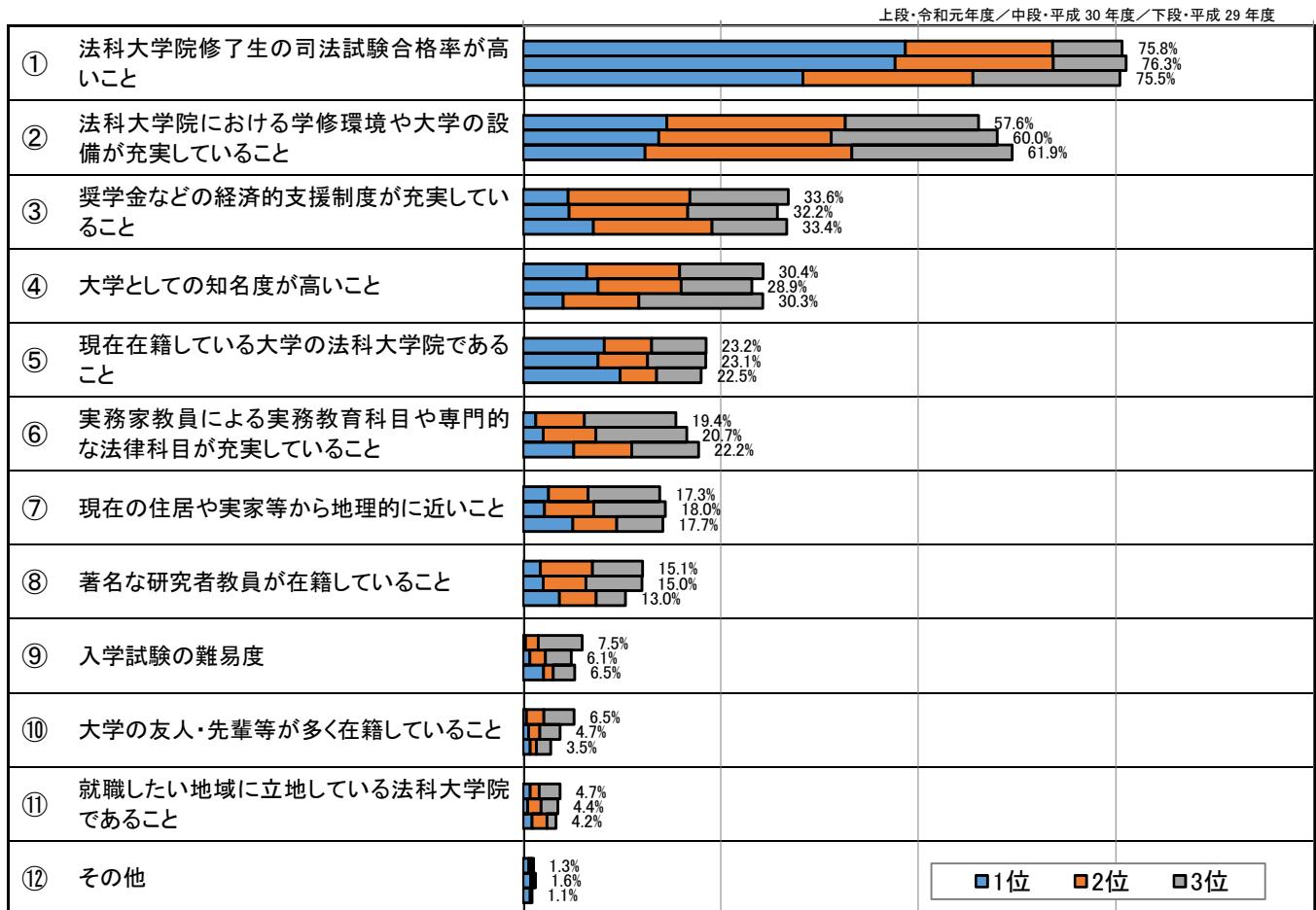
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	進学する つもりである	進学する つもりはない	現時点では 決めていない	回答者数
1年次	280 34.7	118 14.6	410 50.7	808 100.0
2年次	145 43.3	64 19.1	126 37.6	335 100.0
3年次	142 70.0	28 13.8	33 16.3	203 100.0
4年次以上	115 68.0	38 22.5	16 9.5	169 100.0
全 体	682 45.0	248 16.4	585 38.6	1,515 100.0

## (2)法科大学院の選択において重視する点(上位3つまで選択/法科大学院に進学する予定がある学生)

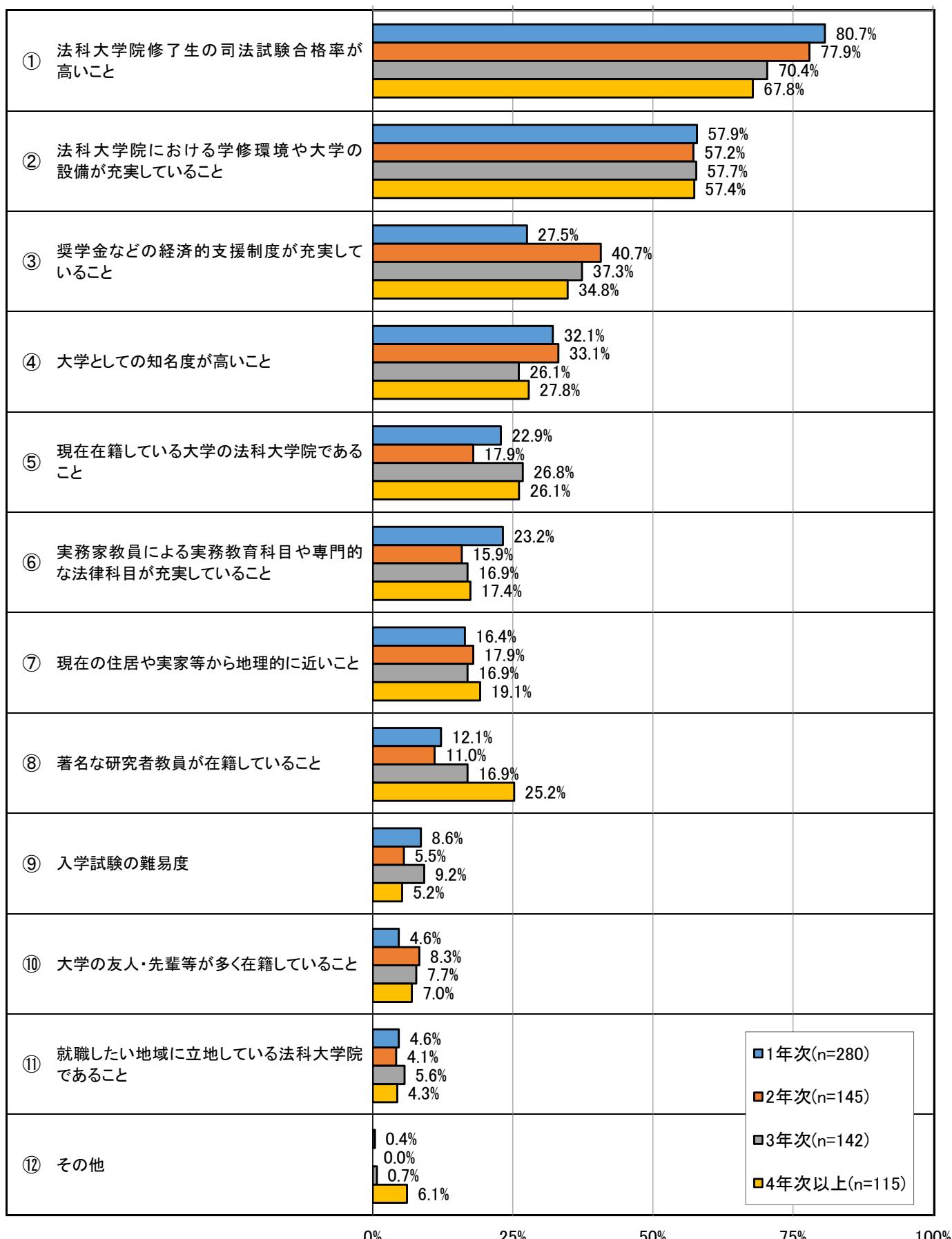
法科大学院の選択で重視する点は、「法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと」が75.8%で最も高く、次いで「法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること」が57.6%で高くなっている。

その他の項目は3割台以下となっている。



		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	-	回答者数
1位	法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと	330 48.4	124 18.2	39 5.7	55 8.1	70 10.3	11 1.6	22 3.2	15 2.2	2 0.3	3 0.4	6 0.9	5 0.7	0	682 100.0
	法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること	332 47.1	121 17.2	41 5.8	67 9.5	67 9.5	18 2.6	19 2.7	18 2.6	6 0.9	5 0.7	4 0.6	7 1.0	0	705 100.0
	現在在籍している大学の法科大学院であること	314 35.4	137 15.4	79 8.9	45 5.1	109 12.3	57 6.4	56 6.3	41 4.6	23 2.6	8 0.9	10 1.1	8 0.9	0	887 100.0
2位	実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること	127 18.6	154 22.6	105 15.4	80 11.7	41 6.0	42 6.2	34 5.0	45 6.6	11 1.6	15 2.2	8 1.2	2 0.3	18 2.6	682 100.0
	現在の住居や実家等から地理的に近いこと	141 20.0	154 21.8	106 15.0	74 10.5	44 6.2	47 6.7	44 6.2	38 5.4	14 2.0	10 1.4	12 1.7	2 0.3	19 2.7	705 100.0
	著名な研究者教員が在籍していること	191 21.5	232 26.2	133 15.0	85 9.6	41 4.6	65 7.3	49 5.5	41 4.6	11 1.2	7 0.8	17 1.9	0 0.0	15 1.7	887 100.0
3位	大学の友人・先輩等が多く在籍していること	60 8.8	115 16.9	85 12.5	72 10.6	47 6.9	79 11.6	62 9.1	43 6.3	38 5.6	26 3.8	18 2.6	2 0.3	35 5.1	682 100.0
	就職したい地域に立地している法科大学院であること	65 9.2	148 21.0	80 11.3	63 8.9	52 7.4	81 11.5	64 9.1	50 7.1	23 3.3	18 2.6	15 2.1	2 0.3	44 6.2	705 100.0
	その他	165 18.6	180 20.3	84 9.5	139 15.7	50 5.6	75 8.5	52 5.9	33 3.7	24 2.7	16 1.8	10 1.1	2 0.2	57 6.4	887 100.0
合計	入学試験の難易度	517 75.8	393 57.6	229 33.6	207 30.4	158 23.2	132 19.4	118 17.3	103 15.1	51 7.5	44 6.5	32 4.7	9 1.3	53 -	682 100.0
	大学の知名度	538 76.3	423 60.0	227 32.2	204 28.9	163 23.1	146 20.7	127 18.0	106 15.0	43 6.1	33 4.7	31 4.4	11 1.6	63 -	705 100.0
	奨学金制度	670 75.5	549 61.9	296 33.4	269 30.3	200 22.5	197 22.2	157 17.7	115 13.0	58 6.5	31 3.5	37 4.2	10 1.1	72 -	887 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】



(参考)学年別内訳【表】

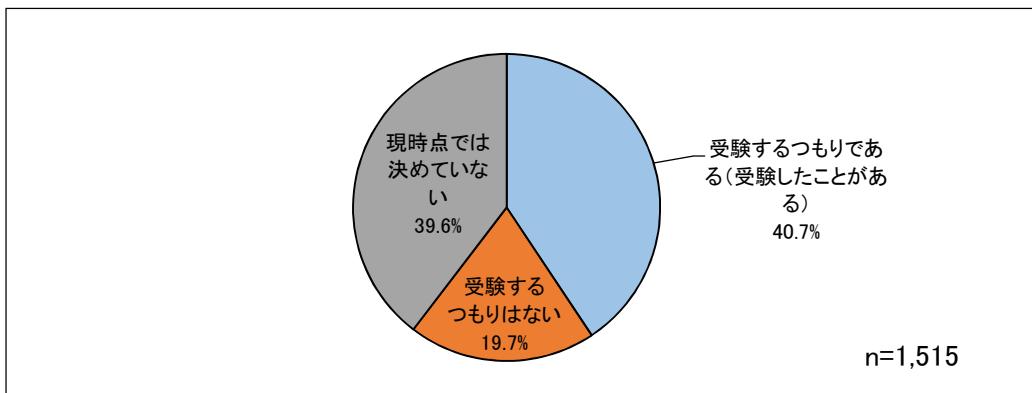
上段・実数／下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	-	回答者数
		法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと	法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること	奨学金などの経済的支援制度が充実していること	大学としての知名度が高いこと	現在在籍している大学の法科大学院であること	実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること	現在の住居や実家等から地理的に近いこと	著名な研究者教員が在籍していること	入学試験の難易度	大学の友人・先輩等が多く在籍していること	就職したい地域に立地している法科大学院であること	その他	選択なし	
1位	全体	330 48.4	124 18.2	39 5.7	55 8.1	70 10.3	11 1.6	22 3.2	15 2.2	2 0.3	3 0.4	6 0.9	5 0.7	0 0.0	682 100.0
	1年次	152 54.3	39 13.9	9 3.2	25 8.9	32 11.4	6 2.1	9 3.2	4 1.4	0 0.0	0 0.0	3 1.1	1 0.4	0 0.0	280 100.0
	2年次	67 46.2	30 20.7	10 6.9	17 11.7	12 8.3	0 0.0	1 0.7	4 2.8	0 0.0	3 2.1	1 0.7	0 0.0	0 0.0	145 100.0
	3年次	61 43.0	36 25.4	12 8.5	6 4.2	14 9.9	1 0.7	6 4.2	3 2.1	1 0.7	0 0.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0	142 100.0
	4年次以上	50 43.5	19 16.5	8 7.0	7 6.1	12 10.4	4 3.5	6 5.2	4 3.5	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4 3.5	0 0.0	115 100.0
2位	全体	127 18.6	154 22.6	105 15.4	80 11.7	41 6.0	42 6.2	34 5.0	45 6.6	11 1.6	15 2.2	8 1.2	2 0.3	18 2.6	682 100.0
	1年次	56 20.0	69 24.6	39 13.9	35 12.5	14 5.0	22 7.9	14 5.0	11 3.9	4 1.4	3 1.1	3 1.1	0 0.0	10 3.6	280 100.0
	2年次	29 20.0	29 20.0	30 20.7	17 11.7	5 3.4	9 6.2	7 4.8	5 3.4	3 2.1	5 3.4	0 0.0	0 0.0	6 4.1	145 100.0
	3年次	21 14.8	26 18.3	21 14.8	18 12.7	15 10.6	7 4.9	7 4.9	17 12.0	3 2.1	3 2.1	2 1.4	0 0.0	2 1.4	142 100.0
	4年次以上	21 18.3	30 26.1	15 13.0	10 8.7	7 6.1	4 3.5	6 5.2	12 10.4	1 0.9	4 3.5	3 2.6	2 1.7	0 0.0	115 100.0
3位	全体	60 8.8	115 16.9	85 12.5	72 10.6	47 6.9	79 11.6	62 9.1	43 6.3	38 5.6	26 3.8	18 2.6	2 0.3	35 5.1	682 100.0
	1年次	18 6.4	54 19.3	29 10.4	30 10.7	18 6.4	37 13.2	23 8.2	19 6.8	20 7.1	10 3.6	7 2.5	0 0.0	15 5.4	280 100.0
	2年次	17 11.7	24 16.6	19 13.1	14 9.7	9 6.2	14 9.7	18 12.4	7 4.8	5 3.4	4 2.8	5 3.4	0 0.0	9 6.2	145 100.0
	3年次	18 12.7	20 14.1	20 14.1	13 9.2	9 6.3	16 11.3	11 7.7	4 2.8	9 6.3	8 5.6	4 2.8	1 0.7	9 6.3	142 100.0
	4年次以上	7 6.1	17 14.8	17 14.8	15 13.0	11 9.6	12 10.4	10 8.7	13 11.3	4 3.5	4 3.5	2 1.7	1 0.9	2 1.7	115 100.0
合計	全体	517 75.8	393 57.6	229 33.6	207 30.4	158 23.2	132 19.4	118 17.3	103 15.1	51 7.5	44 6.5	32 4.7	9 1.3	53 -	682 100.0
	1年次	226 80.7	162 57.9	77 27.5	90 32.1	64 22.9	65 23.2	46 16.4	34 12.1	24 8.6	13 4.6	13 4.6	1 0.4	25 -	280 100.0
	2年次	113 77.9	83 57.2	59 40.7	48 33.1	26 17.9	23 15.9	26 17.9	16 11.0	8 5.5	12 8.3	6 4.1	0 0.0	15 -	145 100.0
	3年次	100 70.4	82 57.7	53 37.3	37 26.1	38 26.8	24 16.9	24 16.9	24 16.9	13 9.2	11 7.7	8 5.6	1 0.7	11 -	142 100.0
	4年次以上	78 67.8	66 57.4	40 34.8	32 27.8	30 26.1	20 17.4	22 19.1	29 25.2	6 5.2	8 7.0	5 4.3	7 6.1	2 -	115 100.0

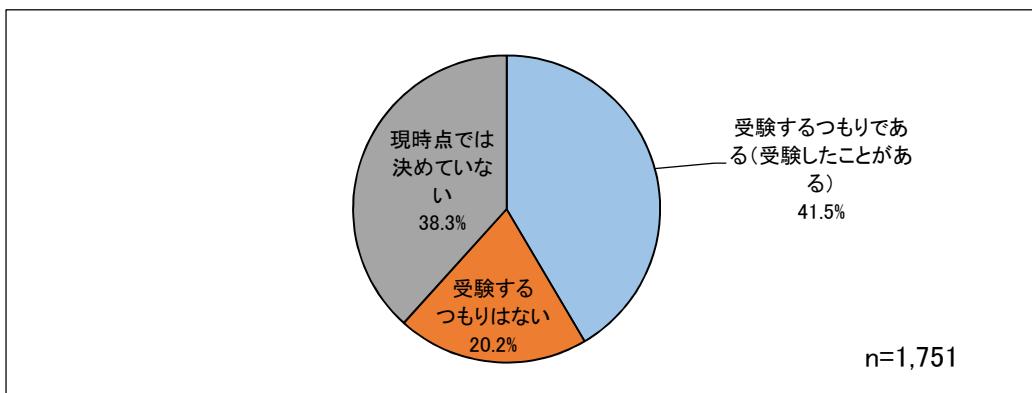
### (3)大学在学中の予備試験の受験予定

大学在学中の予備試験の受験予定は、「受験するつもりである(受験したことがある)」が40.7%、「現時点では決めていない」が39.6%でいずれも4割前後となっている。「受験するつもりはない」は19.7%となっている。

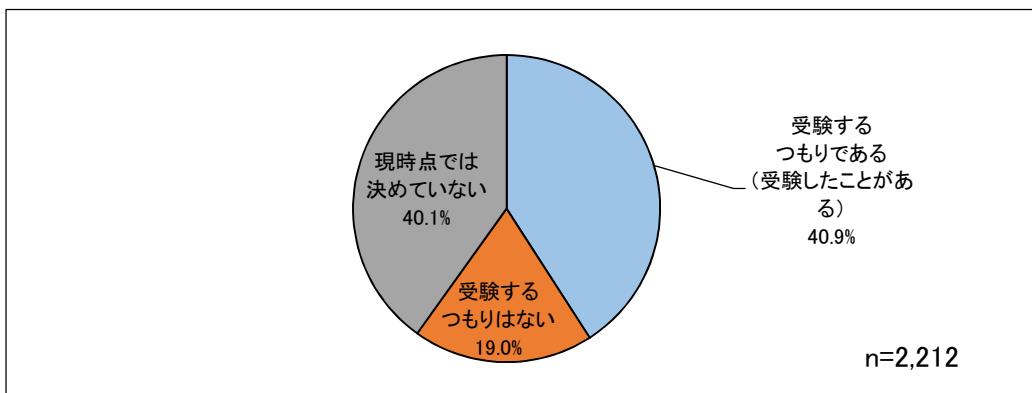
【令和元年度】



【平成 30 年度】



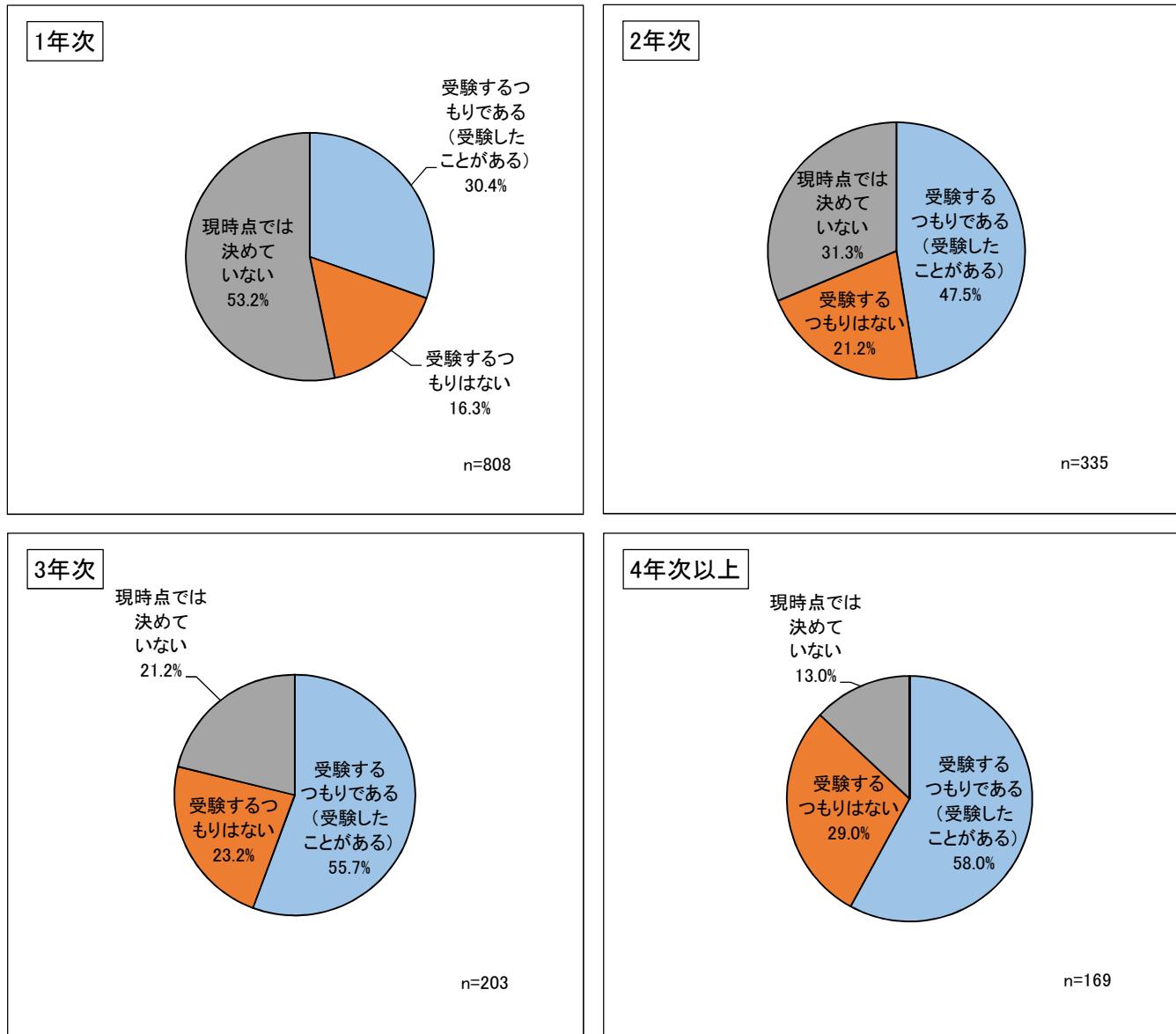
【平成 29 年度】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	受験するつもりである (受験したことがある)	受験するつもりはない	現時点では 決めていない	回答者数
令和元年度	616 40.7	299 19.7	600 39.6	1,515 100.0
平成 30 年度	727 41.5	353 20.2	671 38.3	1,751 100.0
平成 29 年度	904 40.9	420 19.0	888 40.1	2,212 100.0

(参考)学年別内訳【円グラフ・表】



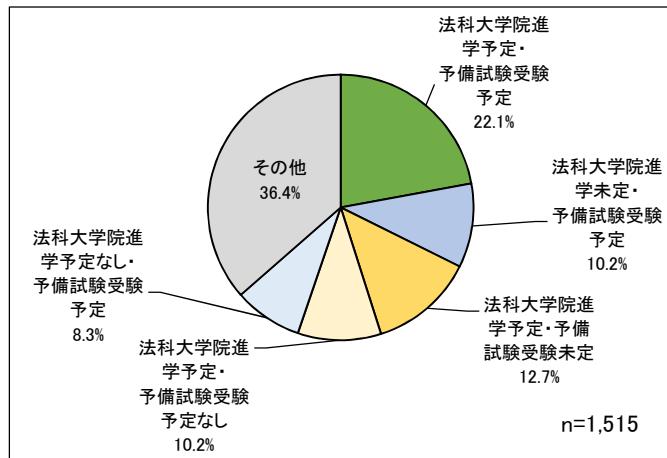
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	受験するつもりである (受験したことがある)	受験するつもりはない	現時点では 決めていない	回答者数
1年次	246 30.4	132 16.3	430 53.2	808 100.0
2年次	159 47.5	71 21.2	105 31.3	335 100.0
3年次	113 55.7	47 23.2	43 21.2	203 100.0
4年次以上	98 58.0	49 29.0	22 13.0	169 100.0
全 体	616 40.7	299 19.7	600 39.6	1,515 100.0

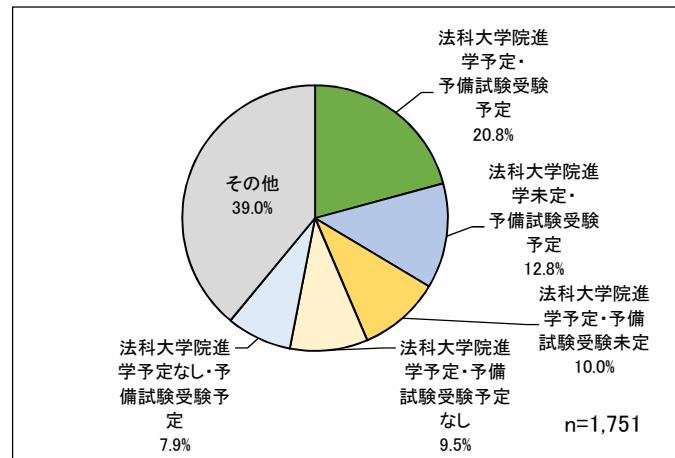
#### (4)法科大学院への進学予定と大学在学中の予備試験の受験予定の関係

法科大学院への進学と大学在学中の予備試験の受験予定との関係については、「法科大学院に進学する予定及び予備試験を受験する予定のいずれもある」が22.1%となっている。また、「法科大学院に進学する予定はあるが、予備試験を受験する予定はない」が10.2%、「予備試験を受験する予定はあるが、法科大学院に進学する予定はない」が8.3%となっている。

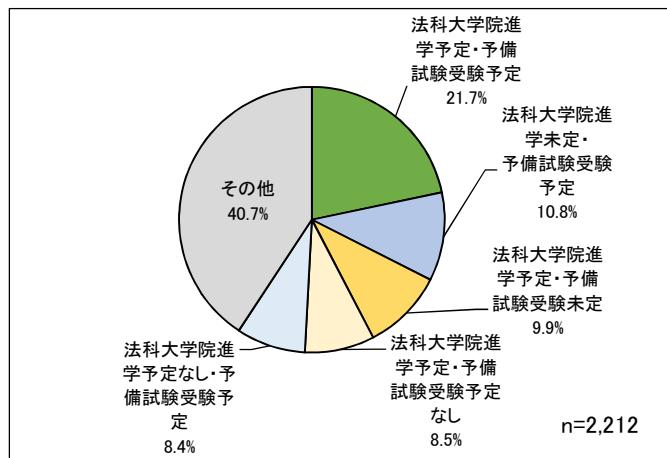
【令和元年度】



【平成30年度】



【平成29年度】

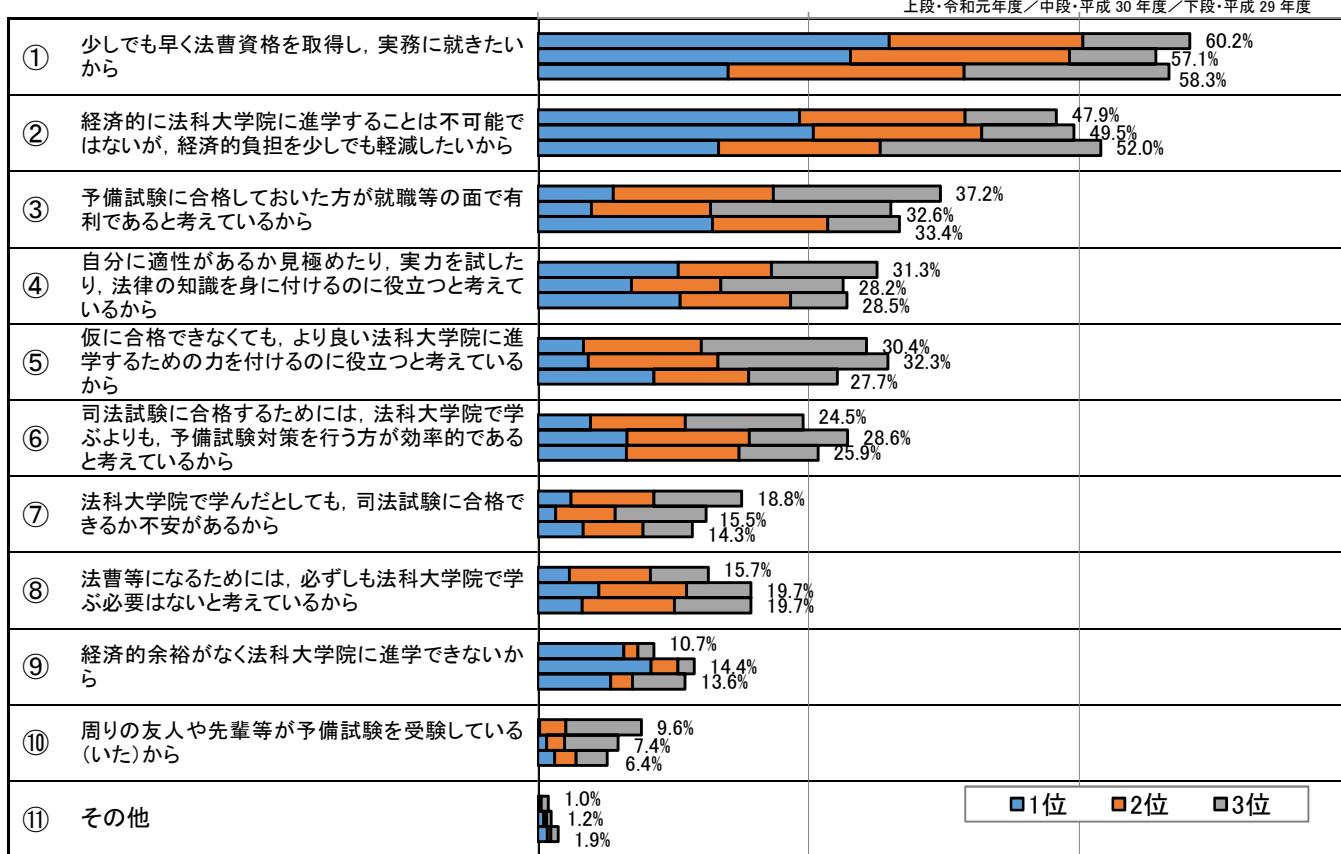


(上段:回答数・人/下段:割合・%)

在学中の予備試験受験予定	回答数	法科大学院への進学予定		
		進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない
令和元年度	受験するつもりである (受験したことがある)	616 40.7	335 22.1	126 8.3
	受験するつもりはない	299 19.7	154 10.2	67 4.4
	現時点では決めていない	600 39.6	193 12.7	55 3.6
	全体	1,515 100.0	682 45.0	248 16.4
平成30年度	受験するつもりである (受験したことがある)	727 41.5	364 20.8	139 7.9
	受験するつもりはない	353 20.2	166 9.5	82 4.7
	現時点では決めていない	671 38.3	175 10.0	64 3.7
	全体	1,751 100.0	705 40.3	285 16.3
平成29年度	受験するつもりである (受験したことがある)	904 40.9	480 21.7	186 8.4
	受験するつもりはない	420 19.0	188 8.5	119 5.4
	現時点では決めていない	888 40.1	219 9.9	93 4.2
	全体	2,212 100.0	887 40.1	398 18.0

(5)大学在学中の予備試験の受験理由(上位3つまで選択/大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生)

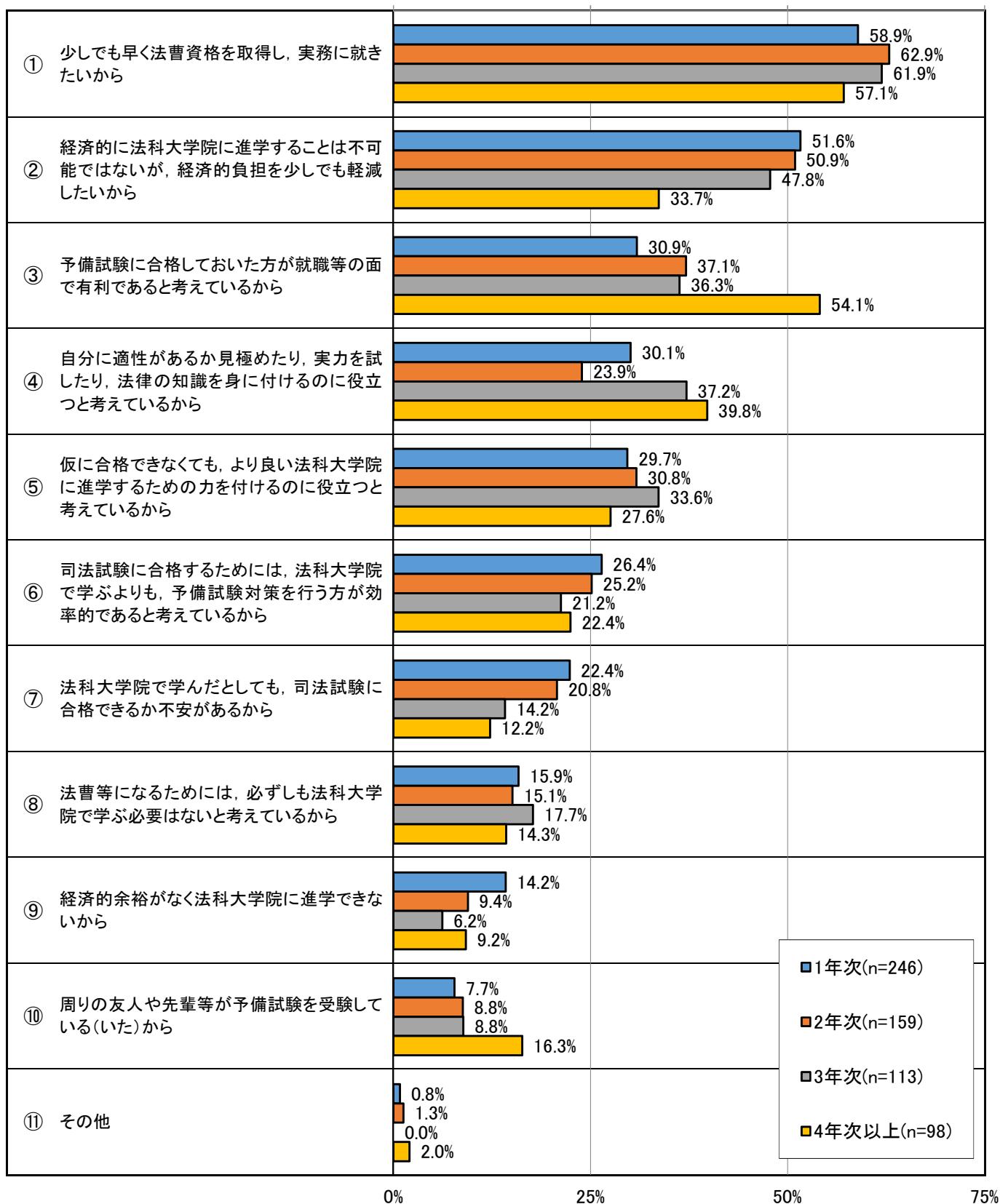
大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生の受験理由については、「少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから」が60.2%で最も高く、「経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから」が47.9%で続く。



上段・実数／下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-	回答者数
		少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから	予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから	自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから	仮に合格できなくて、より良い法科大学院に進学するための力を持つのに役立つと考えているから	司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから	法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから	法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから	経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから	周りの友人や先輩等が予備試験を受験している(いた)から	その他	選択なし	
1位	令和元年度	200 32.5	149 24.2	43 7.0	80 13.0	26 4.2	30 4.9	19 3.1	18 2.9	49 8.0	1 0.2	1 0.2	0 -	616 100.0
	平成30年度	210 28.9	185 25.4	36 5.0	63 8.7	34 4.7	60 8.3	12 1.7	41 5.6	76 10.5	6 0.8	4 0.6	0 -	727 100.0
	平成29年度	159 17.6	151 16.7	146 16.2	119 13.2	97 10.7	74 8.2	38 4.2	37 4.1	61 6.7	14 1.5	8 0.9	0 -	904 100.0
2位	令和元年度	110 17.9	94 15.3	91 14.8	53 8.6	67 10.9	54 8.8	47 7.6	46 7.5	8 1.3	15 2.4	1 0.2	30 4.9	616 100.0
	平成30年度	147 20.2	113 15.5	80 11.0	60 8.3	87 12.0	82 11.3	40 5.5	59 8.1	18 2.5	12 1.7	2 0.3	27 3.7	727 100.0
	平成29年度	197 21.8	135 14.9	96 10.6	92 10.2	79 8.7	94 10.4	50 5.5	77 8.5	18 2.0	18 2.0	3 0.3	45 5.0	904 100.0
3位	令和元年度	61 9.9	52 8.4	95 15.4	60 9.7	94 15.3	67 10.9	50 8.1	33 5.4	9 1.5	43 7.0	4 0.6	48 7.8	616 100.0
	平成30年度	58 8.0	62 8.5	121 16.6	82 11.3	114 15.7	66 9.1	61 8.4	43 5.9	11 1.5	36 5.0	3 0.4	70 9.6	727 100.0
	平成29年度	171 18.9	184 20.4	60 6.6	47 5.2	74 8.2	66 7.3	41 4.5	64 7.1	44 4.9	26 2.9	6 0.7	121 13.4	904 100.0
合計	令和元年度	371 60.2	295 47.9	229 37.2	193 31.3	187 30.4	151 24.5	116 18.8	97 15.7	66 10.7	59 9.6	6 1.0	78 1.0	616 100.0
	平成30年度	415 57.1	360 49.5	237 32.6	205 28.2	235 32.3	208 28.6	113 15.5	143 19.7	105 14.4	54 7.4	9 1.2	97 1.2	727 100.0
	平成29年度	527 58.3	470 52.0	302 33.4	258 28.5	250 27.7	234 25.9	129 14.3	178 19.7	123 13.6	58 6.4	17 1.9	166 1.9	904 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】



(参考)学年別内訳【表】

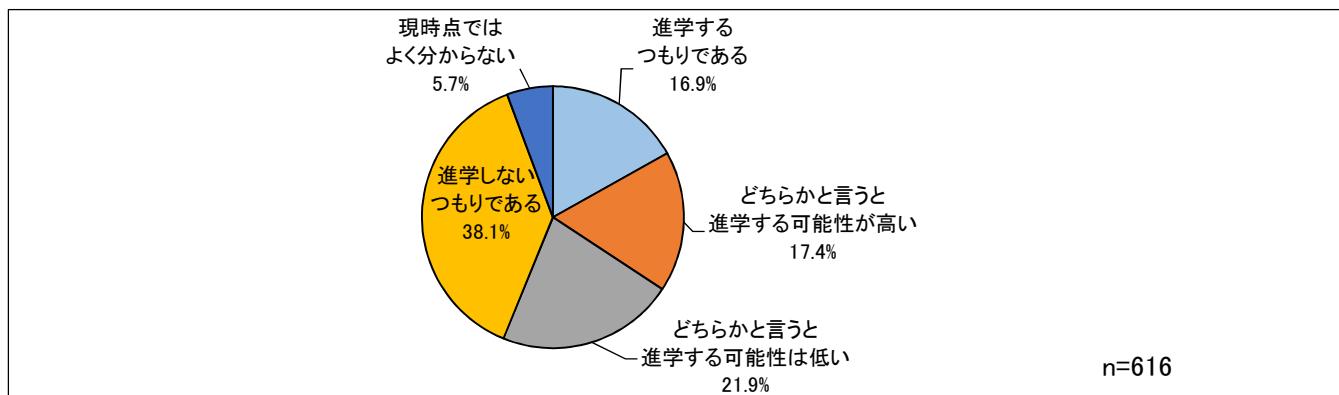
上段・実数／下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-	回答者数
		少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから	予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから	自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから	仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから	司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行いう方が効率的であると考えているから	法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから	法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないから	経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから	周りの友人や先輩等が予備試験を受けている(いた)から	その他	選択なし	
1位	全体	200 32.5	149 24.2	43 7.0	80 13.0	26 4.2	30 4.9	19 3.1	18 2.9	49 8.0	1 0.2	1 0.2	0 -	616 100.0
	1年次	81 32.9	54 22.0	15 6.1	30 12.2	10 4.1	13 5.3	10 4.1	7 2.8	25 10.2	0 0.0	1 0.4	0 -	246 100.0
	2年次	56 35.2	50 31.4	8 5.0	12 7.5	5 3.1	8 5.0	4 2.5	4 2.5	12 7.5	0 0.0	0 0.0	0 -	159 100.0
	3年次	38 33.6	27 23.9	7 6.2	21 18.6	6 5.3	3 2.7	1 0.9	4 3.5	5 4.4	1 0.9	0 0.0	0 -	113 100.0
	4年次以上	25 25.5	18 18.4	13 13.3	17 17.3	5 5.1	6 6.1	4 4.1	3 3.1	7 7.1	0 0.0	0 0.0	0 -	98 100.0
2位	全体	110 17.9	94 15.3	91 14.8	53 8.6	67 10.9	54 8.8	47 7.6	46 7.5	8 1.3	15 2.4	1 0.2	30 4.9	616 100.0
	1年次	38 15.4	48 19.5	33 13.4	15 6.1	26 10.6	24 9.8	26 10.6	19 7.7	4 1.6	2 0.8	0 0.0	11 4.5	246 100.0
	2年次	33 20.8	21 13.2	20 12.6	16 10.1	14 8.8	14 8.8	13 8.2	11 6.9	2 1.3	6 3.8	1 0.6	8 5.0	159 100.0
	3年次	18 15.9	18 15.9	15 13.3	10 8.8	18 15.9	9 8.0	3 2.7	12 10.6	1 0.9	2 1.8	0 0.0	7 6.2	113 100.0
	4年次以上	21 21.4	7 7.1	23 23.5	12 12.2	9 9.2	7 7.1	5 5.1	4 4.1	1 1.0	5 5.1	0 0.0	4 4.1	98 100.0
3位	全体	61 9.9	52 8.4	95 15.4	60 9.7	94 15.3	67 10.9	50 8.1	33 5.4	9 1.5	43 7.0	4 0.6	48 7.8	616 100.0
	1年次	26 10.6	25 10.2	28 11.4	29 11.8	37 15.0	28 11.4	19 7.7	13 5.3	6 2.4	17 6.9	1 0.4	17 6.9	246 100.0
	2年次	11 6.9	10 6.3	31 19.5	10 6.3	30 18.9	18 11.3	16 10.1	9 5.7	1 0.6	8 5.0	1 0.6	14 8.8	159 100.0
	3年次	14 12.4	9 8.0	19 16.8	11 9.7	14 12.4	12 10.6	12 10.6	4 3.5	1 0.9	7 6.2	0 0.0	10 8.8	113 100.0
	4年次以上	10 10.2	8 8.2	17 17.3	10 10.2	13 13.3	9 9.2	3 3.1	7 7.1	1 1.0	11 11.2	2 2.0	7 7.1	98 100.0
合計	全体	371 60.2	295 47.9	229 37.2	193 31.3	187 30.4	151 24.5	116 18.8	97 15.7	66 10.7	59 9.6	6 1.0	78 -	616 100.0
	1年次	145 58.9	127 51.6	76 30.9	74 30.1	73 29.7	65 26.4	55 22.4	39 15.9	35 14.2	19 7.7	2 0.8	28 -	246 100.0
	2年次	100 62.9	81 50.9	59 37.1	38 23.9	49 30.8	40 25.2	33 20.8	24 15.1	15 9.4	14 8.8	2 1.3	22 -	159 100.0
	3年次	70 61.9	54 47.8	41 36.3	42 37.2	38 33.6	24 21.2	20 14.2	20 17.7	7 6.2	10 8.8	0 0.0	17 -	113 100.0
	4年次以上	56 57.1	33 33.7	53 54.1	39 39.8	27 27.6	22 22.4	12 12.2	14 14.3	9 9.2	16 16.3	2 2.0	11 -	98 100.0

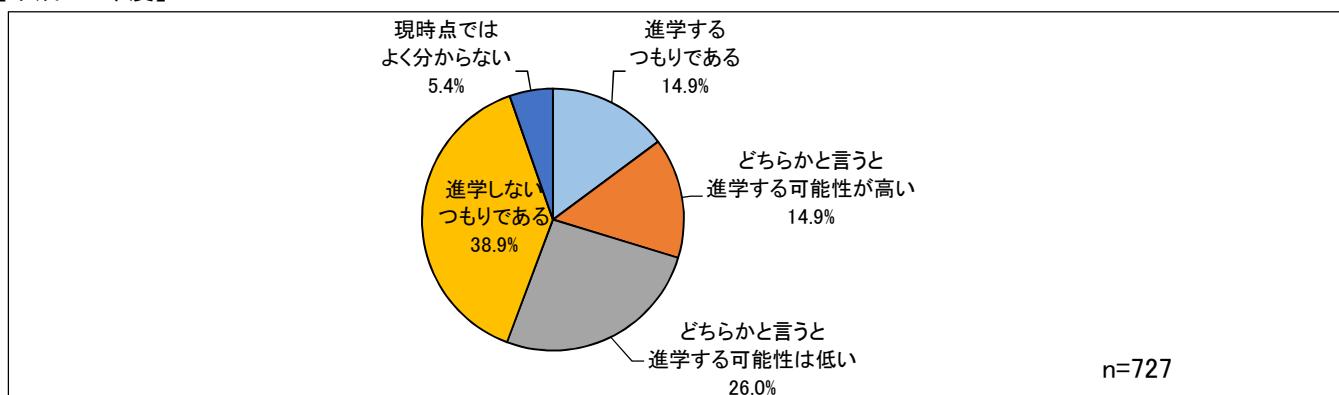
(6)大学在学中に予備試験に合格した場合の法科大学院への進学(大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生)

大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生が大学在学中に予備試験に合格した場合の法科大学院への進学については、「進学しないつもりである」、「どちらかと言うと進学する可能性は低い」を合わせた予備試験に合格した場合に法科大学院に進学しない可能性がある学生は6割となっている。なお、「進学するつもりである」と「どちらかと言うと進学する可能性が高い」の合計割合は平成29年度から毎年上昇し、「進学しないつもりである」と「どちらかと言うと進学する可能性は低い」の合計割合は平成29年度から毎年減少している。

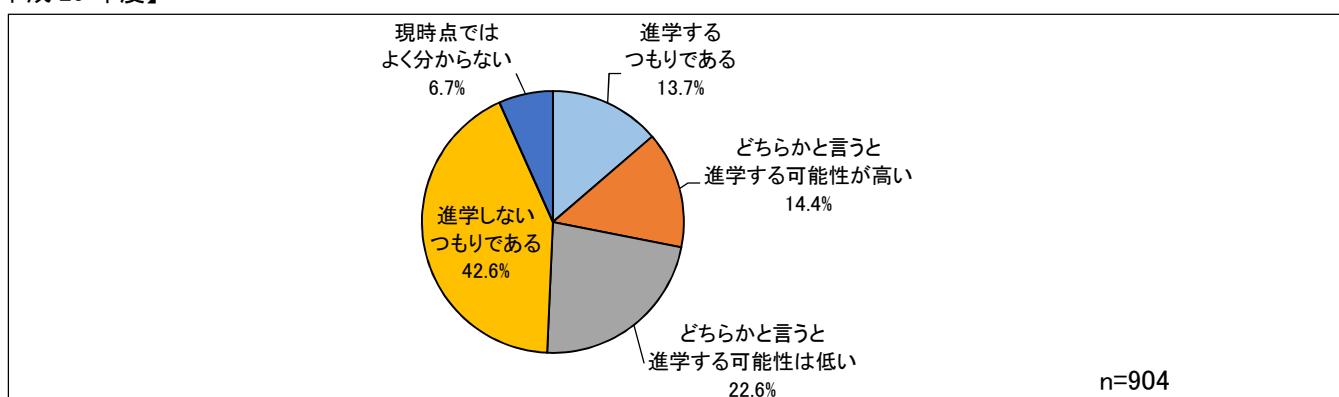
【令和元年度】



【平成30年度】



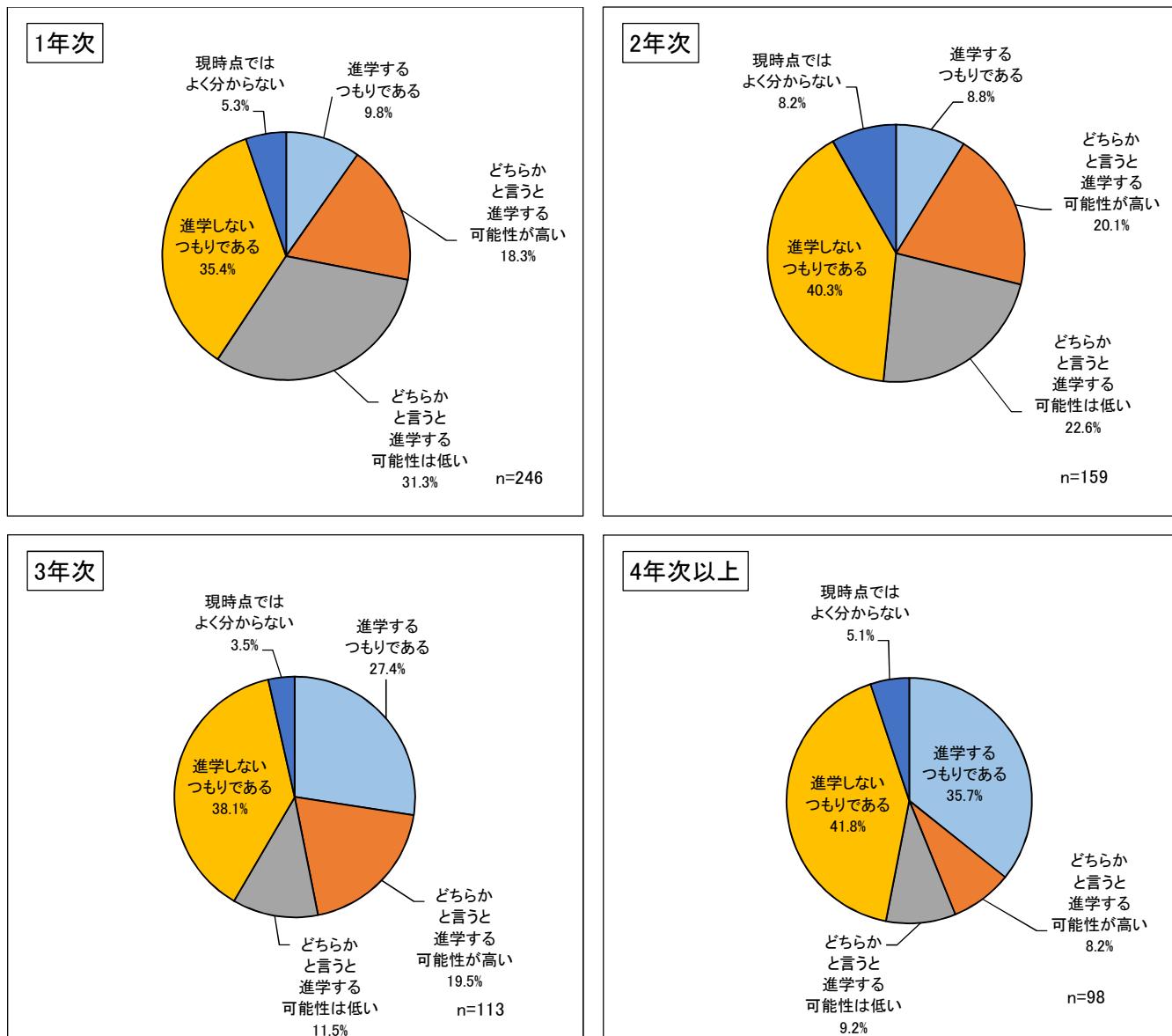
【平成29年度】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	進学するつもりである	どちらかと言うと進学する可能性が高い	どちらかと言うと進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	回答者数
令和元年度	104 16.9	107 17.4	135 21.9	235 38.1	35 5.7	616 100.0
平成30年度	108 14.9	108 14.9	189 26.0	283 38.9	39 5.4	727 100.0
平成29年度	124 13.7	130 14.4	204 22.6	385 42.6	61 6.7	904 100.0

(参考)学年別内訳【円グラフ・表】



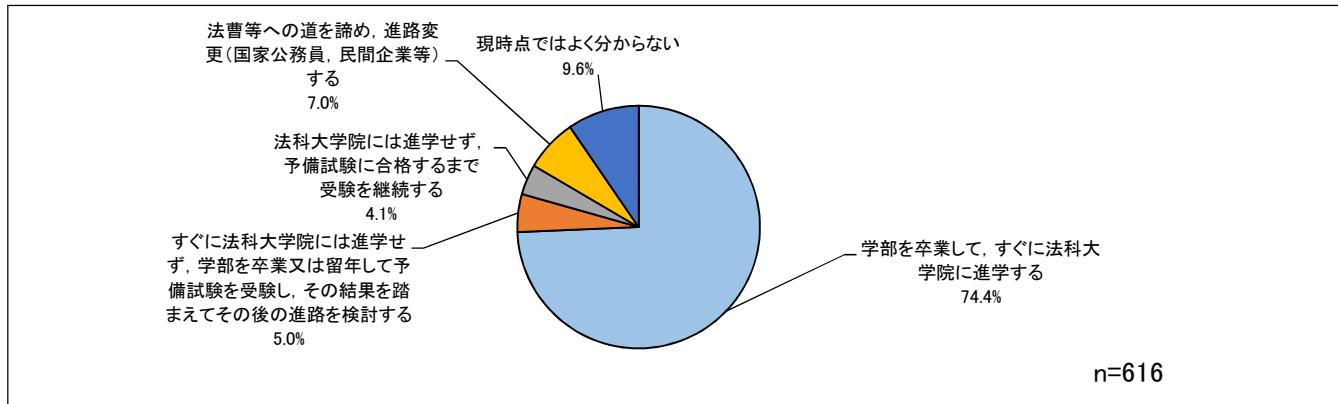
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	進学するつもりである	どちらかと言うと進学する可能性が高い	どちらかと言うと進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	回答者数
1年次	24 9.8	45 18.3	77 31.3	87 35.4	13 5.3	246 100.0
2年次	14 8.8	32 20.1	36 22.6	64 40.3	13 8.2	159 100.0
3年次	31 27.4	22 19.5	13 11.5	43 38.1	4 3.5	113 100.0
4年次以上	35 35.7	8 8.2	9 9.2	41 41.8	5 5.1	98 100.0
全 体	104 16.9	107 17.4	135 21.9	235 38.1	35 5.7	616 100.0

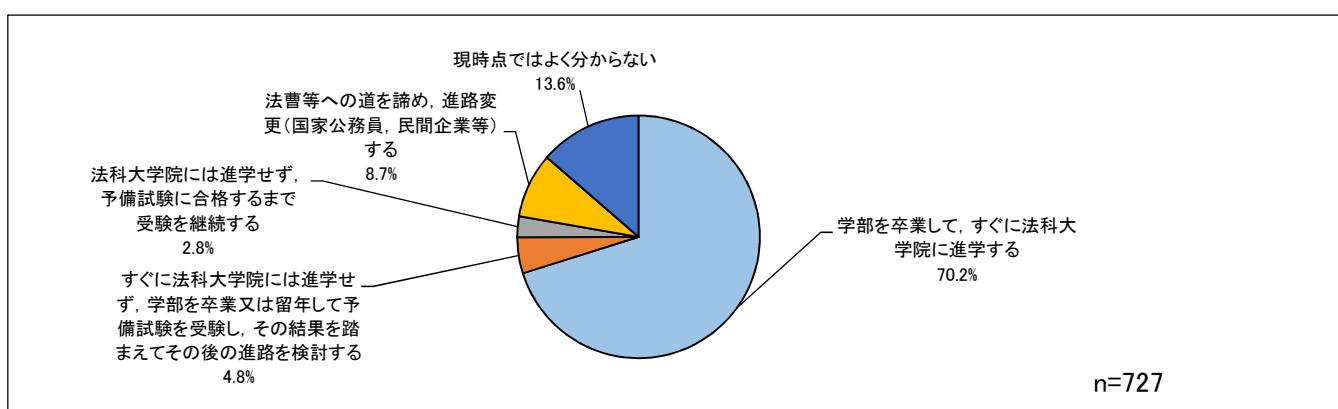
(7)大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合の進路(大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生)

大学在学中に予備試験を受験する予定がある学生が大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合の進路については、「学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する」が74.4%となっており、平成29年度から毎年割合が上昇している。

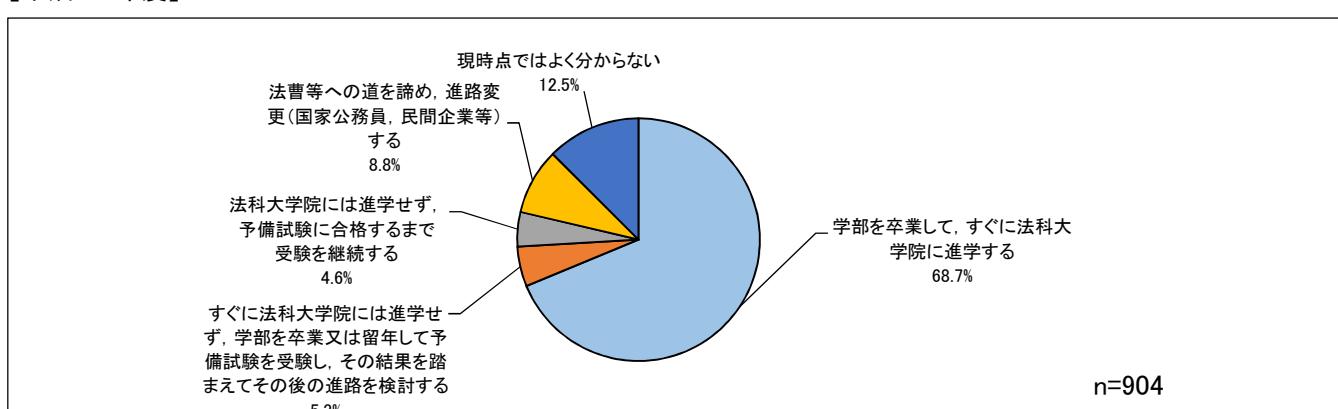
【令和元年度】



【平成30年度】



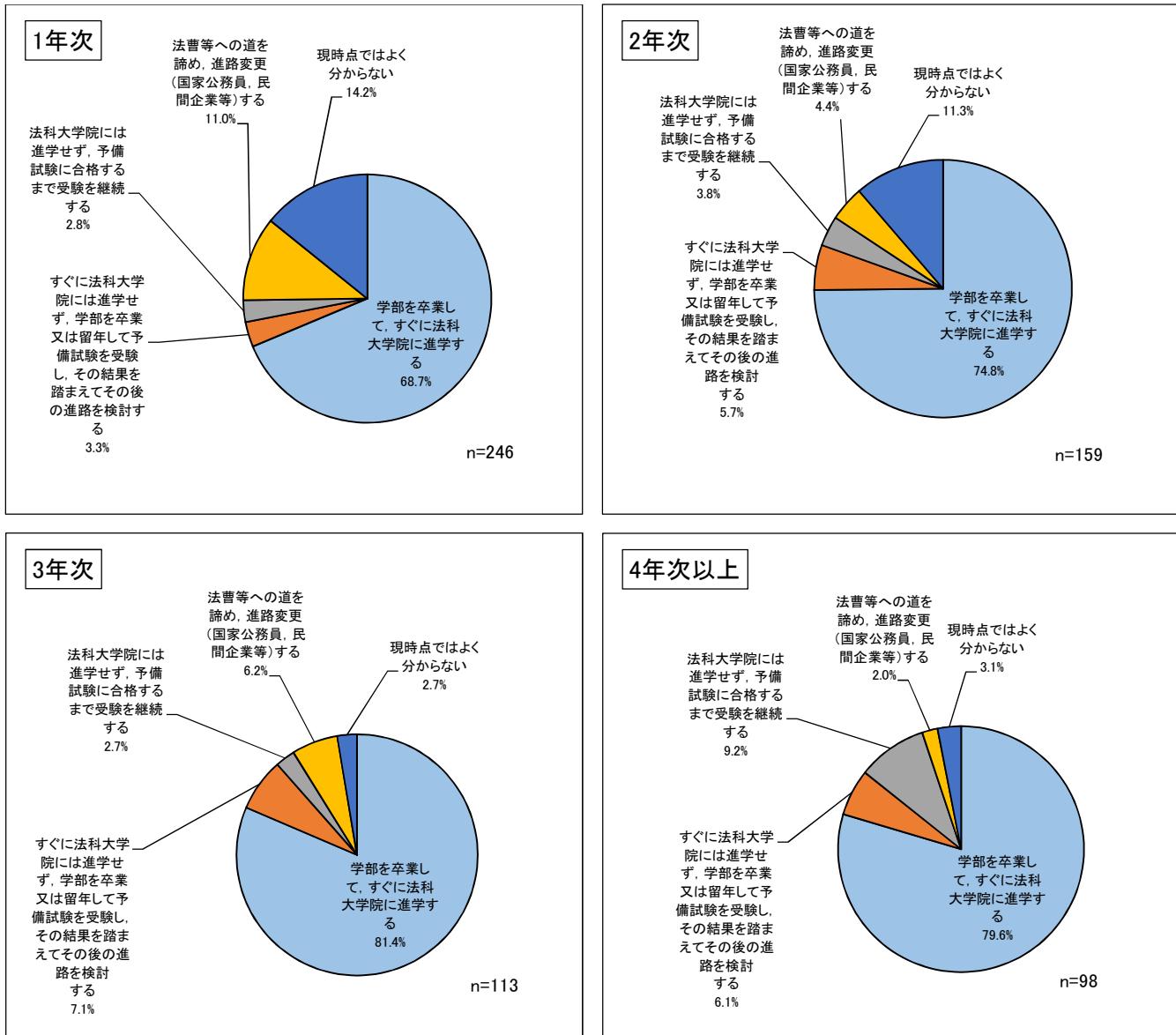
【平成29年度】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業又は留年して予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	現時点ではよく分からない	回答者数
令和元年度	458 74.4	31 5.0	25 4.1	43 7.0	59 9.6	616 100.0
平成30年度	510 70.2	35 4.8	20 2.8	63 8.7	99 13.6	727 100.0
平成29年度	621 68.7	48 5.3	42 4.6	80 8.8	113 12.5	904 100.0

(参考)学年別内訳【円グラフ・表】



(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業又は留年して予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	現時点ではよく分からない	回答者数
1年次	169 68.7	8 3.3	7 2.8	27 11.0	35 14.2	246 100.0
2年次	119 74.8	9 5.7	6 3.8	7 4.4	18 11.3	159 100.0
3年次	92 81.4	8 7.1	3 2.7	7 6.2	3 2.7	113 100.0
4年次以上	78 79.6	6 6.1	9 9.2	2 2.0	3 3.1	98 100.0
全体	458 74.4	31 5.0	25 4.1	43 7.0	59 9.6	616 100.0

# 参考資料（調査票）

令和元年度法学部に在籍されている皆様に対する志望アンケート

法務省  
文部科学省

※ 法学部（法学系課程を含む。）に在籍されているあなたの法曹志望等についてお聞きします。所要10分程度で終了しますので、御協力をお願いします。

※ 結果については、個人が特定できないように集計した上で、法曹養成制度の充実のために活用させていただく予定です。

問1 年齢（令和元年10月末日現在）について、以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 18歳以下
- 2 19歳
- 3 20歳
- 4 21歳
- 5 22歳
- 6 23歳
- 7 24歳
- 8 25歳以上

問2 性別について、以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 男性
- 2 女性

問3 通学中の大学名、学部、学科、コース・専攻と在籍学年を教えてください。  
学科、コース・専攻については、設置されていない場合やまだ選択していない場合、記載不要です。

大学名  学部  学年  年次

学科  コース・専攻

問4 将来の職業として現時点で第一志望として考えているものについて、以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 国内企業
- 2 外資系企業
- 3 国家公務員
- 4 地方公務員
- 5 国際機関職員（N G Oを含む）
- 6 公益法人・特定非営利活動法人（N P O法人）職員
- 7 法曹等（法曹（裁判官、検察官及び弁護士）のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む）
- 8 法曹以外の隣接法律専門職（司法書士、行政書士、弁理士、税理士、公認会計士など）
- 9 経営者、自営・自由業
- 10 研究者
- 11 その他（具体的に )
- 12 特になし

問5 将来の職業を選択するに当たって重視することについて、以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 仕事の内容に多くの選択肢があること
- 2 自分の興味・関心のある分野で活躍できること
- 3 身に付けた専門的知識をいかせること
- 4 社会への貢献度が高いこと
- 5 国際的な分野で活躍できること
- 6 社会的地位・信用が高いこと
- 7 高収入が期待できること
- 8 経済的に安定していること
- 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できること（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）
- 10 その他（具体的に )

問6 将來の職業として、法曹等（法曹（裁判官、検察官及び弁護士）のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む、以下同じ。）を志望したことがありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。  
なお、法曹になるルートについては3頁の「参考」参照。

- 1 現在、志望している（→問7、8のみ回答）
- 2 現在、選択肢の1つとして考えている（→問7、8のみ回答）
- 3 過去に志望していた（→問9のみ回答）
- 4 過去に選択肢の1つとして考えていた（→問9のみ回答）
- 5 志望していない（選択肢の1つとして考えていたこともない）（→問10のみ回答）

-----参考-----

法曹になるには、司法試験に合格する必要があります。

司法試験の受験資格を得るためにには、法科大学院を修了するほか、経済的事情や実社会で十分な経験を経ているなどの理由により法科大学院を経由しない方のために設けられている司法試験予備試験（以下、「予備試験」という。）（※1）に合格する必要があります。また、改正司法試験法の施行により、令和5年の司法試験から、法科大学院在学中の方であっても一定の要件を満たした場合には司法試験の受験資格が付与されることとなります。

司法試験合格後、1年間の司法修習（※2）を経て裁判官、検察官及び弁護士等として活躍されている方のほか、法曹資格を取得せずに社会で活躍されている方もいます。

（※1）

予備試験とは、法科大学院課程の修了者と同等の学識及びその応用能力並びに法律に関する実務の基礎的素養を有するかどうかを判定することを目的とした試験です。同試験の合格者については、法科大学院修了者等と同様、司法試験の受験資格を得ることができます。

（※2）

司法修習生に対する経済的支援については、平成29年11月に修習を開始した第71期司法修習生から、修習給付金を支給する制度が実施されています（希望者全員に対して修習専念資金（基本額月額10万円、扶養親族を有する場合は月額12.5万円）を無利息で貸与する制度も併存）。

【修習給付金の額】

- ・ 基本給付金（司法修習生に対して一律に支給）  
　月額13.5万円
- ・ 住居給付金（住宅を借り受け、家賃を支払っている場合に支給）  
　月額3.5万円
- ・ 移転給付金（修習に伴い住所・居所を移転する必要がある場合に支給）  
　移動距離に応じた額

問7 問6で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」を選択した方にお聞きします。

- (1) 法曹等を志望した（選択肢の1つとして考えるようになった）のはいつ頃ですか。  
以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- |             |   |
|-------------|---|
| 1 中学生以前     |   |
| 2 高校生になってから |   |
| 3 大学生になってから |   |
| 4 その他（具体的に  | ) |

- (2) 法曹等を志望した（選択肢の1つとして考えるようになった）きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- |   |   |
|---|---|
| 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから      |   |
| 2 社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから        |   |
| 3 基本人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから               |   |
| 4 國際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから               |   |
| 5 テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから                   |   |
| 6 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから |   |
| 7 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している（いた）から      |   |
| 8 その他（具体的に                                  | ) |
| 9 特になし                                      |   |

- (3) あなたは、法曹等の仕事のどのようなところに魅力を感じていますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- |   |   |
|---|---|
| 1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ   |   |
| 2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ  |   |
| 3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ   |   |
| 4 基本人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ  |   |
| 5 國際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ  |   |
| 6 社会的地位・信用が高いところ  |   |
| 7 高収入が期待できるところ  |   |
| 8 経済的に安定しているところ   |   |
| 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できるところ（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む） |   |
| 10 その他（具体的に   | ) |
| 11 特になし   |   |

(4) 法曹等として、どのような進路を考えていますか。  
以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 裁判官
  - 2 檢察官
  - 3 弁護士
  - 4 その他（具体的に）
  - 5 まだ決めていない

(5) 法曹等の活動領域の拡大に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 国内の裁判の分野だけにとどまらず、専門弁護士や企業内弁護士、弁護士資格をもって国や地方自治体の公務員になる、司法試験合格後法曹資格を取得せずに企業等で活躍するなど、法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが、このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 よく知っている  
2 少し知っている  
3 知らない

イ 将来の進路を考える上で、アのような活動領域（海外、企業、国・地方自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

- 1 興味・関心がある (→ウヘ)
  - 2 少し興味・関心がある (→ウヘ)
  - 3 興味・関心はない (→(6)ヘ)

ウ イで「1 興味・関心がある」又は「2 少し興味・関心がある」を選択した方にお聞きします。

将来、アのような活動領域のうち、具体的にどのような分野で働くことに興味・関心がありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 中央省庁等の国の機関での勤務
  - 2 地方自治体での勤務
  - 3 企業内弁護士
  - 4 企業の海外展開支援等の海外分野
  - 5 国際機関での勤務
  - 6 その他（具体的に

(6) 法曹等を志望するに当たって法学部での教育に期待するものは何ですか。  
以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、期待が大きい順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 一般的な法律知識や法律の考え方を身に付けること
  - 2 法的思考に基づいた議論や交渉を行う能力を身に付けること
  - 3 特定の法分野に関する深い学識や学術性を身に付けること
  - 4 社会人として一般的に必要とされる教養を身に付けること
  - 5 政治学、経営学、経済学その他の法学以外の社会科学に関する知識・能力を広く身に付けること
  - 6 國際的に活躍するために必要な語学能力や國際感覚を身に付けること
  - 7 法曹等として活躍するために必要な専門的な法律知識や法曹実務の素養を身に付けること
  - 8 司法試験のために必要な能力を身に付けること
  - 9 司法試験以外の資格試験や公務員試験その他の採用試験のために必要な能力を身に付けること
  - 10 その他（具体的に）
  - 11 特になし

1位

1

2位

15

3位

1

(7) 学部在学中に司法試験予備校を利用したことがありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある  
2 司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある  
3 利用したことはない

(8) 法曹等を志望する（選択肢の一つとして考えている）に当たって、現在、不安や迷いを感じていますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 不安や迷いを感じている (→(9)へ)  
2 少し不安や迷いを感じている (→(9)へ)  
3 不安や迷いを感じていない (一問8へ)

(9) (8)で「1 不安や迷いを感じている」又は「2 少し不安や迷いを感じている」を選択した方にお聞きします。

あなたが法曹等を志望する（選択肢の一つとして考えている）に当たって感じている不安や迷いは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、不安や迷いの大きい順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）にも魅力を感じている
- 2 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある
- 3 自分に法曹等としての適性があるか分からない
- 4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している
- 5 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない
- 6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい
- 7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である
- 8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい
- 9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい
- 10 司法修習期間中の生計面に不安がある
- 11 司法試験に合格できても、就職できるか分からない
- 12 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある
- 13 その他（具体的に )

1位

2位

3位

問8 問6で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」を選択した方にお聞きします。

(1) 法科大学院への進学に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 現時点において、法科大学院に進学することを予定していますか。  
以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 進学するつもりである（→イヘ）
- 2 進学するつもりはない（→(2)ヘ）
- 3 現時点では決めていない（→(2)ヘ）

イ (1)アで「1 進学するつもりである」を選択した方にお聞きします。

あなたが進学する法科大学院を選択する時に重視していることは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、重視する要因が強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 大学としての知名度が高いこと
- 2 法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと
- 3 法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること
- 4 奨学金などの経済的支援制度が充実していること
- 5 著名な研究者教員が在籍していること
- 6 実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること
- 7 現在の住居や実家等から地理的に近いこと
- 8 現在在籍している大学の法科大学院であること
- 9 就職したい地域に立地している法科大学院であること
- 10 大学の友人・先輩等が多く在籍していること
- 11 入学試験の難易度
- 12 その他（具体的に )

1位

2位

3位

(2) 大学在学中の予備試験の受験に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 現時点において、大学在学中に予備試験を受験することを予定していますか。  
以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 受験するつもりである（受験したことがある）（→イヘ）
- 2 受験するつもりはない（→これで終わりです）
- 3 現時点では決めていない（→これで終わりです）

イ (2)アで「1 受験するつもりである（受験したことがある）」を選択した方にお聞きします。

(7) 大学在学中に予備試験を受験した又は受験しようとする理由は何ですか。  
以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから
- 2 経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから
- 3 少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから
- 4 法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから
- 5 司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから
- 6 法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから
- 7 自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから
- 8 予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから
- 9 仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから
- 10 周りの友人や先輩等が予備試験を受験している（いた）から
- 11 その他（具体的に )

1位

2位

3位

(イ) 大学在学中に予備試験に合格した場合、法科大学院に進学する予定がありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 進学するつもりである
- 2 どちらかと言うと進学する可能性が高い
- 3 どちらかと言うと進学する可能性は低い
- 4 進学しないつもりである
- 5 現時点ではよく分からぬ

(ウ) 大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合、どのような進路を考えていますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する
- 2 すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業又は留年して予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する
- 3 法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する
- 4 法曹等への道を諦め、進路変更（国家公務員、民間企業等）する
- 5 現時点ではよく分からぬ

問9 問6で「3 過去に志望していた」又は「4 過去に選択肢の1つとして考えていた」を選択した方にお聞きします。

- (1) 法曹等を志望した（選択肢の1つとして考えるようになった）のはいつ頃ですか。  
以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 中学生以前
- 2 高校生になってから
- 3 大学生になってから
- 4 その他（具体的に）

- (2) 法曹等を志望した（選択肢の1つとして考えるようになった）きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから
- 2 社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから
- 3 基本人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから
- 4 國際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから
- 5 テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから
- 6 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから
- 7 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している（いた）から
- 8 その他（具体的に）
- 9 特になし

- (3) あなたは、法曹等の仕事のどのようなところに魅力を感じていましたか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ
- 2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ
- 3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ
- 4 基本人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ
- 5 國際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ
- 6 社会的地位・信用が高いところ
- 7 高収入が期待できるところ
- 8 経済的に安定しているところ
- 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）が実現できるところ（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）
- 10 その他（具体的に）
- 11 特になし

- (4) 法曹等として、どのような進路を考えていましたか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 裁判官
- 2 檢察官
- 3 弁護士
- 4 その他（具体的に）
- 5 まだ決めていなかった

(5) 法曹等の活動領域の拡大に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 国内の裁判の分野だけにとどまらず、涉外弁護士や企業内弁護士、弁護士資格をもって国や地方自治体の公務員になる、司法試験合格後法曹資格を取得せずに企業等で活躍するなど、法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが、このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 よく知っている
- 2 少し知っている
- 3 知らない

イ 将來の進路を考える上で、アのような活動領域（海外、企業、国・地方自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 興味・関心がある（→ウヘ）
- 2 少し興味・関心がある（→ウヘ）
- 3 興味・関心はない（→(6)ヘ）

ウ イで「1 興味・関心がある」又は「2 少し興味がある・関心がある」を選択した方にお聞きします。

将来、アのような活動領域のうち、具体的にどのような分野で働くことに興味・関心がありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 中央省庁等の国の機関での勤務
- 2 地方自治体での勤務
- 3 企業内弁護士
- 4 企業の海外展開支援等の海外分野
- 5 国際機関での勤務
- 6 その他（具体的に )

(6) あなたが法曹志望を断念した（選択肢の1つから外した）理由（過去に法曹等を志望していた際の不安や迷いを含む）は何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）に魅力を感じたから
- 2 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあったから
- 3 自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから
- 4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから
- 5 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから
- 6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから
- 7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから
- 8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから
- 9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから
- 10 大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから
- 11 司法修習期間中の生計面に不安があるから
- 12 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから
- 13 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから
- 14 その他（具体的に )

1位

2位

3位

問10 問6で「5 志望していない（選択肢の1つとして考えていたこともない）」を選択した方にお聞きします。

(1) あなたが法曹等を志望しない（選択肢の1つとしても考えない）理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）に魅力を感じているから
- 2 法曹等の仕事に魅力を感じないから
- 3 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから
- 4 自分に法曹等としての適性があるとは思えないから
- 5 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから
- 6 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから
- 7 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから
- 8 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから
- 9 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから
- 10 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから
- 11 司法修習期間中の生計面に不安があるから
- 12 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから
- 13 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから
- 14 その他（具体的に）

1位

2位

3位

(2) (1)で「2 法曹等の仕事に魅力を感じないから」を選択した方にお聞きします。

あなたが法曹等の仕事に魅力を感じない理由について、以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから
- 2 社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから
- 3 国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから
- 4 社会的地位・信用が低下していると思うから
- 5 高収入が期待できないと思うから
- 6 経済的に安定していないと思うから
- 7 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）が困難であると思うから
- 8 体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから
- 9 その他（具体的に）

(3) 法曹等の活動領域の拡大に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 国内の裁判の分野だけにとどまらず、専門弁護士や企業内弁護士、弁護士資格をもって国や地方自治体の公務員になる、司法試験合格後法曹資格を取得せずに企業等で活躍するなど、法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが、このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 よく知っている
- 2 少し知っている
- 3 知らない

イ 将来の進路を考える上で、アのような活動領域（海外、企業、国・地方自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 興味・関心がある（→ウヘ）
- 2 少し興味・関心がある（→ウヘ）
- 3 興味・関心はない（→これで終わりです）

ウ イで「1 興味・関心がある」又は「2 少し興味・関心がある」を選択した方にお聞きします。

将来、アのような活動領域のうち、具体的にどのような分野で働くことに興味・関心がありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 中央省庁等の国の機関での勤務
- 2 地方自治体での勤務
- 3 企業内弁護士
- 4 企業の海外展開支援等の海外分野
- 5 国際機関での勤務
- 6 その他（具体的に )